

令和２年度
第２次赤磐市総合計画及び
赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組に関する
市民アンケート調査報告書

令和２年１１月
赤磐市

【目 次】

I 調査の概要

調査の概要	1
1 調査目的	1
2 調査対象者及び調査方法等	1
3 回収結果	1
4 居住地域別回収数	1
5 本報告書の見方について	2
回答者の属性	3
1 性別構成	3
2 年齢別構成	3
3 居住地域別構成	4
4 職業別構成	5
5 就業・就学地域別構成	6
6 住居形態別構成	7
7 家族別構成	8
8 居住年数別構成	9
9 転入有無別構成	10
10 転入理由別構成	11
11 赤磐市を選択した理由別構成	12
12 赤磐市を選ぶ際に参考になったり、魅力的に感じた取組	15
13 自治会への加入状況	17

II 調査の結果

1 赤磐市のまちに対する想いについて	20
1-1 広報	20
1-1-1 赤磐市の情報源	20
1-1-2 より赤磐市の情報を得るためのルート	21
1-1-3 赤磐市でも FM79.0MHz レディオモモが聴けるようになったことを知っているか	23
1-1-4 家に FM 放送を聴くことができるラジオがあるか	25
1-1-5 ラジオを聴く習慣があるか	26
1-2 愛着	28
1-2-1 赤磐市に対する愛着度	28
1-2-2 どのようなところに愛着を感じるか	30
1-2-3 どのようなところに愛着を感じないか	31
1-3 暮らしやすさ	32
1-3-1 赤磐市の暮らしやすさ	32
1-3-2 最も暮らしやすと感じる点	34
1-3-3 最も暮らしにくいと感じる点	34
1-3-4 赤磐市への永住意向	35
1-3-5 住みたくない理由	37
1-4 まちづくり	40
1-4-1 赤磐市が推進している施策への関心度	40
1-4-2 赤磐市の今後のまちづくりについて	42

1-4-3	赤磐市がより暮らしやすくなるために必要な事	44
1-4-4	赤磐市に不足している施設	47
1-5	SDGsについて	50
1-5-1	持続可能な社会を目指す中で、関心のある環境問題	50
2	赤磐市の取組について	52
2-1	赤磐市の取組に対する現在の満足度と重要度	52
2-1-1	満足度	52
2-1-2	重要度	62
2-1-3	満足度と重要度の相関	72

Ⅲ 資料

アンケート調査票	75
----------	----

I 調査の概要

調査の概要

1 調査目的

赤磐市では、第2次赤磐市総合計画及び赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の5か年の成果を把握し、市政に対する市民の意識やニーズをとらえて、施策に反映させていくための資料とするために本アンケート調査を実施しました。

2 調査対象者及び調査方法等

調 査 地 域	赤磐市全域
調 査 対 象	満18歳以上の市民の方（令和2年1月1日時点）
抽 出 法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
調 査 方 法	郵送配布－郵送回収
調 査 期 間	令和2年6月1日（月）～令和2年6月30日（火）

3 回収結果

配 布 数	3,000 票
有 効 回 収 数	1,413 票
有 効 回 収 率	47.1%

4 居住地域別回収数

◆居住地域別回収状況（上段：件数、下段：構成比％）◆

合計	山陽 小学校区	山陽西 小学校区	山陽東 小学校区	山陽北 小学校区	桜が丘 小学校区	赤坂地域 小学校区	熊山地域 小学校区	吉井地域 小学校区	無回答
1,413	267	157	129	220	220	133	139	106	42
100.0	18.9	11.1	9.1	15.6	15.6	9.4	9.8	7.5	3.0

5 本報告書の見方について

- (1) 比率はすべて百分率（％）で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出しました。したがって合計が 100.0％を上下する場合があります。
- (2) 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）です。全標本数を示す「全体」を「N」、該当数※を「n」で表記しています。
- (3) 1人の回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問では、各回答の合計比率が 100.0％を超える場合があります。
- (4) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を短縮・簡略化している場合があります。
- (5) 「 」は一つの選択肢を、“ ”は複数の選択肢を合わせた表現を示しています。
- (6) 図表中における年齢別などのクロス集計結果については、該当する属性等の設問に対する無回答者（例えば、年齢別でクロス集計する場合における年齢の無回答者）を除いて表記しているため、属性ごとの基数の合計と全体の基数は同じにならない場合があります。
- (7) 図表中においては見やすさを考慮し、回答割合が極端に少ない数値（例：0.0％、0.1％など）は、図と干渉して見えにくい場合などに省略している場合があります。また、複数回答の図表中においては、見やすさを考慮し、回答割合の高い順に並べ替えて表記している場合があります。
- (8) 経年比較では、「第2次赤磐市総合計画策定のための市民アンケート調査（平成26年）」（報告書内では「前回調査（H26）」と表記）と、「市民アンケート調査2018」（報告書内では「前回調査（H30）」と表記）の2種類の調査結果を比較対象としています。

※（例）問Aで1と回答した人のみが、問Bを答える場合の問Bの基数、あるいはクロス集計における各属性（「男性」や「20歳代」・・・）など、限定された回答者数

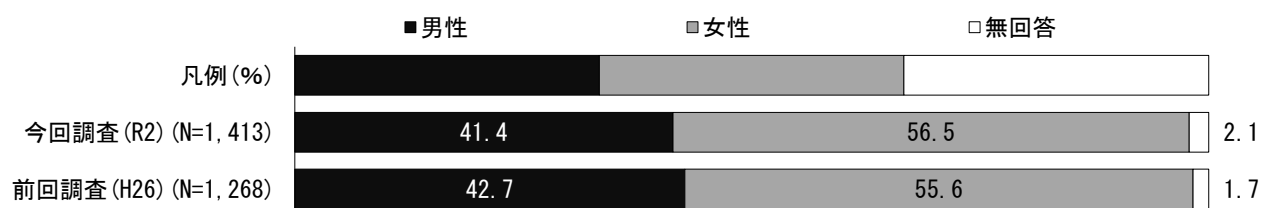
回答者の属性

1 性別構成

あなたの性別を教えてください。

回答者の性別構成は、「男性」が41.4%、「女性」が56.5%となっています。

性別構成（経年比較）



2 年齢別構成

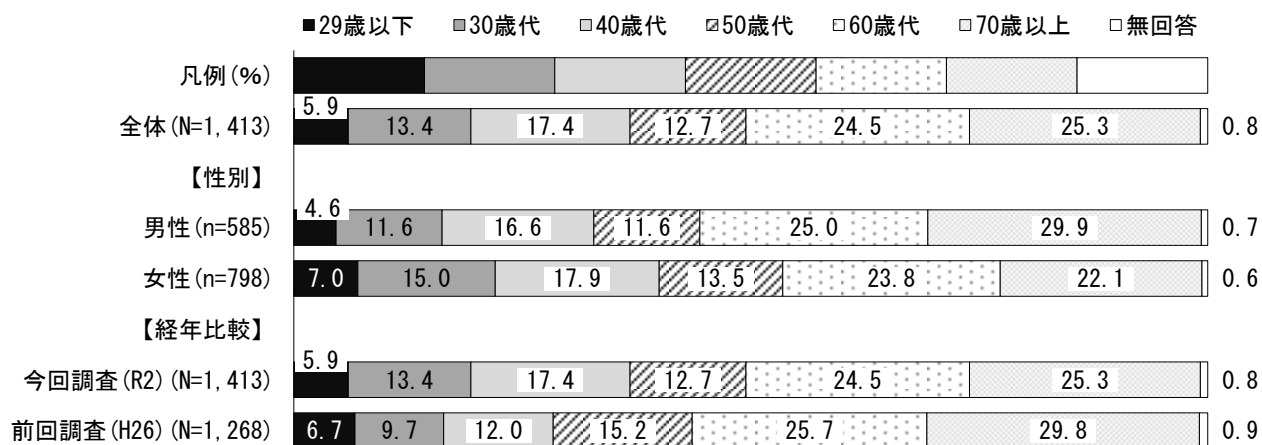
あなたの年齢を教えてください。

年齢別構成は、「70歳以上」が25.3%と最も高く、「60歳代」が24.5%、「40歳代」が17.4%、「30歳代」が13.4%、「50歳代」が12.7%、「29歳以下」が5.9%と続いています。比較的、高齢の方の回答割合が高くなっています。

性別では、男性は女性に比べ60歳以上の年齢層の割合が高くなっています。

経年比較でみると、40歳以下は、今回調査では約4割（36.7%）と、前回調査（28.4%）と比べて高くなっています。

年齢別構成（全体・属性別・経年比較）

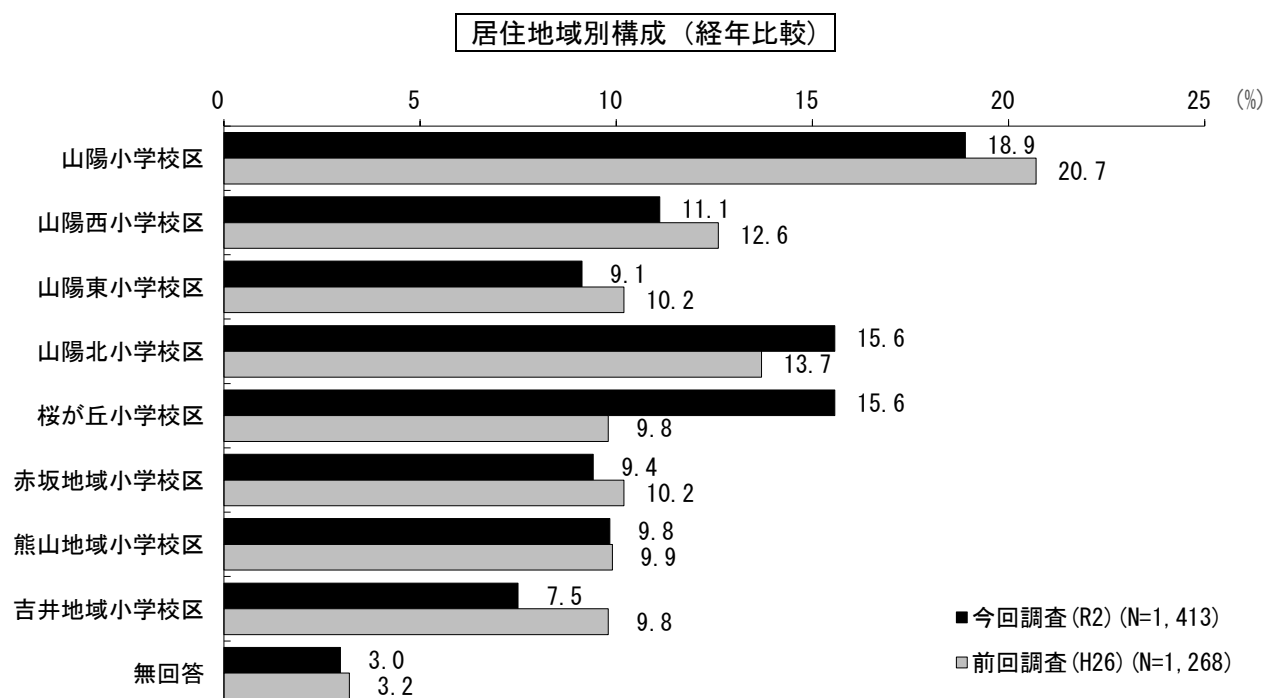


3 居住地域別構成

あなたがお住まいの地域を教えてください。

居住地域別構成は、「山陽小学校区」が18.9%と最も高く、「山陽北小学校区」と「桜が丘小学校区」がそれぞれ15.6%、「山陽西小学校区」が11.1%と続いています。

経年比較では「桜が丘小学校区」は、今回調査（15.6%）が前回調査（9.8%）を5.8ポイント上回っています。



4 職業別構成

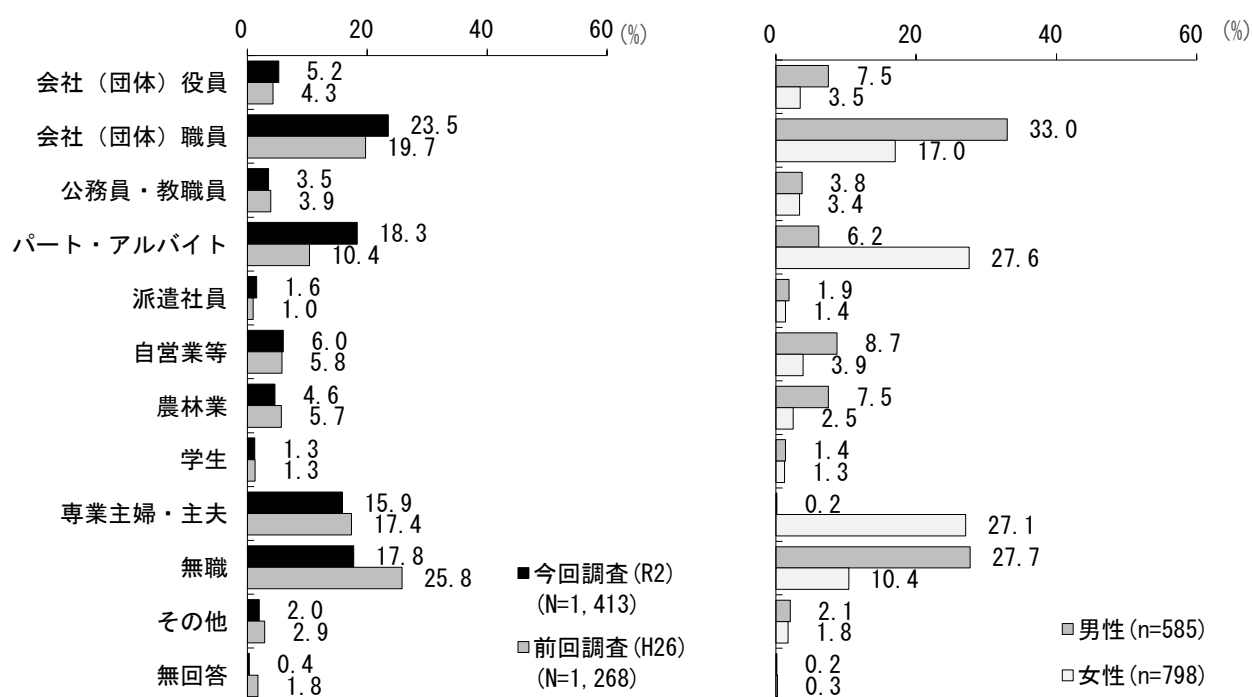
あなたの職業を教えてください。

職業別構成は、「会社（団体）職員」が23.5%と最も高く、「パート・アルバイト」が18.3%、「無職」が17.8%、「専業主婦・主夫」が15.9%と続いています。

経年比較でみると「無職」は、前回調査（25.8%）と比べて、今回調査（17.8%）では8.0ポイント低くなっています。

性別でみると、男性は女性に比べ「会社（団体）職員」と「無職」などの割合が高く、女性は「パート・アルバイト」と「専業主婦・主夫」の割合が高くなっています。

職業別構成（経年比較・属性別）

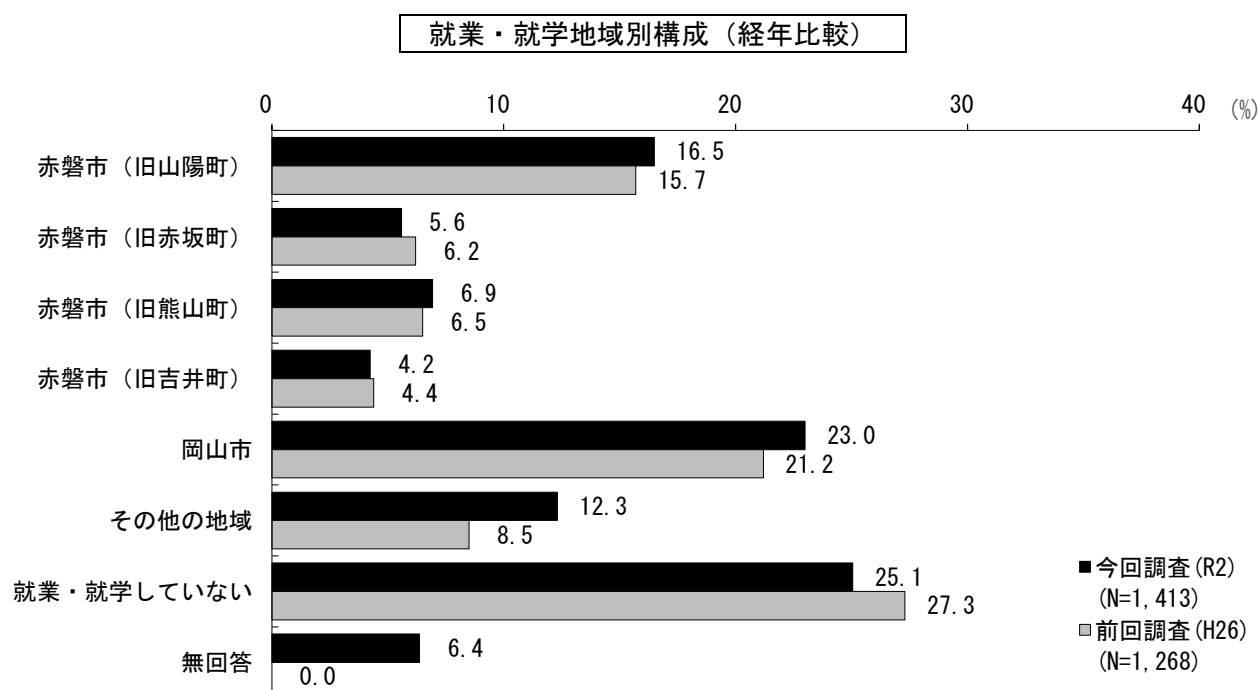


5 就業・就学地域別構成

あなたが就業・就学している地域を教えてください。

就業・就学地域別構成は、「岡山市」が23.0%と最も高く、「赤磐市（旧山陽町）」が16.5%、「赤磐市（旧熊山町）」が6.9%と続いています。市内の合計は33.2%、市外の合計は35.3%となっています。

居住地域別でみると、山陽小学校区で「赤磐市（旧山陽町）」、赤坂地域小学校区で「赤磐市（旧赤坂町）」、熊山地域小学校区で「赤磐市（旧熊山町）」の割合が他の地域に比べて高くなっています。また、山陽西小学校区で「就業・就学していない」の割合が他の地域に比べて高くなっています。



就業・就学地域別構成（属性別）								
単位 (%)		赤磐市 (旧山陽町)	赤磐市 (旧赤坂町)	赤磐市 (旧熊山町)	赤磐市 (旧吉井町)	岡山市	その他の地域	就業・就学していない
全体 (N=1,413)		16.5	5.6	6.9	4.2	23.0	12.3	25.1
地域別	山陽小学校区 (n=267)	33.0	1.9	1.5	1.1	22.1	9.4	25.1
	山陽西小学校区 (n=157)	17.2	5.1	3.2	0.0	26.8	7.6	34.4
	山陽東小学校区 (n=129)	20.9	3.1	3.1	2.3	26.4	9.3	28.7
	山陽北小学校区 (n=220)	16.8	4.1	2.7	0.5	27.7	15.0	28.6
	桜が丘小学校区 (n=220)	12.3	3.2	13.2	0.9	27.7	12.7	20.5
	赤坂地域小学校区 (n=133)	8.3	32.3	0.8	0.8	19.5	12.8	21.8
	熊山地域小学校区 (n=139)	5.0	0.0	30.2	0.0	19.4	18.0	23.0
	吉井地域小学校区 (n=106)	5.7	1.9	2.8	44.3	5.7	17.0	15.1

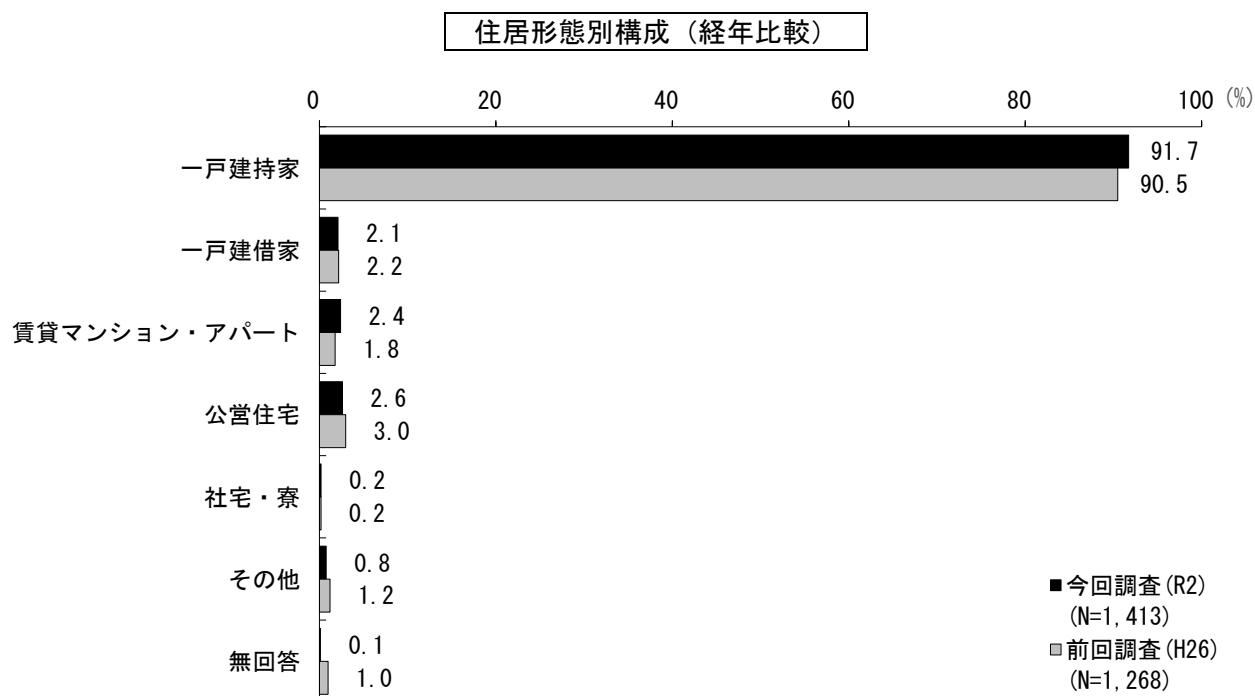
※表中の「網掛け」は、クロス集計において最も割合が高い属性を示す。また「無回答」は表記から省略している

6 住居形態別構成

あなたのお住まいを教えてください。

住居形態別構成は、「一戸建持家」が91.7%と最も高く、「公営住宅」が2.6%、「賃貸マンション・アパート」が2.4%、「一戸建借家」が2.1%と続いています。

経年比較では、前回調査と比べて特に違いはみられません。



7 家族別構成

あなたのご家族の構成を教えてください。

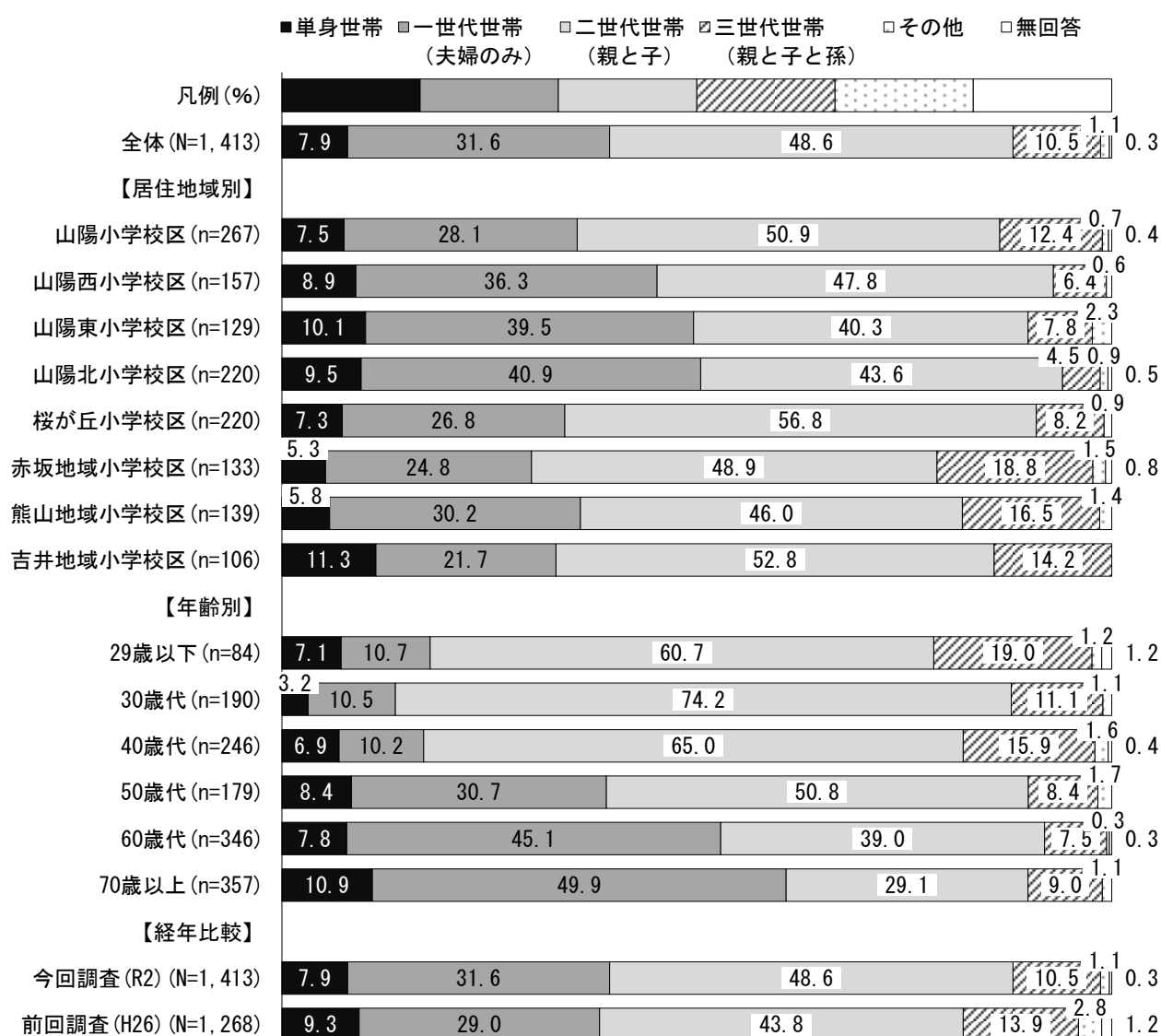
家族別構成は、「二世世代世帯（親と子）」が48.6%と最も高く、「一世世代世帯（夫婦のみ）」が31.6%、「三世世代世帯（親と子と孫）」が10.5%、「単身世帯」が7.9%と続いています。

居住地域別では、山陽小学校区、桜が丘小学校区、吉井地域小学校区で「二世世代世帯（親と子）」が過半数を占め、他の地域に比べて高くなっています。

年齢別では、60歳以上で「一世世代世帯（夫婦のみ）」の割合が他の年齢層に比べて高く、70歳以上では「単身世帯」の割合が1割を超えています。

経年比較でみると「単身世帯」は、前回調査（9.3%）と比べて、今回調査（7.9%）ではやや低くなっています。

家族別構成（全体・属性別・経年比較）



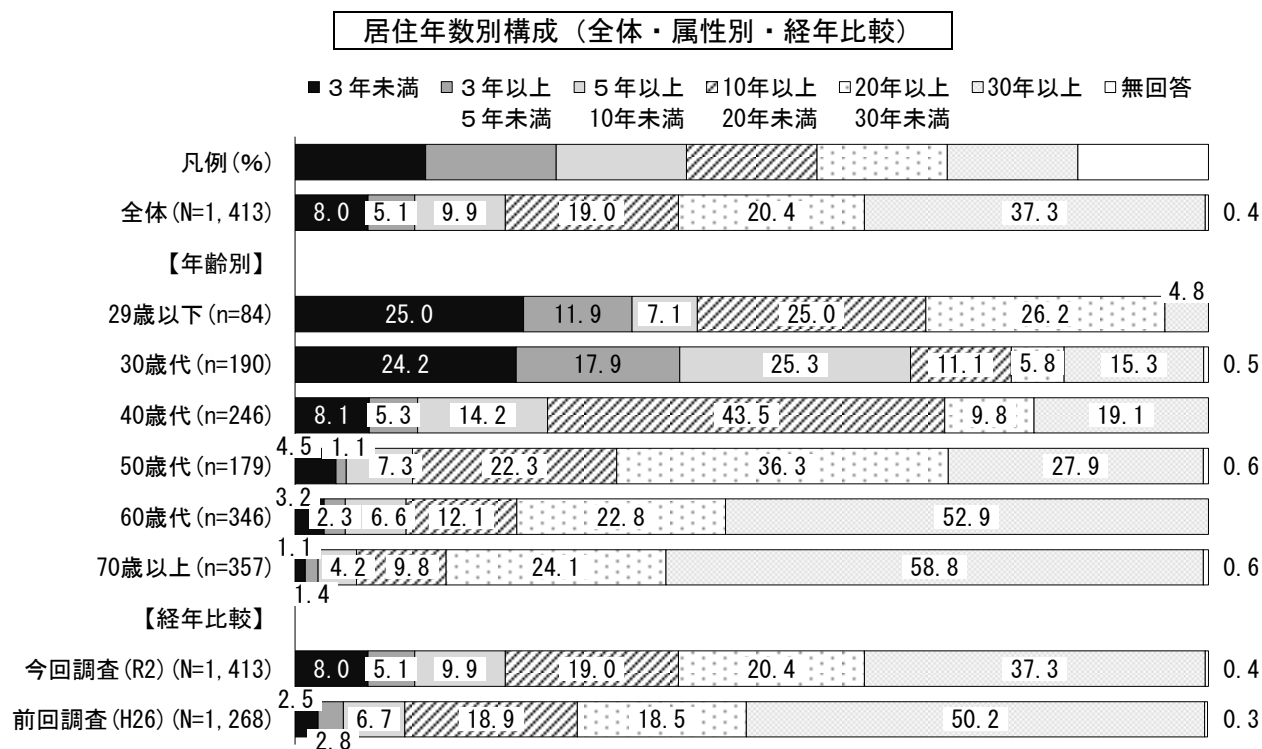
8 居住年数別構成

あなたは現在の住所に住んで合計何年になりますか。

居住年数別構成は、「30年以上」が37.3%と最も高く、「20年以上30年未満」が20.4%、「10年以上20年未満」が19.0%、「5年以上10年未満」が9.9%と続いています。

年齢別でみると、30歳代以下の約4人に1人は、「3年未満」となっています。

経年比較では「30年以上」は、前回調査（50.2%）と比べて、今回調査（37.3%）では12.9ポイント低くなっています。



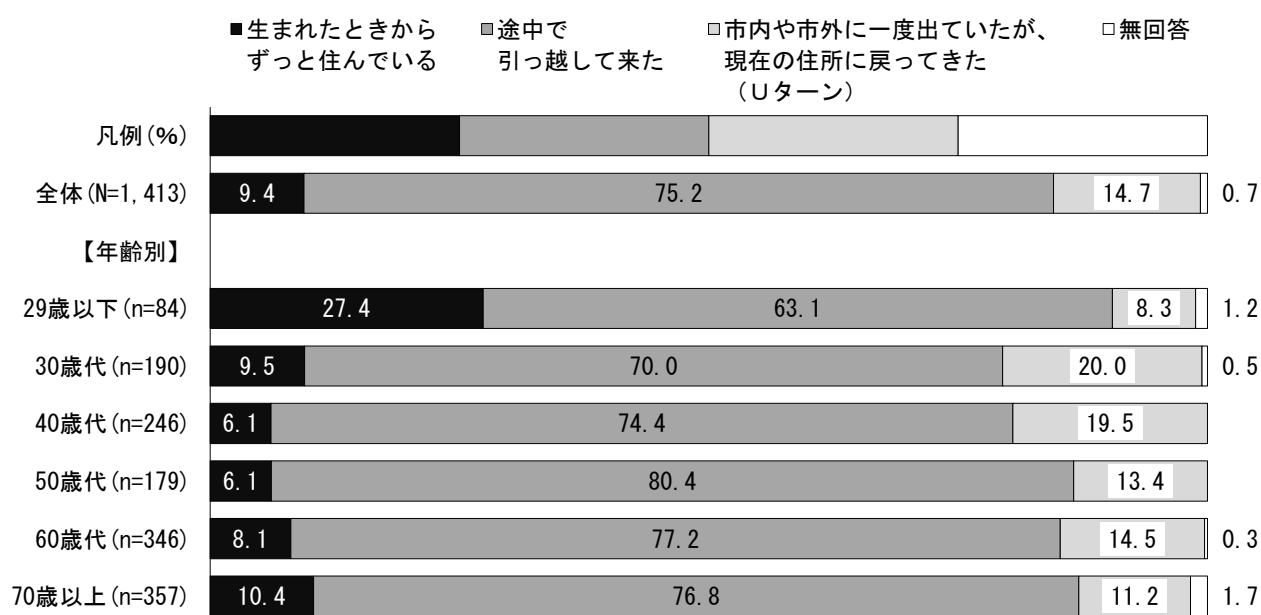
9 転入有無別構成

あなたは、生まれたときからずっと現在の住所に住んでいますか。

転入有無別構成は、「生まれたときからずっと住んでいる」が 9.4%、「途中で引っ越して来た」が 75.2%、「市内や市外に一度出ていたが、現在の住所に戻ってきた（Ｕターン）」が 14.7%となっています。

年齢別でみると、29 歳以下は「生まれたときからずっと赤磐市に住んでいる」が約 3 割（27.4%）、30～40 歳代では「市内や市外に一度出ていたが、現在の住所に戻ってきた（Ｕターン）」が約 2 割と、他の年代と比べて高い割合を占めています。

転入有無別構成（全体・属性別）



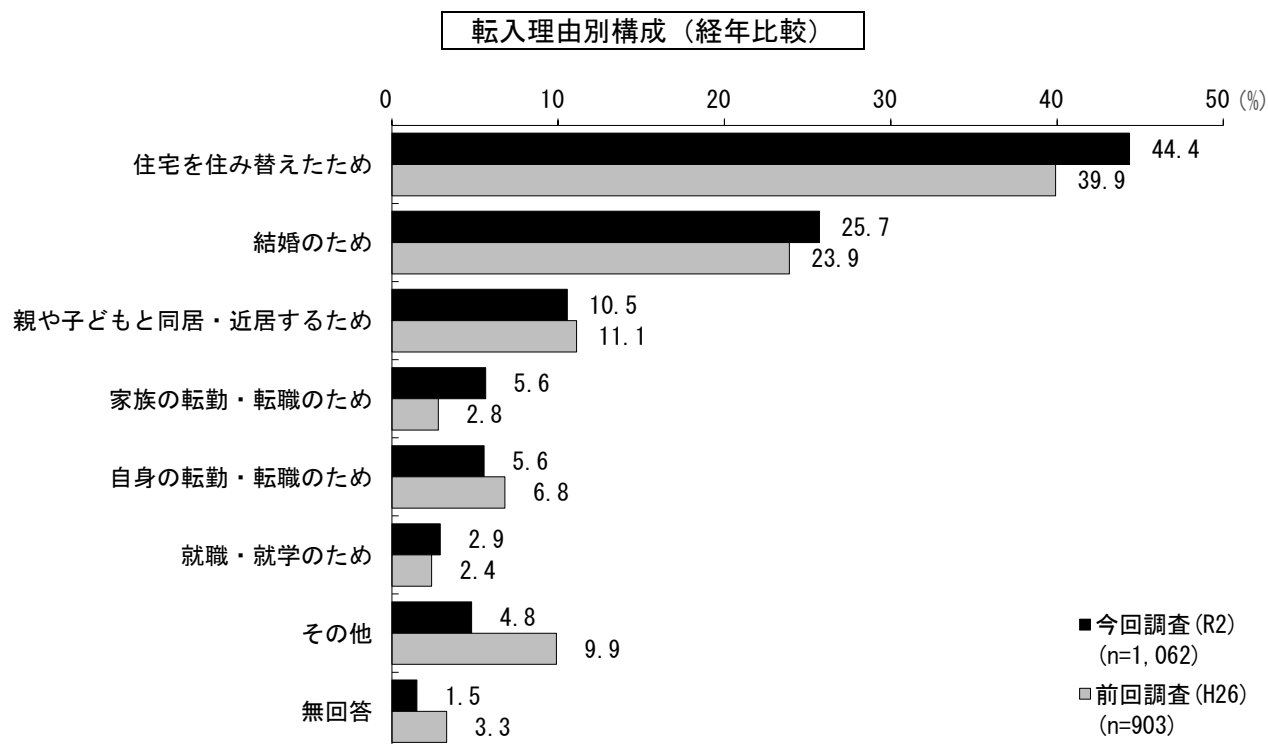
10 転入理由別構成

（９で「途中で引っ越して来た」と回答した方に質問）

あなたに移り住んだきっかけは何ですか。

転入理由については、「住宅を住み替えたため」が44.4%と最も高く、「結婚のため」が25.7%、「親や子どもと同居・近居するため」が10.5%、「家族の転勤・転職のため」と「自身の転勤・転職のため」がそれぞれ5.6%と続いています。

経年比較では、前回調査と比べて特に違いはみられません。



※今回調査の「家族の転勤・転職のため」は、前回調査の「親の転勤・転職のため」と比較している

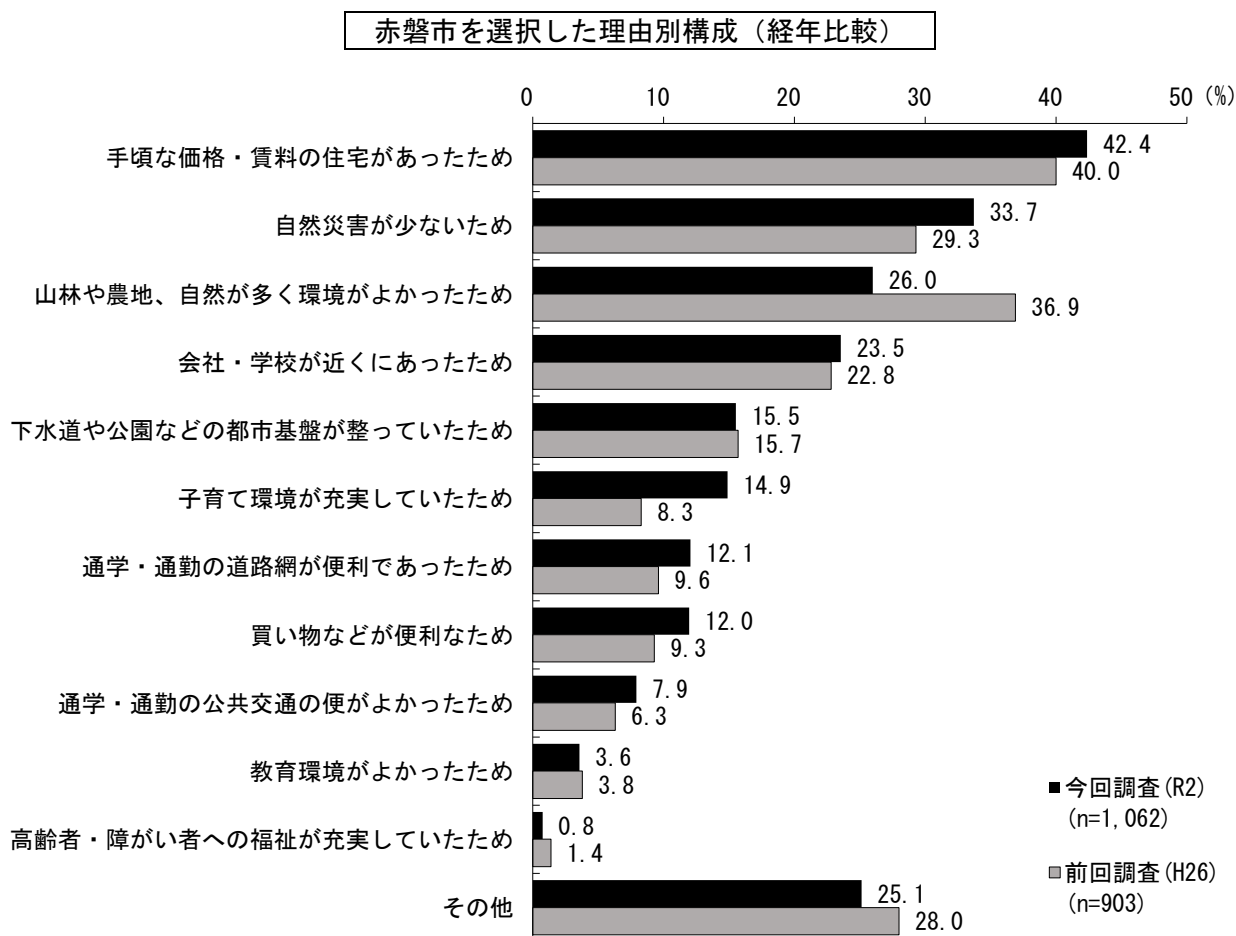
11 赤磐市を選択した理由別構成

（９で「途中で引っ越して来た」と回答した方に質問）

選ぶ際に考慮したことは何ですか。あなたの考えに最も近いものを３つ選び、順位をつけて記入してください。

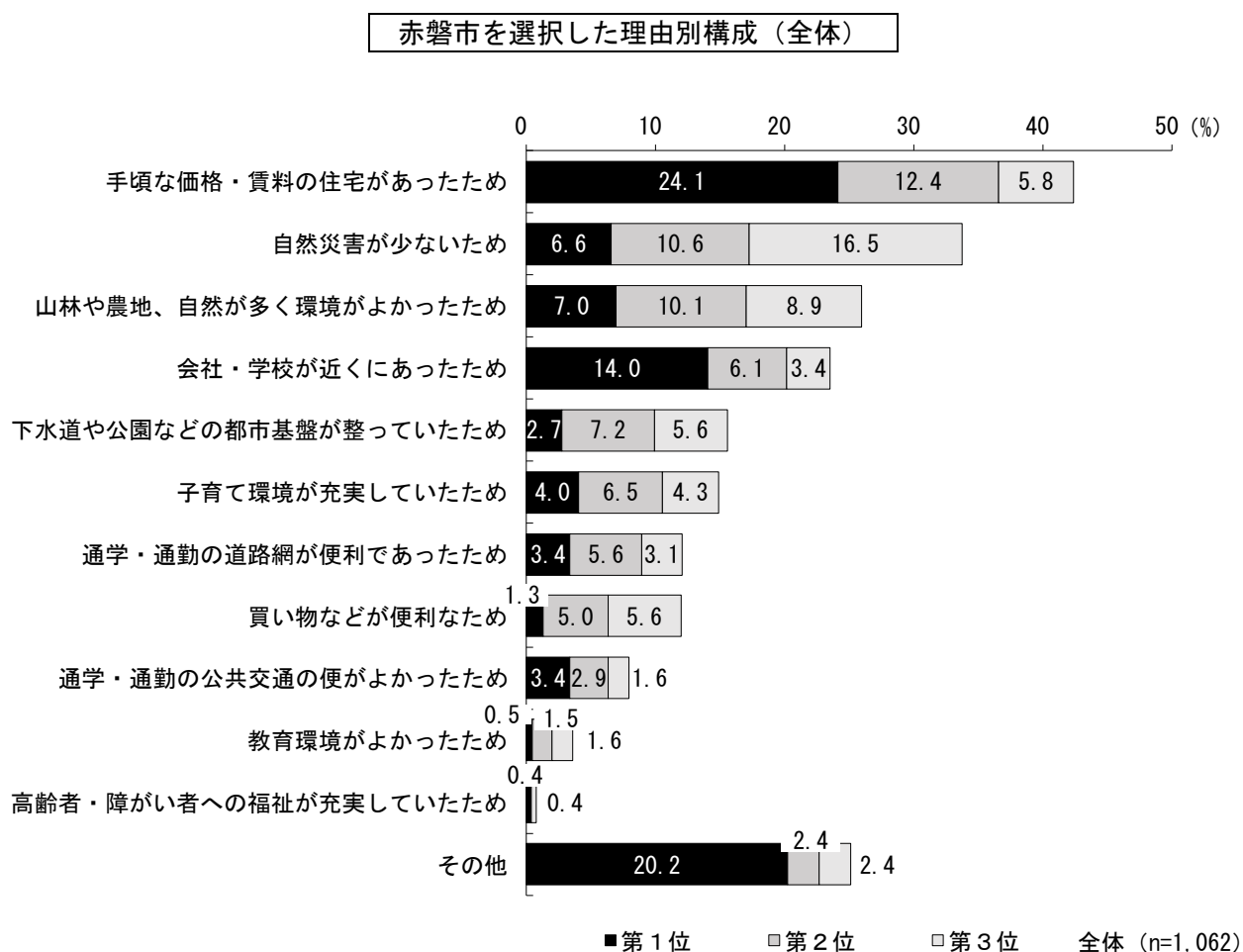
赤磐市を選択した理由については、「手頃な価格・賃料の住宅があったため」が 42.4%と最も高く、「自然災害が少ないため」が 33.7%、「山林や農地、自然が多く環境がよかったため」が 26.0%、「会社・学校が近くにあったため」が 23.5%と続いています。

経年比較でみると「山林や農地、自然が多く環境がよかったため」が前回調査（36.9%）と比べて 10.9 ポイント低くなっています。



※今回調査の「山林や農地、自然が多く環境がよかったため」は、前回調査の「緑や農地、自然が多く環境がよかったため」と比較している

第1位にあげられたこととしては、「手頃な価格・賃料の住宅があったため」が24.1%と最も高く、「会社・学校が近くにあったため」が14.0%、「山林や農地、自然が多く環境がよかったため」が7.0%、「自然災害が少ないため」が6.6%と続いています。



居住地域別でみると、山陽西小学校区、山陽東小学校区、山陽北小学校区、桜が丘小学校区で「手頃な価格・賃料の住宅があったため」の割合が約5割と、他の地域に比べて高くなっています。また、熊山地域小学校区では「山林や農地、自然が多く環境がよかったため」の割合が約4割と高くなっています。

性別でみると、「手頃な価格・賃料の住宅があったため」、「会社・学校が近くにあったため」、「自然災害が少ないため」の割合は、男性が女性を5ポイント以上上回っています。一方、「山林や農地、自然が多く環境がよかったため」は、女性が男性を5ポイント以上上回っています。

年齢別でみると、60歳以上で「山林や農地、自然が多く環境がよかったため」、「下水道や公園などの都市基盤が整っていたため」、「自然災害が少ないため」の割合が、他の年代と比べて高くなっています。

赤磐市を選択した理由別構成（属性別）

単位（％）		た会社・学校が近くにあった	あ手頃な価格・賃料の住宅があったため	が通学・通勤の公共交通の便	で通学・通勤の道路網が便利	買い物などが便利のため	が高齢者・障がい者への福祉が充実していたため	ため子育て環境が充実していた	教育環境がよかったため	境がよかつたため	盤水道や公園などの都市基
全体 (n=1,062)		23.5	42.4	7.9	12.1	12.0	0.8	14.9	3.6	26.0	15.5
地域別	山陽小学校区 (n=189)	18.5	31.2	10.1	18.5	25.4	1.1	12.7	3.2	24.3	0.0
	山陽西小学校区 (n=137)	32.8	49.6	11.7	16.1	12.4	0.7	13.1	2.9	19.7	25.5
	山陽東小学校区 (n=115)	27.8	53.0	5.2	7.0	9.6	2.6	22.6	6.1	26.1	28.7
	山陽北小学校区 (n=201)	25.4	56.7	7.5	10.9	7.0	0.5	15.4	3.5	27.9	23.9
	桜が丘小学校区 (n=198)	23.7	53.5	5.6	12.6	10.6	0.0	19.7	4.0	27.3	21.7
	赤坂地域小学校区 (n=73)	17.8	20.5	4.1	5.5	5.5	1.4	5.5	0.0	19.2	0.0
	熊山地域小学校区 (n=79)	13.9	15.2	8.9	7.6	5.1	0.0	12.7	6.3	39.2	1.3
性別	男性 (n=394)	26.9	47.7	10.4	14.0	12.2	0.3	14.7	3.8	23.1	17.3
	女性 (n=643)	21.5	38.6	6.1	11.0	12.1	1.1	15.1	3.6	28.1	14.0
年齢別	29歳以下 (n=53)	30.2	28.3	1.9	11.3	11.3	0.0	20.8	3.8	13.2	5.7
	30歳代 (n=133)	25.6	45.9	6.0	12.8	19.5	0.8	33.1	4.5	12.8	2.3
	40歳代 (n=183)	30.6	51.4	8.7	16.4	14.2	0.5	13.1	5.5	15.3	7.1
	50歳代 (n=144)	24.3	44.4	6.3	9.7	8.3	0.7	20.8	5.6	27.8	14.6
	60歳代 (n=267)	22.1	47.2	9.0	12.7	8.6	0.4	9.0	1.9	31.8	18.7
	70歳以上 (n=274)	17.5	32.5	9.5	9.5	12.4	1.5	8.8	2.6	35.8	27.4

単位（％）		自然災害が少ないため	その他	特になし
全体 (n=1,062)		33.7	25.1	10.7
地域別	山陽小学校区 (n=189)	19.6	29.6	16.9
	山陽西小学校区 (n=137)	32.8	21.2	4.4
	山陽東小学校区 (n=115)	37.4	20.0	5.2
	山陽北小学校区 (n=201)	45.3	22.9	5.5
	桜が丘小学校区 (n=198)	46.0	20.7	6.1
	赤坂地域小学校区 (n=73)	19.2	37.0	21.9
	熊山地域小学校区 (n=79)	24.1	35.4	20.3
性別	男性 (n=394)	39.1	21.3	9.6
	女性 (n=643)	30.6	27.8	11.7
年齢別	29歳以下 (n=53)	32.1	24.5	24.5
	30歳代 (n=133)	24.8	36.1	10.5
	40歳代 (n=183)	30.6	28.4	9.8
	50歳代 (n=144)	27.8	23.6	13.2
	60歳代 (n=267)	30.7	24.7	10.9
	70歳以上 (n=274)	46.7	18.2	7.7

12 赤磐市を選ぶ際に参考になったり、魅力的に感じた取組

（９で「途中で引っ越して来た」と回答した方に質問）

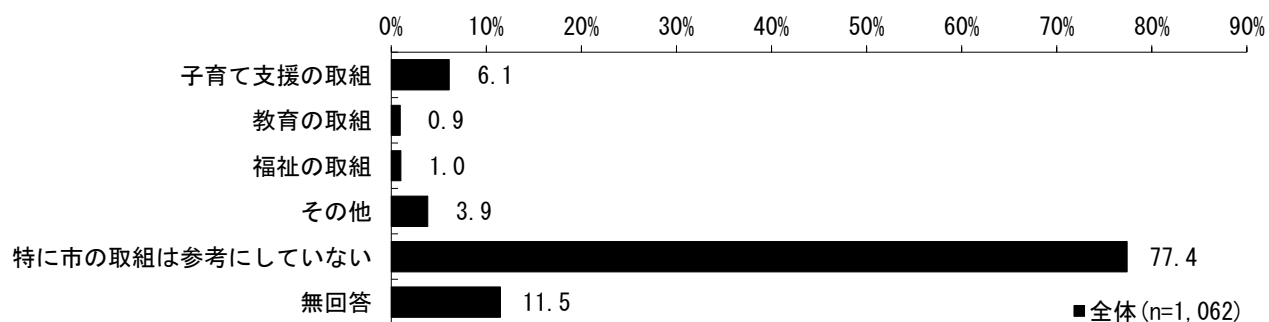
選ぶ際に赤磐市の取組で参考になったり、魅力的に感じた取組はありましたか。

具体的な取組名もわかれば記入してください。

赤磐市を選ぶ際に参考になったり、魅力的に感じた取組については、「子育て支援の取組」が 6.1%、「教育の取組」が 0.9%、「福祉の取組」が 1.0%となっています。

なお、「特に市の取組は参考にしていない」が 77.4%となっています。

選ぶ際に赤磐市の取組で参考になったり、魅力的に感じた取組（全体）



具体的取組をみると、「子育て支援の取組」として、「子どもの医療費無料（中学３年生まで）」が 21 件と最も多くなっています。

赤磐市を選ぶ際に参考になったり、魅力的に感じた取組（具体的な取組名）

■子育て支援

取組内容	件数
子どもの医療費無料（中学３年生まで）	21
乳幼児医療の充実、費用助成	5
保育園の充実	4
児童手当	2
障がいに関する相談窓口	1
医療支援の充実	1
たんぽぽの会	1
ファミリア	1
チャルラル	1
一時預かりの充実	1
親子クラブ	1
児童館	1
学童保育	1
ファミリーサポート	1
スポーツ少年団	1
子育て支援の行事の充実	1
合計	44

■教育

取組内容	件数
スクールバスの充実	1
治安の良さ	1
小学校での米作りや桃の栽培体験	1
幼稚園での３年保育	1
子育ての環境	1
PTA活動の充実	1
合計	6

■福祉

取組内容	件数
障がい者や高齢者への理解	1
ささえあい	1
活発な社会福祉協議会	1
合計	3

13 自治会への加入状況

13-① 自治会への加入状況

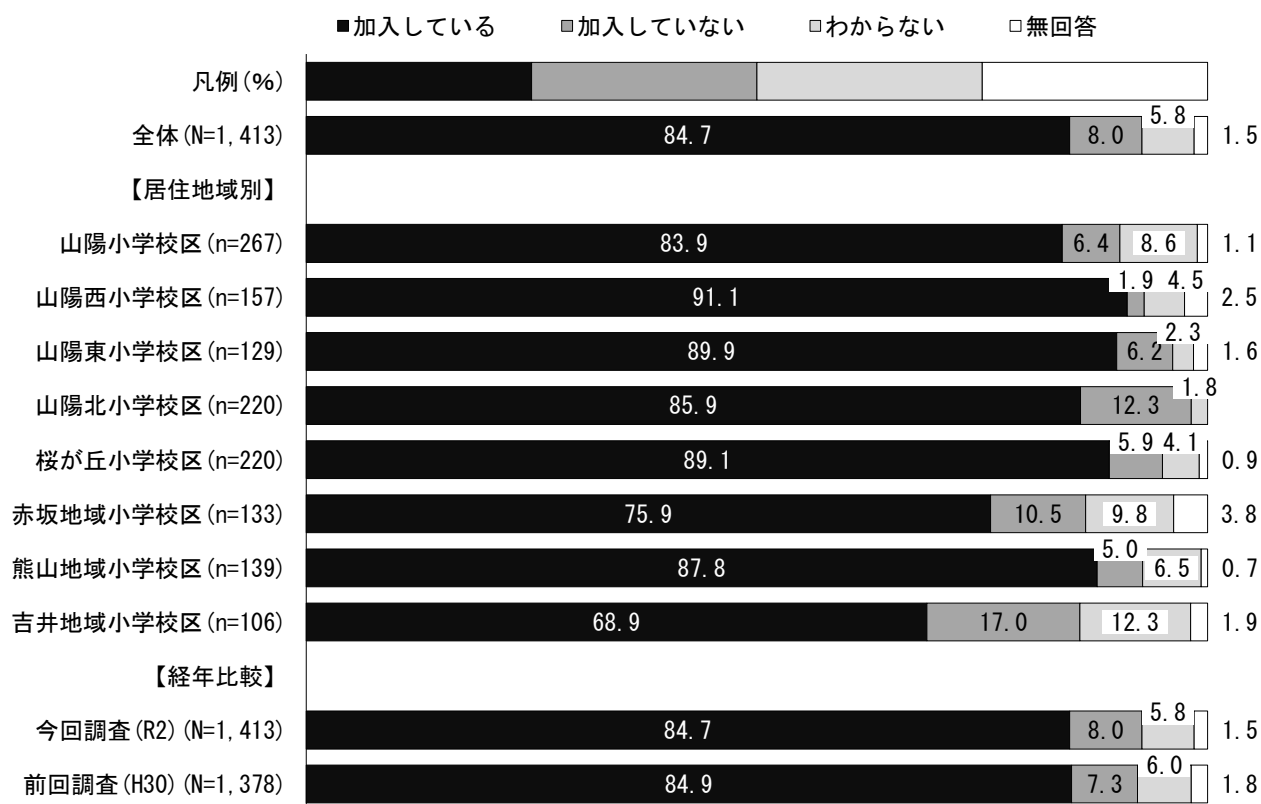
あなたは、自治会（区・町内会）に加入していますか。

自治会への加入状況については、「加入している」が84.7%、「加入していない」が8.0%、「わからない」が5.8%となっています。

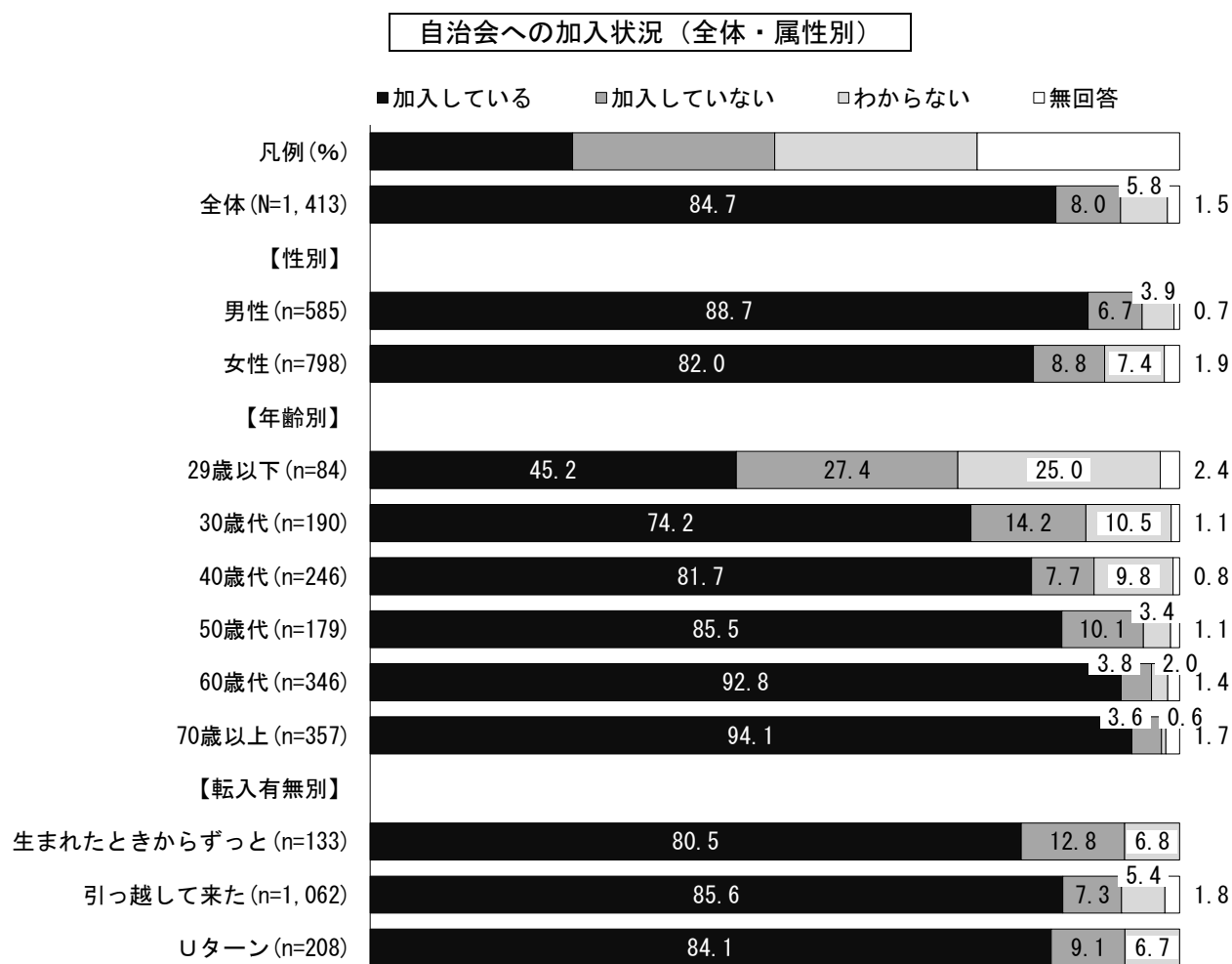
居住地域別では、吉井地域小学校区で「加入している」が68.9%と他の地域と比べて低くなっています。

経年比較では、前回調査と比べて特に違いはみられません。

自治会への加入状況（全体・属性別・経年比較）



性別では、男性で「加入している」が約9割（88.7%）と女性（82.0%）と比べて高くなっています。
 年齢別では、年齢が上がるほど、加入している割合が高くなる傾向にあります。
 転入有無別では、引っ越してきた方の加入割合が、85.6%と最も高くなっています。



13-② 自治会の活動への参加頻度

(13-①で「加入している」と回答した方に質問)

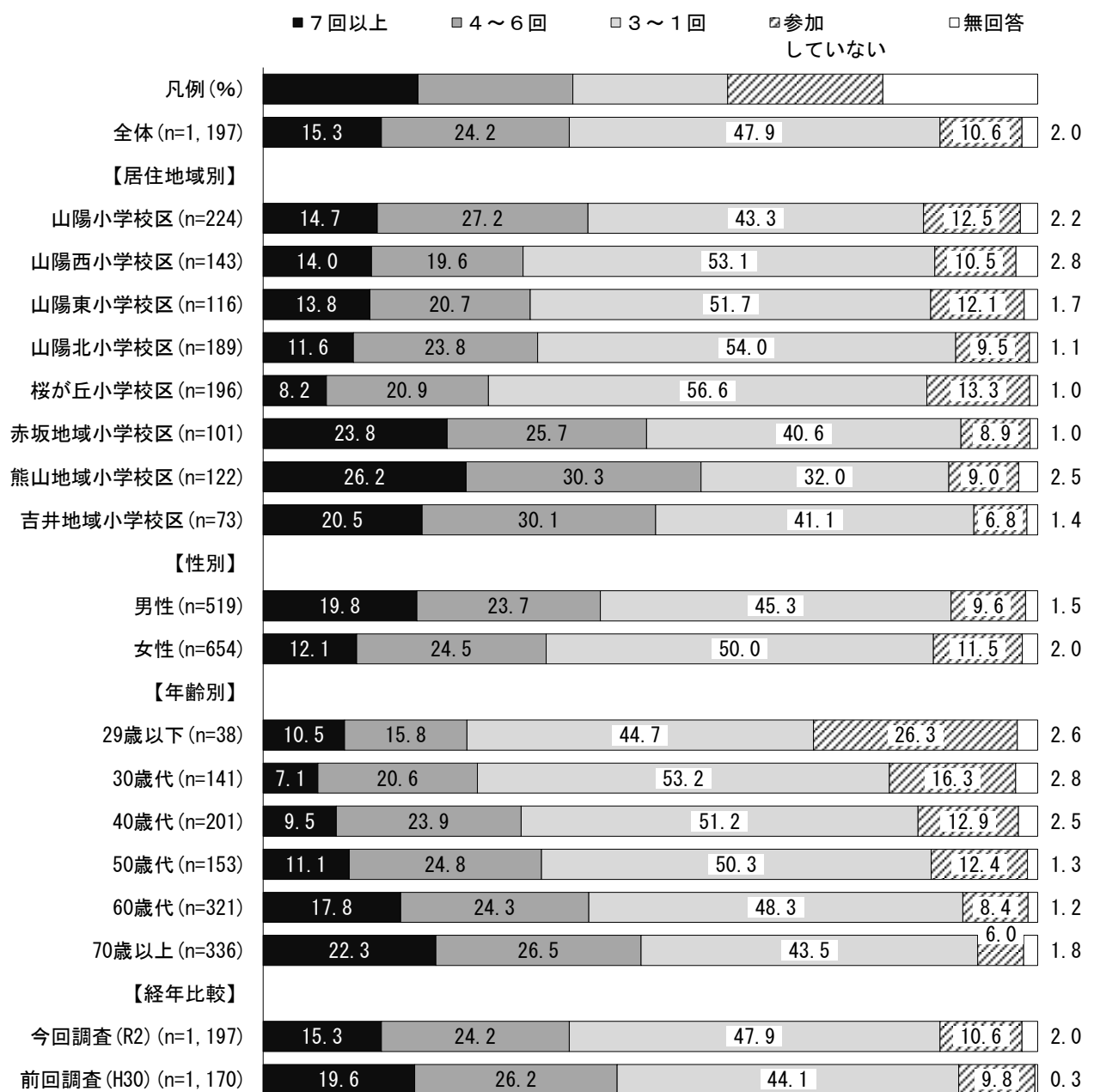
自治会の活動に年何回参加していますか。

自治会の活動への参加頻度については、「3～1回」が47.9%と最も高く、「4～6回」が24.2%、「7回以上」が15.3%、「参加していない」が10.6%と続いています。

居住地域別では、赤坂地域小学校区、熊山地域小学校区、吉井地域小学校区で2割以上が「7回以上」と回答しており、他の地域と比べて自治会の活動への参加意欲が高いことがうかがえます。

年齢別では、年齢が上がるほど参加頻度が増加する傾向にあります。

自治会の活動への参加頻度（全体・属性別・経年比較）



II 調査の結果

1 赤磐市のまちに対する想いについて

1-1 広報

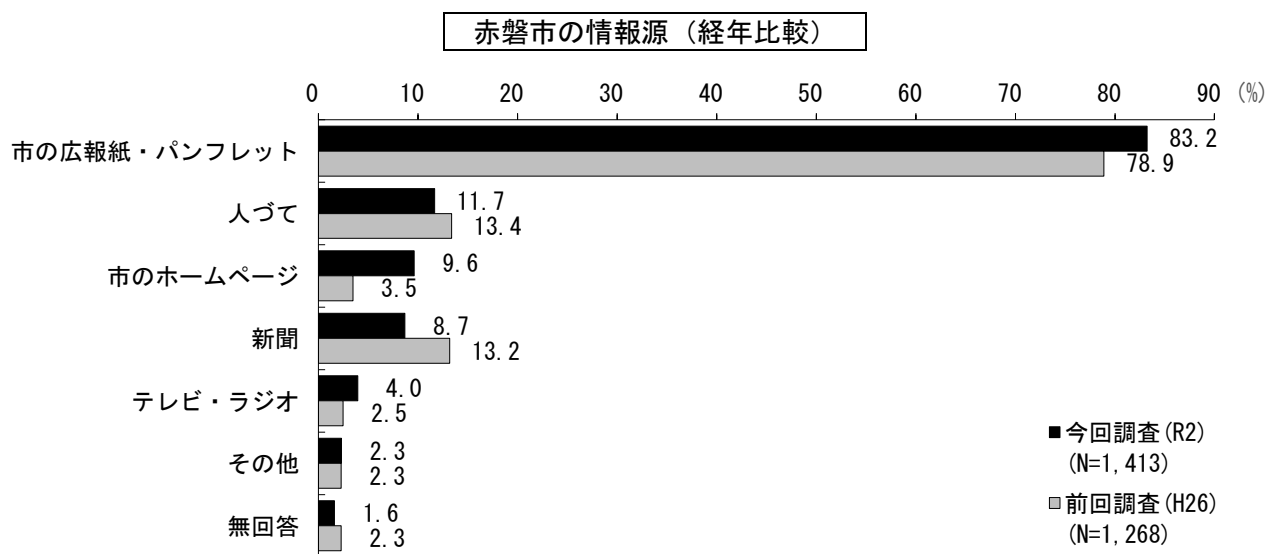
1-1-1 赤磐市の情報源

赤磐市の情報を主にどこから得ていますか。

全体では、「市の広報紙・パンフレット」が83.2%と最も高く、「人づて」が11.7%、「市のホームページ」が9.6%、「新聞」が8.7%と続いています。

経年比較では、「市のホームページ」が前回調査（3.5%）と比較して6.1ポイント高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「市の広報紙・パンフレット」の割合が高くなる傾向にあります。



赤磐市の情報源（属性別）

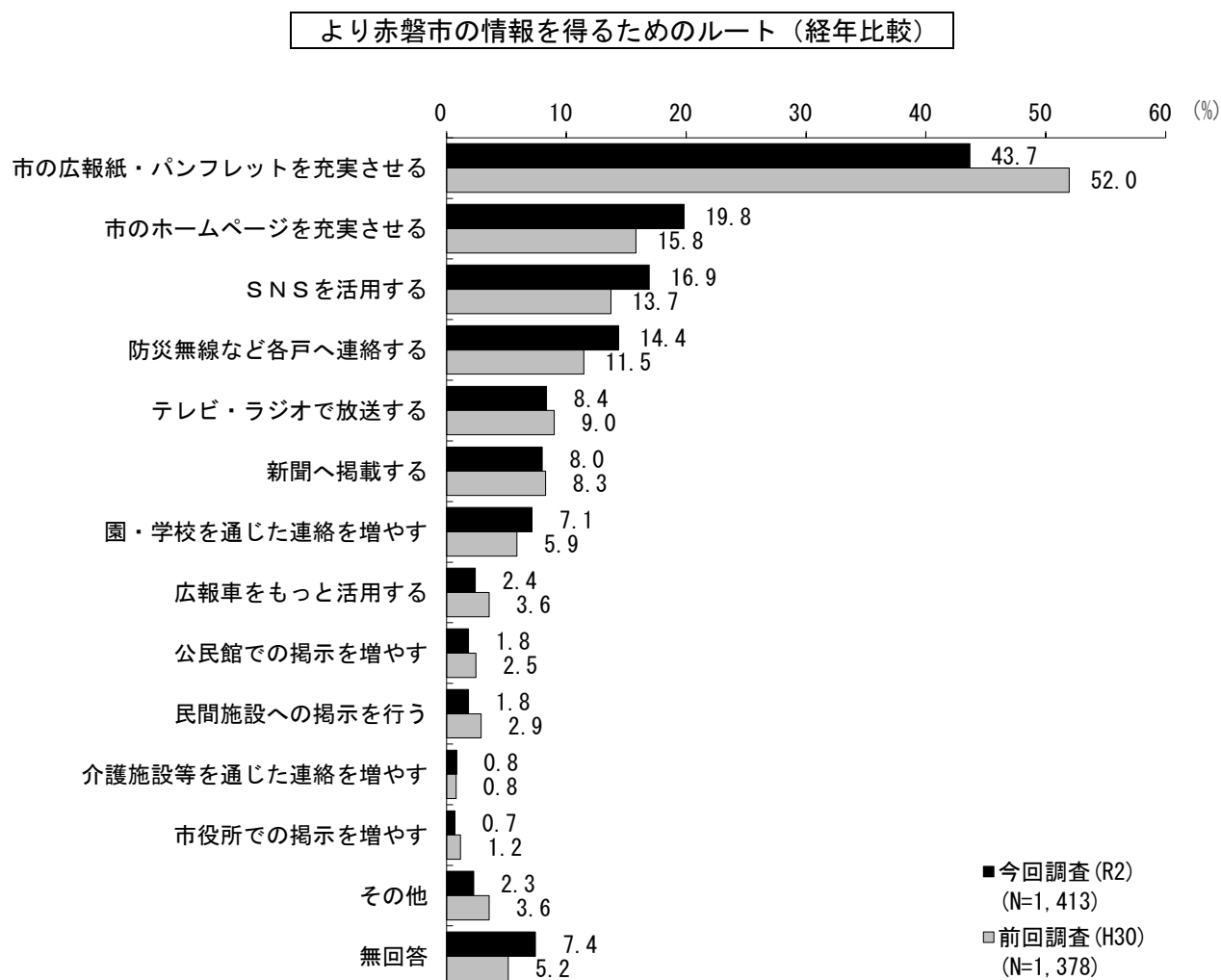
単位 (%)		市の広報紙・パンフレット	市のホームページ	新聞	テレビ・ラジオ	人づて	その他
性 別	全体 (N=1,413)	83.2	9.6	8.7	4.0	11.7	2.3
	男性 (n=585)	82.4	10.1	8.4	4.6	10.6	2.4
年 齢 別	女性 (n=798)	84.1	9.4	9.0	3.5	12.5	2.1
	29歳以下 (n=84)	54.8	10.7	6.0	9.5	26.2	4.8
有 転 入	30歳代 (n=190)	76.8	16.8	2.6	5.8	17.4	2.6
	40歳代 (n=246)	80.1	16.3	8.1	3.7	14.6	2.4
	50歳代 (n=179)	87.7	8.9	9.5	1.7	7.3	2.2
	60歳代 (n=346)	88.7	7.2	11.6	2.9	7.5	1.7
	70歳以上 (n=357)	88.8	3.6	9.8	4.2	9.0	2.0
無 転 入	生まれたときからずっと (n=133)	78.2	4.5	12.8	7.5	9.8	3.0
	引っ越して来た (n=1062)	84.0	9.6	8.5	3.6	11.2	2.3
	Uターン (n=208)	83.2	13.0	7.7	3.8	15.4	2.4

1-1-2 より赤磐市の情報を得るためのルート

どんなルートで情報の提供があれば、もっと赤磐市の情報が得られると思いますか。

全体では、「市の広報紙・パンフレットを充実させる」が43.7%と最も高く、「市のホームページを充実させる」が19.8%、「SNSを活用する」が16.9%、「防災無線など各戸へ連絡する」が14.4%と続いています。

経年比較でみると「市の広報紙・パンフレットを充実させる」は、前回調査（52.0%）と比べて今回調査（43.7%）は8.3ポイント低くなっており、代わりに「市のホームページを充実させる」や「SNSを活用する」が高くなっています。



性別では「園・学校を通じた連絡を増やす」は、女性（9.9％）が男性（3.6％）を6.3ポイント上回っています。

年齢別では、年齢が上がるほど「市の広報紙・パンフレットを充実させる」が、年齢が下がるほど「SNSを活用する」が高くなる傾向にあります。

転入有無別では、Uターンした方で「SNSを活用する」が22.6％と全体と比べて高くなっています。

より赤磐市の情報を得るためのルート（属性別）

単位（％）		市の広報紙・パンフレットを充実させる	市のホームページを充実させる	SNSを活用する	テレビ・ラジオで放送する	新聞へ掲載する	市役所での掲示を増やす	公民館での掲示を増やす	民間施設への掲示を行う
性別	全体 (N=1,413)	43.7	19.8	16.9	8.4	8.0	0.7	1.8	1.8
	男性 (n=585)	45.1	22.7	15.4	9.1	9.1	0.7	1.9	1.2
	女性 (n=798)	42.6	17.8	17.9	7.8	7.4	0.8	1.8	2.4
年齢別	29歳以下 (n=84)	15.5	15.5	51.2	13.1	6.0	0.0	1.2	3.6
	30歳代 (n=190)	30.5	31.6	35.3	11.6	6.8	0.5	0.5	3.2
	40歳代 (n=246)	37.0	27.2	28.5	6.9	7.3	0.0	0.4	2.0
	50歳代 (n=179)	39.7	22.3	15.1	11.7	6.1	0.6	0.6	2.8
	60歳代 (n=346)	49.7	18.8	6.9	6.9	9.5	0.9	1.4	1.7
	70歳以上 (n=357)	58.3	9.5	2.0	6.4	9.2	1.4	4.8	0.3
転入有無別	生まれたときからずっと (n=133)	49.6	16.5	16.5	8.3	11.3	0.8	0.8	1.5
	引っ越して来た (n=1062)	44.2	20.1	15.9	8.3	7.4	0.7	2.0	1.6
	Uターン (n=208)	38.0	20.2	22.6	9.1	8.7	1.0	1.9	3.4

単位（％）		園・学校を通じた連絡を増やす	介護施設等を通じた連絡を増やす	広報車をもっと活用する	防災無線など各戸へ連絡する	その他
性別	全体 (N=1,413)	7.1	0.8	2.4	14.4	2.3
	男性 (n=585)	3.6	0.5	2.9	14.9	2.9
	女性 (n=798)	9.9	0.9	2.0	13.8	1.9
年齢別	29歳以下 (n=84)	6.0	2.4	0.0	9.5	3.6
	30歳代 (n=190)	26.3	0.5	0.5	3.7	1.1
	40歳代 (n=246)	14.6	0.0	0.0	7.7	0.8
	50歳代 (n=179)	3.4	1.1	0.6	16.2	3.4
	60歳代 (n=346)	0.3	0.9	4.3	19.7	2.9
	70歳以上 (n=357)	0.6	1.1	4.8	19.6	2.2
転入有無別	生まれたときからずっと (n=133)	4.5	0.0	0.8	14.3	0.0
	引っ越して来た (n=1062)	7.2	0.8	2.5	13.7	2.5
	Uターン (n=208)	9.1	1.4	2.9	18.3	2.4

1-1-3 赤磐市でも FM79.0MHz レディオモモが聴けるようになったことを知っているか

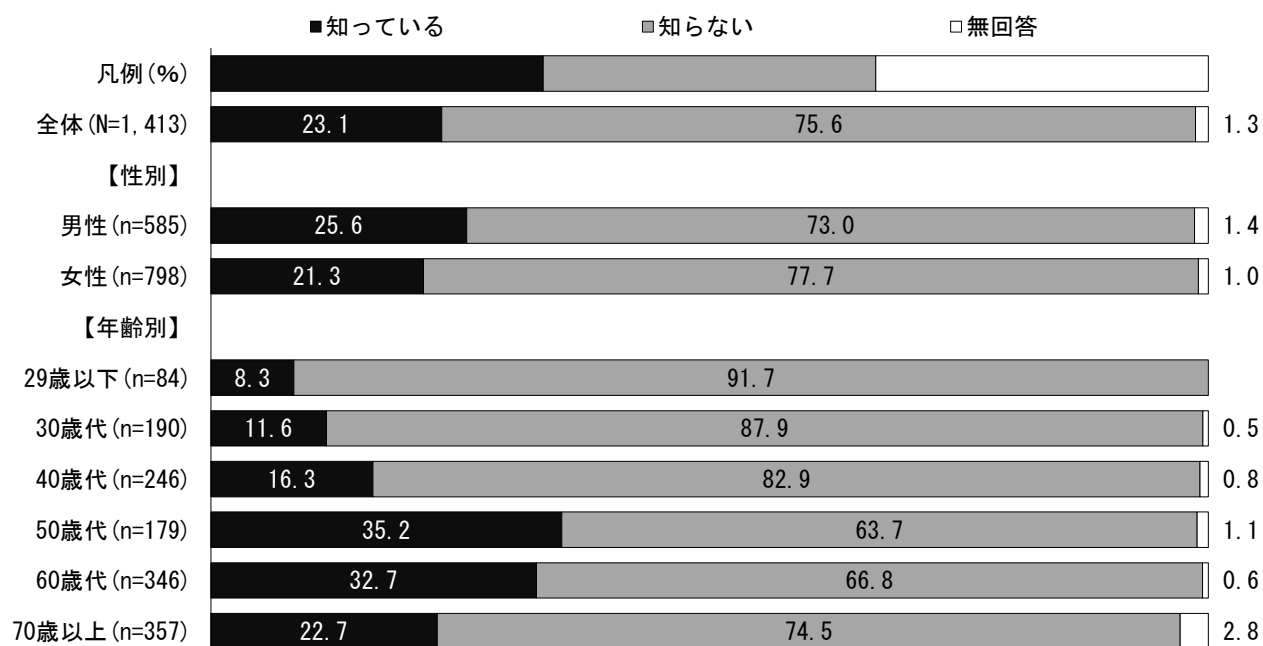
令和2年3月1日から赤磐市でも FM79.0MHz レディオモモが聴けるようになったことをご存じですか。

全体では、「知っている」が23.1%、「知らない」が75.6%となっています。

性別では、男性で「知っている」が25.6%と女性（21.3%）と比べてやや高くなっています。

年齢別では、50～60歳代で「知っている」が3割超となっています。

令和2年3月1日から赤磐市でも FM79.0MHz レディオモモが聴けるようになったことを知っているか（全体・属性別）



1-1-3-① 知ったきっかけ（要旨）

※1-1-3で「知っている」と回答した方に質問

赤磐市でも FM79.0MHz レディオモモが聴けるようになったことを知ったきっかけとして、「広報紙」が76件と最も多く、「新聞」が72件、「ラジオ」が20件と続いています。

赤磐市でも FM79.0MHz レディオモモが聴けるようになったことを知ったきっかけ
--

知ったきっかけ	件数
広報紙	76
新聞	72
ラジオ	20
人づてに聞いた	9
テレビ	7
チラシ	6
町内会	5
たまたま聴いた	4
地域の催し	4
インターネット	3
Twitter	2
SNS	2
集会所の貼り紙	1
レディオモモのお知らせ	1
CM	1
前から聞いていた	1
警察署	1
回覧板	1
パンフレット	1
防災無線	1
合計	218

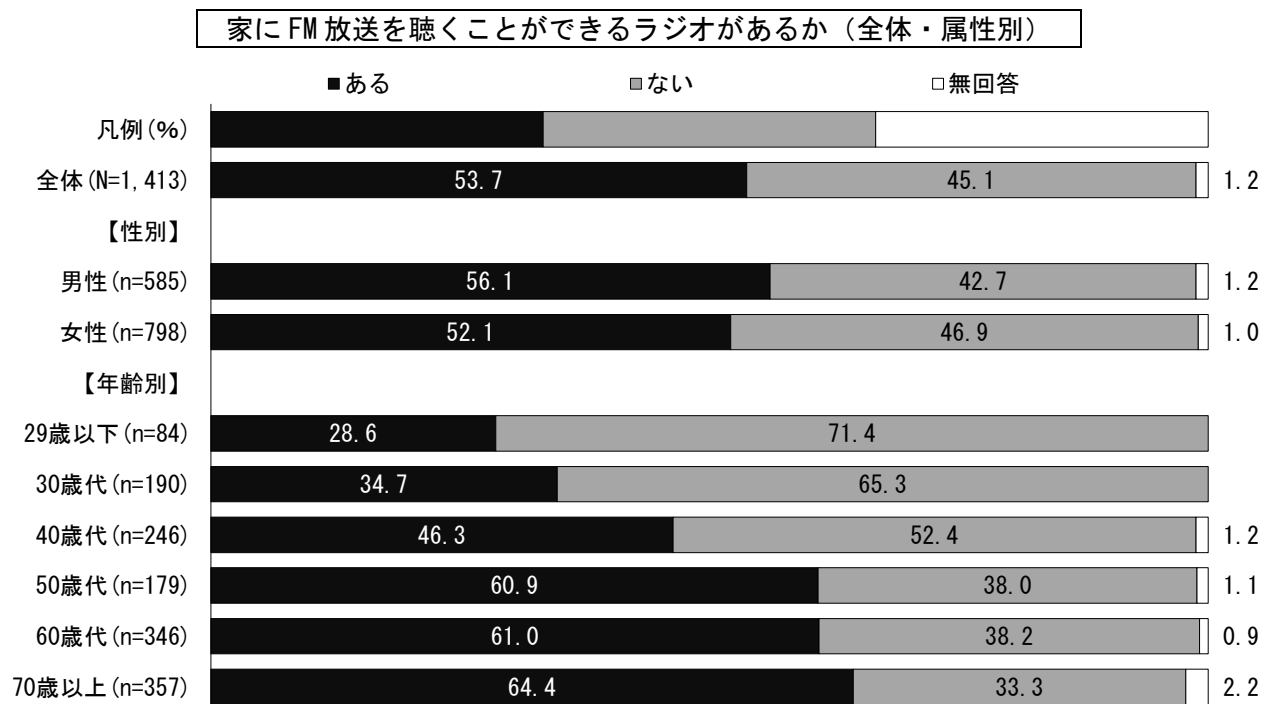
1-1-4 家にFM放送を聴くことができるラジオがあるか

家にFM放送を聴くことができるラジオがありますか。

全体では、「ある」が53.7%、「ない」が45.1%となっています。

性別では、男性で「ある」が56.1%と女性の52.1%と比べてやや高くなっています。

年齢別では、年齢が上がるほど「ある」の割合が高くなる傾向にあります。



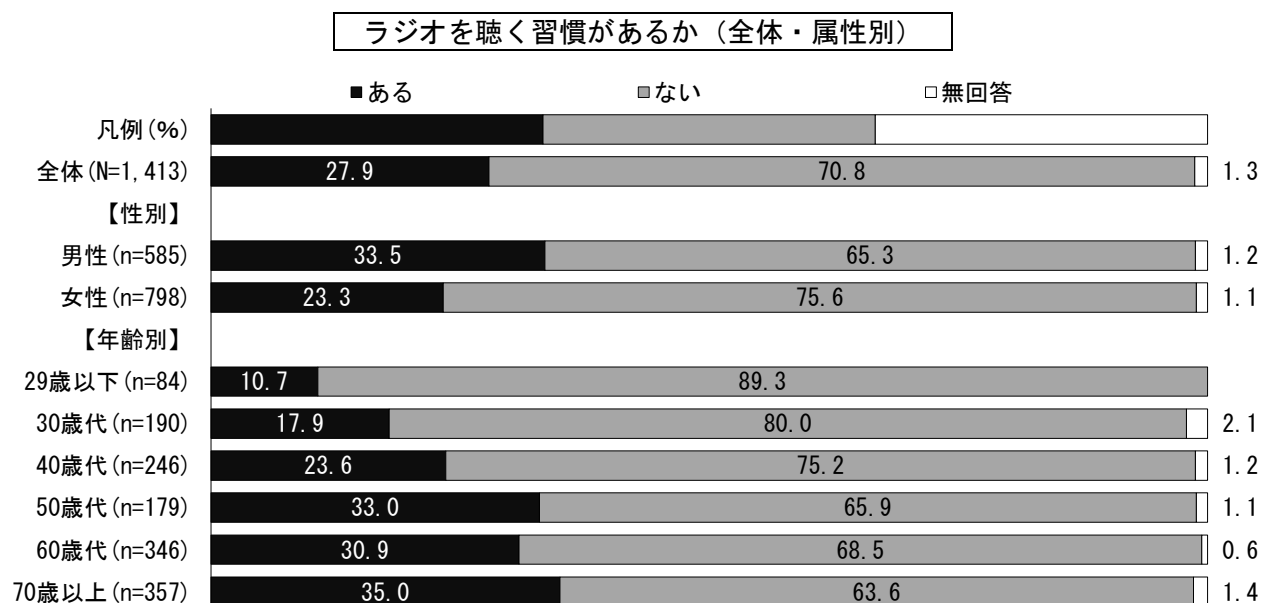
1-1-5 ラジオを聴く習慣があるか

ラジオを聴く習慣がありますか。

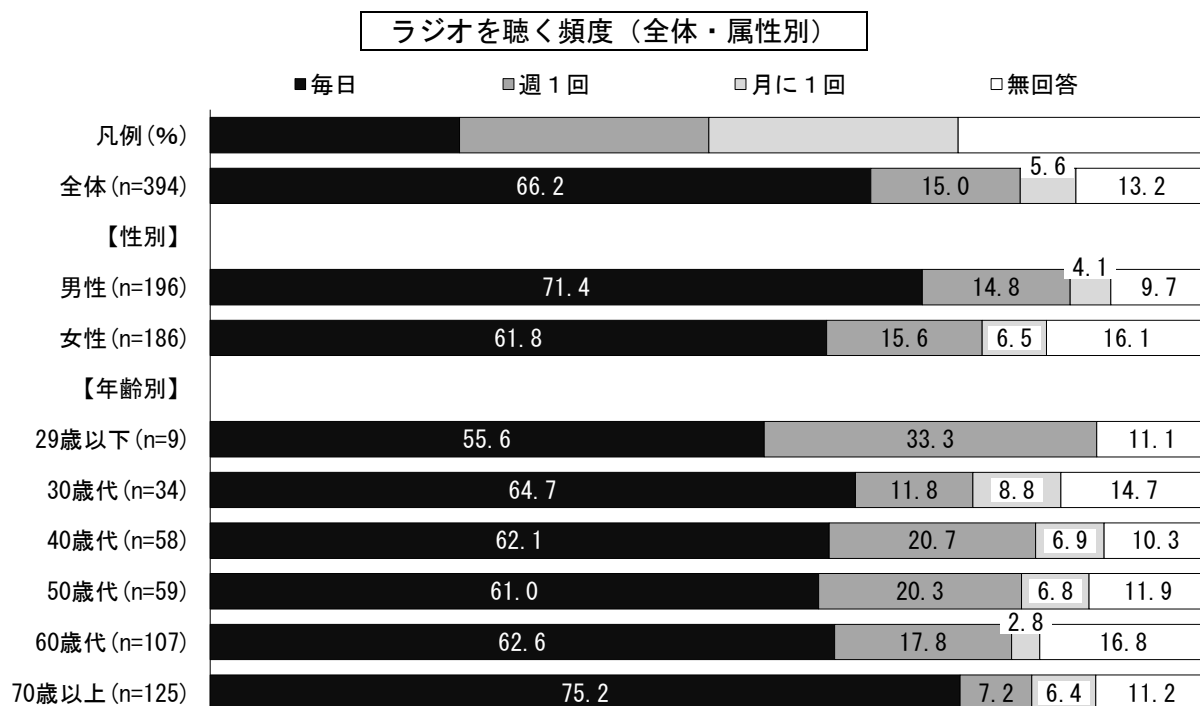
全体では、「ある」が27.9%、「ない」が70.8%となっています。

性別では「ある」は、男性（33.5%）が女性（23.3%）を10.2ポイント上回っています。

年齢別では、年齢が上がるほど「ある」の割合が高くなる傾向にあります（一部年代を除く）。



ラジオを聴く頻度（上記設問で「ある」と回答した方が対象）については、「毎日」が66.2%、「週1回」が15.0%、「月に1回」が5.6%となっています。毎日ラジオを聴く方は女性よりも男性の方が多くなっており、年齢が上がるほど多くなる傾向にあります（一部年代を除く）。



1－1－5－① いつも聴く番組（要旨）

ラジオでいつも聴く番組については、NHK が 49 件と最も多く、FM 岡山が 23 件、MBS ラジオと RSK 山陽放送がそれぞれ 17 件と続いています。

ラジオでいつも聴く番組

番組名	件数
NHK	49
FM岡山	23
MBSラジオ	17
RSK山陽放送	17
毎日放送	9
音楽系番組	9
レディオモモ	8
ラジオ体操	8
ラジオ深夜便	8
AM	7
オールナイトニッポン	6
英会話番組	6
ニュース番組	6
ABCラジオ	6
ありがとう浜村淳です	5
ワン・モーニング	5
フレッシュモーニング岡山	5
おはようパーソナリティ道上洋三です	4
マイあさ！	3
朝日放送	3
こんちわコンちゃんお昼ですよ！	3
インターネットラジオ	2
朝耳ラジオ	2
国会中継	2
そのときに流れている番組を聴く	4
特になし、決めていない	11
その他	22
合計	250

1-2 愛着

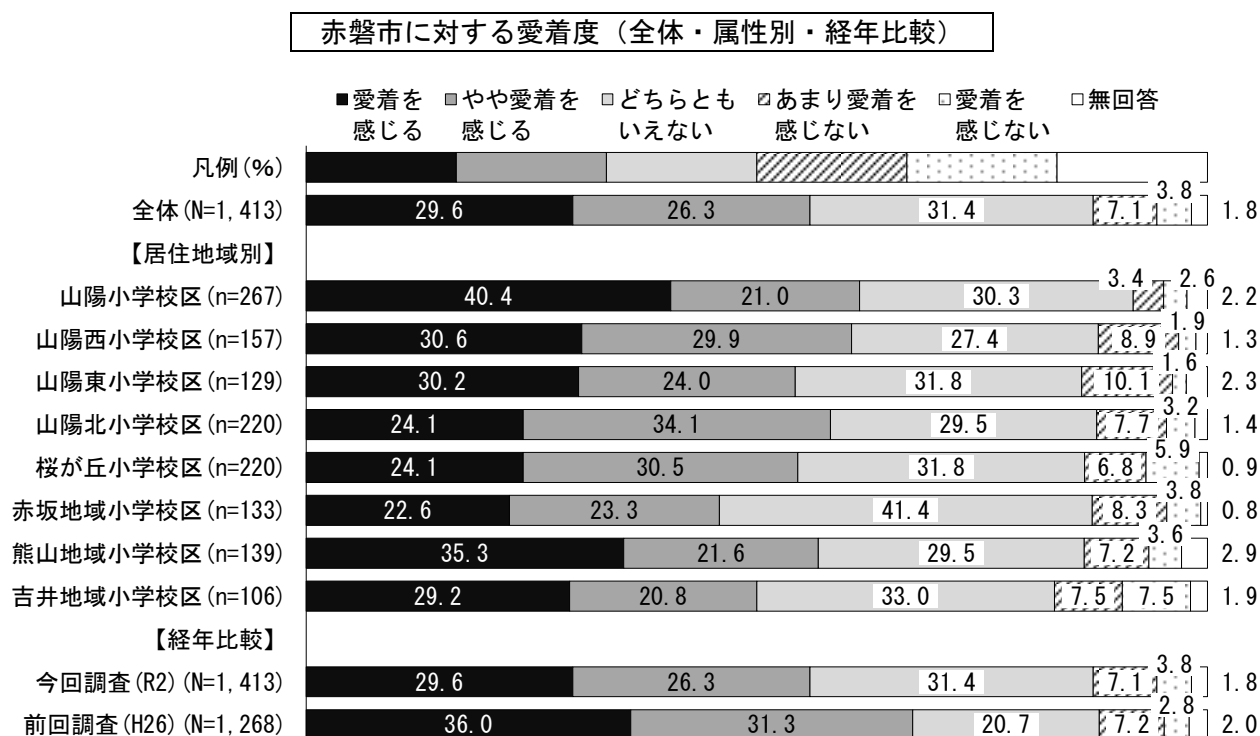
1-2-1 赤磐市に対する愛着度

あなたは、赤磐市に愛着を感じますか。

全体では、「愛着を感じる」（29.6%）と「やや愛着を感じる」（26.3%）を合わせた“愛着を感じる”が55.9%と半数を超えています。一方「あまり愛着を感じない」（7.1%）と「愛着を感じない」（3.8%）を合わせた“愛着を感じない”が10.9%となっています。

居住地域別では、山陽小学校区で“愛着を感じる”が61.4%と、他の地域と比べて高くなっています。一方、赤坂地域小学校区ではこの割合は45.9%に留まっています。

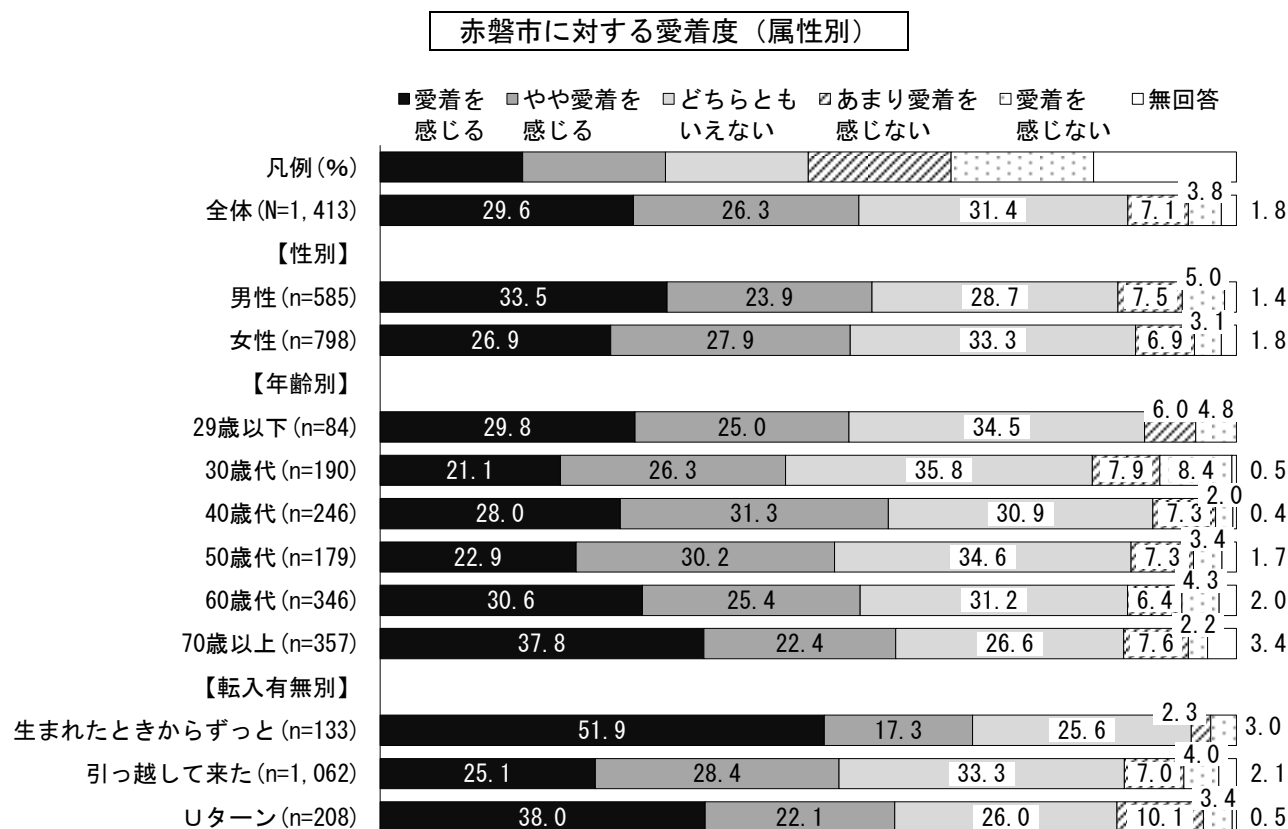
経年比較では“愛着を感じる”は、前回調査（67.3%）と比べて、今回調査（55.9%）は11.4ポイント低くなっています。



性別では“愛着を感じる”は、男性（57.4%）が女性（54.8%）を若干上回っています。

年代別では、“愛着を感じる”は、40歳代（59.3%）や70歳以上（60.2%）で特に高くなっています。

転入有無別では、生まれたときからずっと赤磐市に住んでいる方は“愛着を感じる”が69.2%と高くなっています。



1-2-2 どのようなところに愛着を感じるか

（1-2-1で「愛着を感じる」「やや愛着を感じる」と回答した方に質問）

どのようなところに愛着を感じますか。具体的にご記入ください。

愛着を感じる根拠となる回答として、「出身地だから（ずっと住んでいるから）」という回答が 207 件と最も多くなっています。具体的な内容としては、「自然が豊か」、「野菜や果物がおいしい」、「人が少ない」、「静か」、「のどかで落ち着いて暮らせる」など、自然に関する回答が多くみられます。また、「住みやすい」、「交通や生活の便が良い」など、利便性に関する回答も多くなっています。

どのようなところに愛着を感じるか

意見要旨	件数
出身地だから、ずっと住んでいるから	207
自然が豊か	165
住みやすい	88
人が優しい、住民同士の関係がよい	82
親族や友人など地域のつながりや思い出がある	70
交通や生活の便が良い	58
野菜や果物（桃）が豊富、おいしい	44
都会すぎず田舎すぎずなところ	41
自分の家があるから	30
人が少ない、静か	29
災害が少ない	27
のどかで落ち着いて暮らせる	31
子育てしやすい	16
地域の集まりやイベントに参加しやすい、楽しい	14
市政や役所職員に好感が持てる	11
治安が良い	10
福祉やサービス、公共施設が充実している	8
空気がきれい	7
気候が良い	7
町並みや景色がきれい	5
歴史がある	5
教育機関が良い	4
公園が充実している	4
地名に愛着がある、好き	3
子育て支援が充実している	2
出身地の環境に似ている	2
なんとなく	6
その他	5
合計	981

1-2-3 どのようなところに愛着を感じないか

（2-1で「あまり愛着を感じない」「愛着を感じない」と回答した方に質問）

どのようなところに愛着を感じませんか。具体的にご記入ください。

愛着を感じない根拠となる回答として、「交通・買物等が不便」が25件と最も多くなっています。また、市政や市民への対応についての不満や、地域の人間関係についての内容も多くなっています。

どのようなところに愛着を感じないか

意見要旨	件数
交通・買物等が不便	25
市政や市民への対応が不満	14
地域の人たちの性格、住民どうしの人間関係	14
地域のかかわりを持ちにくい・地域行事に参加しづらい	7
自分の地元ではないため	6
（移住して日が浅い等で）まだよくわからない	5
市議員への不満	5
暮らしにくい	5
水道代・税金等負担が多い	5
特色や魅力がない	4
合併に関する不満（合併前のほうがよかった等）	4
でかける場所がない	4
思い出があまりないから	3
福祉サービスが不足している	3
上下水道、道路等のインフラが整っていない	3
市自体には愛着はない	3
市政の恩恵を受けていない	2
街が寂れている	2
高齢者が多く若者の声が活かされていない	2
就労場所が少ない	2
保守的・閉鎖的	2
市政に参加する機会がない	2
特に理由はない、興味がない	11
その他	10
合計	143

1-3 暮らしやすさ

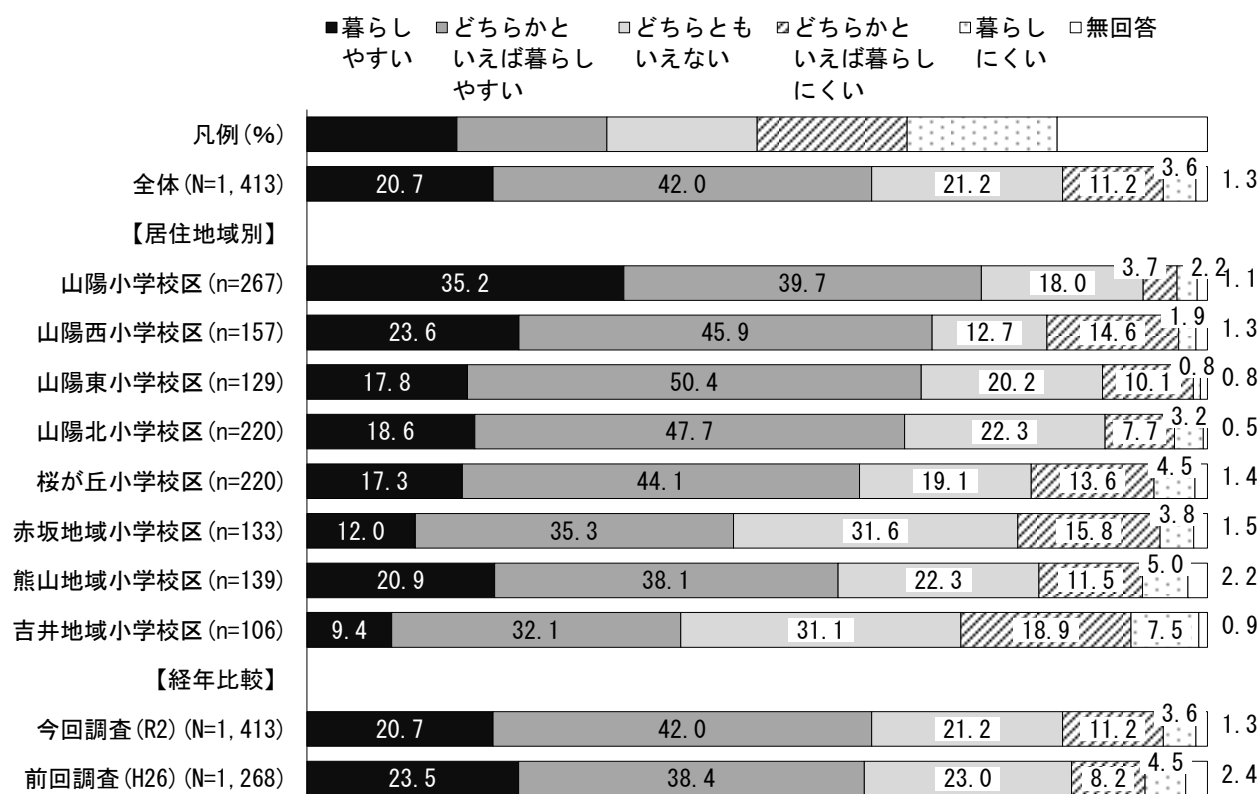
1-3-1 赤磐市の暮らしやすさ

あなたは、赤磐市は暮らしやすいまちだと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

全体では、「暮らしやすい」（20.7%）と「どちらかといえば暮らしやすい」（42.0%）を合わせた“暮らしやすい”が62.7%と6割を超えています。一方、「どちらかといえば暮らしにくい」（11.2%）と「暮らしにくい」（3.6%）を合わせた“暮らしにくい”が14.8%となっています。

居住地域別では、山陽小学校区で“暮らしやすい”が74.9%と他の地域と比べて高くなっています。経年比較では、前回調査と比べて“暮らしやすい”の割合に違いはみられません。

赤磐市の暮らしやすさ（全体・属性別・経年比較）

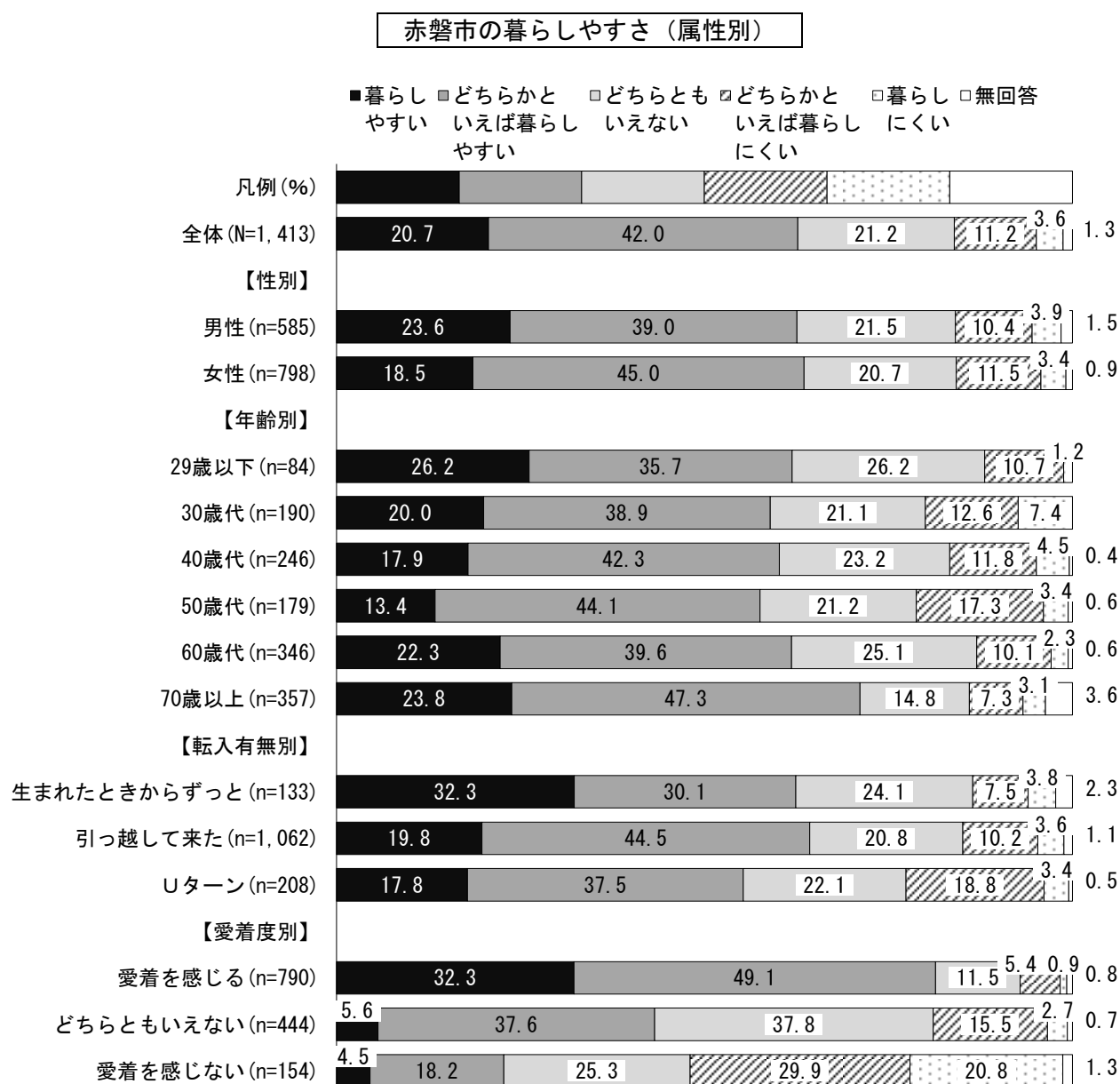


性別では、男女で“暮らしやすい”の割合に違いはみられません。ただし、「暮らしやすい」は、男性（23.6%）が女性（18.5%）を5.1ポイント上回っています。

年齢別では“暮らしやすい”は、70歳代以上で71.1%と高くなっています。

転入有無別では、Uターンで“暮らしやすい”が55.3%と低くなっています。赤磐市以外の地域での暮らしとの相対的な評価と考えられます。

愛着度別では、愛着度が高い層で“暮らしやすい”、愛着を感じない層で“暮らしにくい”の割合がそれぞれ高くなっています

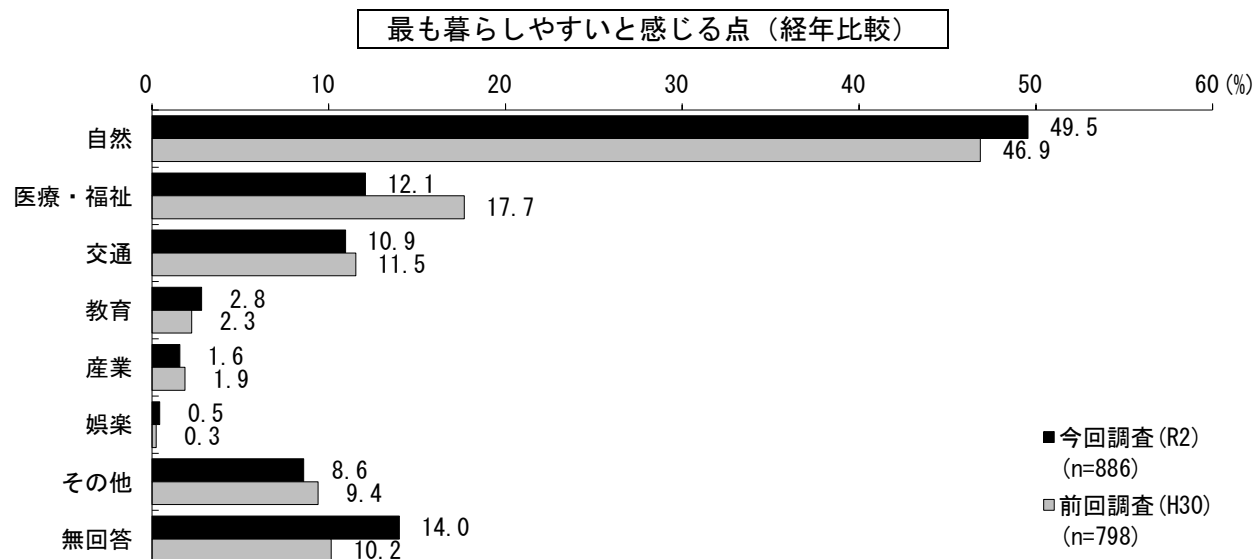


※ “愛着を感じる”は「愛着を感じる」と「やや愛着を感じる」の合計、“愛着を感じない”は「あまり愛着を感じない」と「愛着を感じない」の合計

1-3-2 最も暮らしやすいと感じる点

(1-3-1で「暮らしやすい」「どちらかといえば暮らしやすい」と回答した方に質問)
 どのようなところが暮らしやすいと感じますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

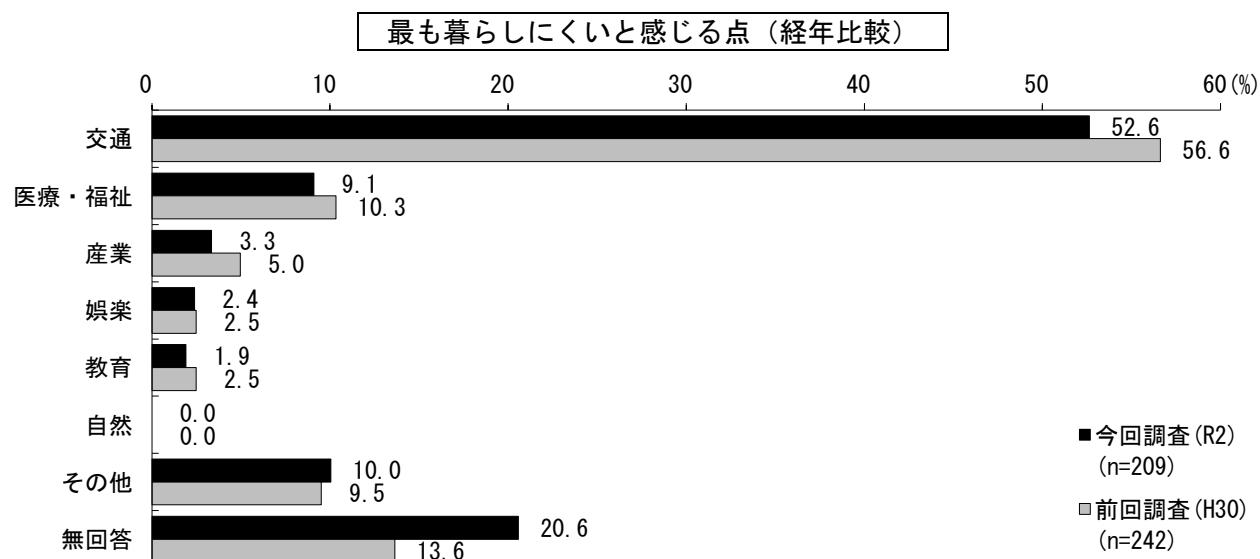
最も暮らしやすいと感じる点は、前回調査と同様の順位となっており、「自然」が49.5%と最も高く、「医療・福祉」が12.1%、「交通」が10.9%、「教育」が2.8%と続いています。暮らしやすいと感じている方は、利便性よりも自然の豊かさに対して暮らしやすさを感じていることがわかります。



1-3-3 最も暮らしにくいと感じる点

(3-1で「どちらかといえば暮らしにくい」「暮らしにくい」と回答した方に質問)
 どのようなところが暮らしにくいと感じますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

最も暮らしにくいと感じる点は、前回調査と同様の順位となっており、「交通」が52.6%と最も高く、「医療・福祉」が9.1%、「産業」が3.3%、「娯楽」が2.4%と続いています。暮らしにくいと感じている方は、移動に関する利便性において暮らしにくさを感じていることがわかります。



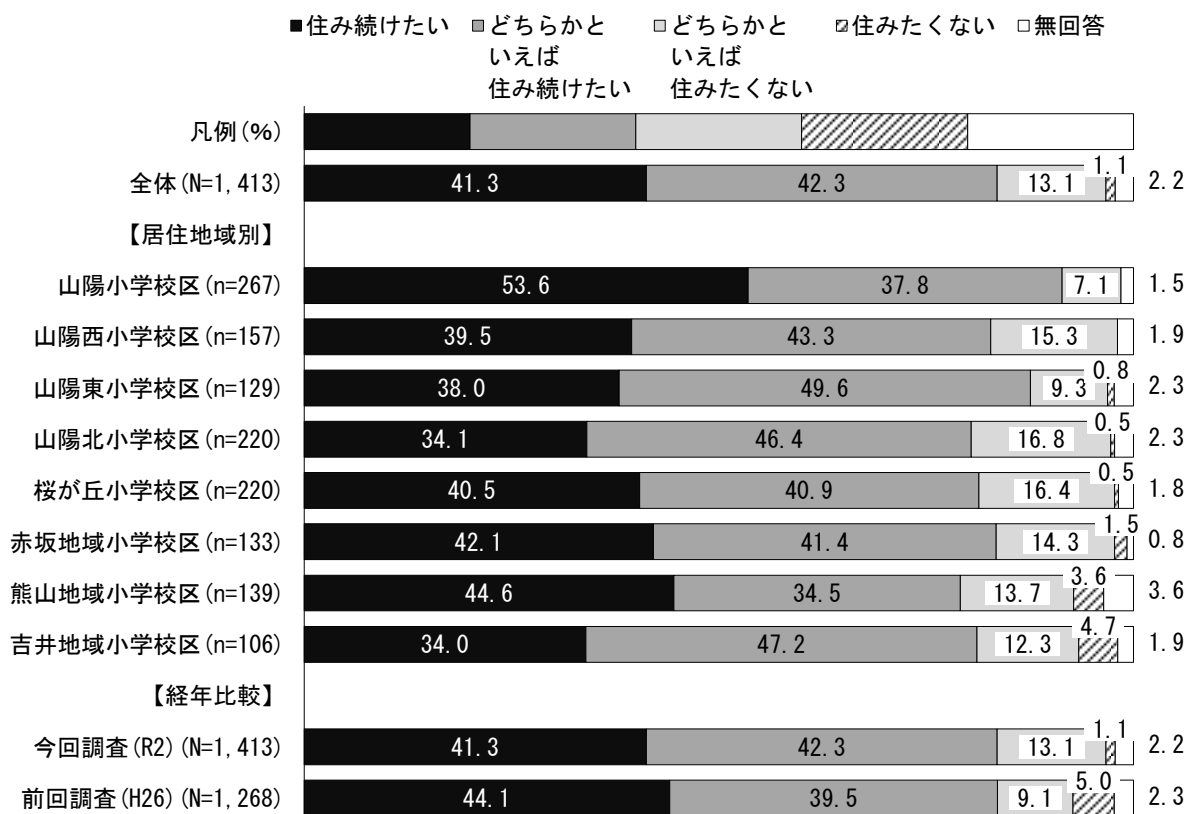
1-3-4 赤磐市への永住意向

あなたは、これからも赤磐市に住み続けたいと思いますか。

全体では、「住み続けたい」（41.3%）と「どちらかといえば住み続けたい」（42.3%）を合わせた“永住意向”が83.6%となっています。一方、「どちらかといえば住みたくない」（13.1%）と「住みたくない」（1.1%）の合計は14.2%となっています。

居住地域別では、山陽小学校区で“永住意向”が91.4%と、他の地域と比べて高くなっています。経年比較では、前回調査と比べて“永住意向”の割合に違いはみられません。

赤磐市への永住意向（全体・属性別・経年比較）

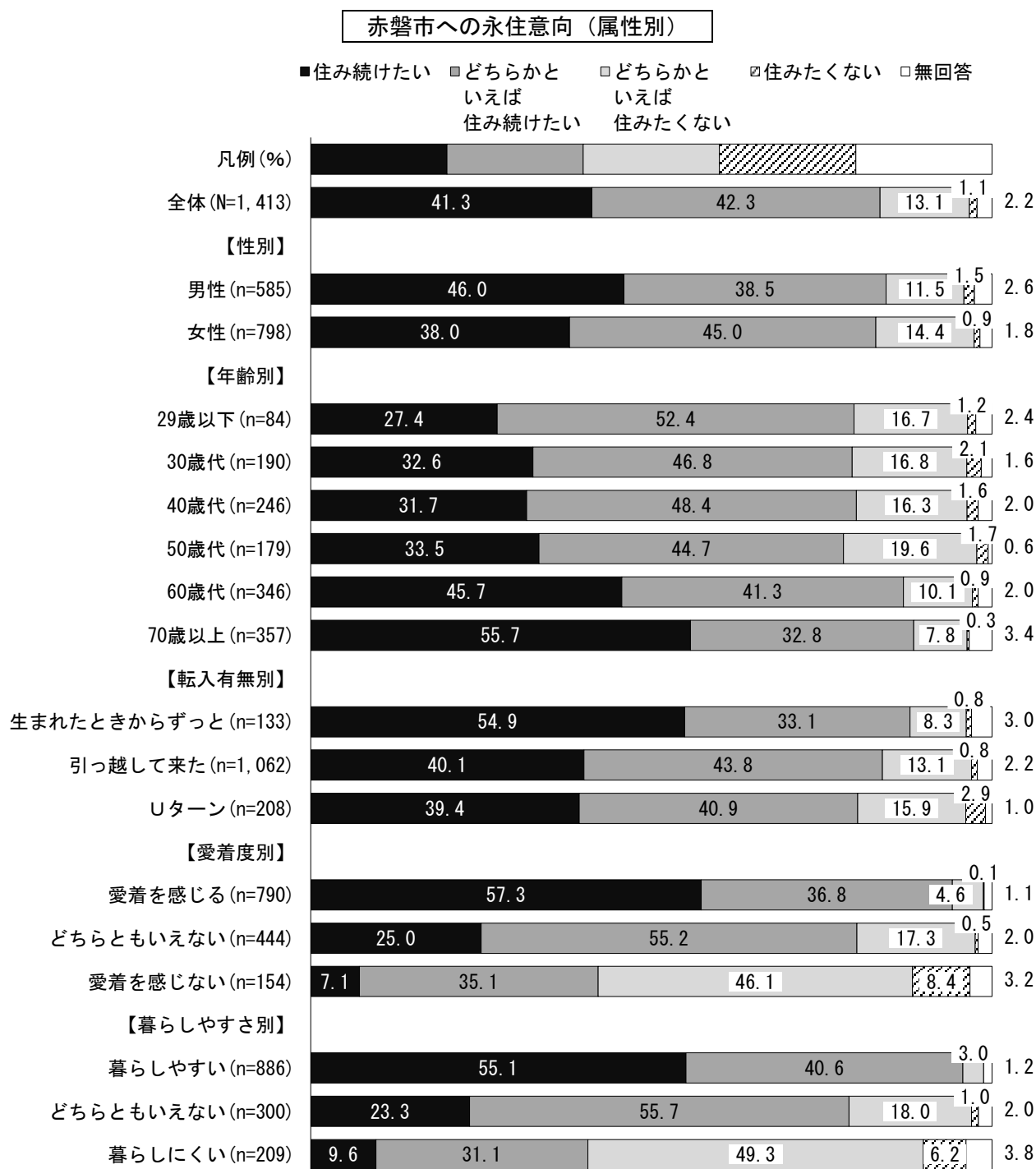


性別では、男女で“永住意向”の割合に違いはみられません。ただし、「住み続けたい」をみると、男性（46.0%）が女性（38.0%）を8.0ポイント上回っています。

年齢別では、60歳以上で“永住意向”が特に高くなっています。また、40歳代以降で、年齢が上がるほど「住み続けたい」の割合が高くなる傾向が読み取れます。

転入有無別では、“永住意向”は引っ越して来た方で83.9%、Uターンした方で80.3%と、赤磐市以外の地域と比較したうえで、8割以上の方が住み続けたいと考えていることがわかります。

愛着度別でみると愛着度が高い層、暮らしやすさ別でみると暮らしやすいと感じている層で“永住意向”の割合が高くなっています。



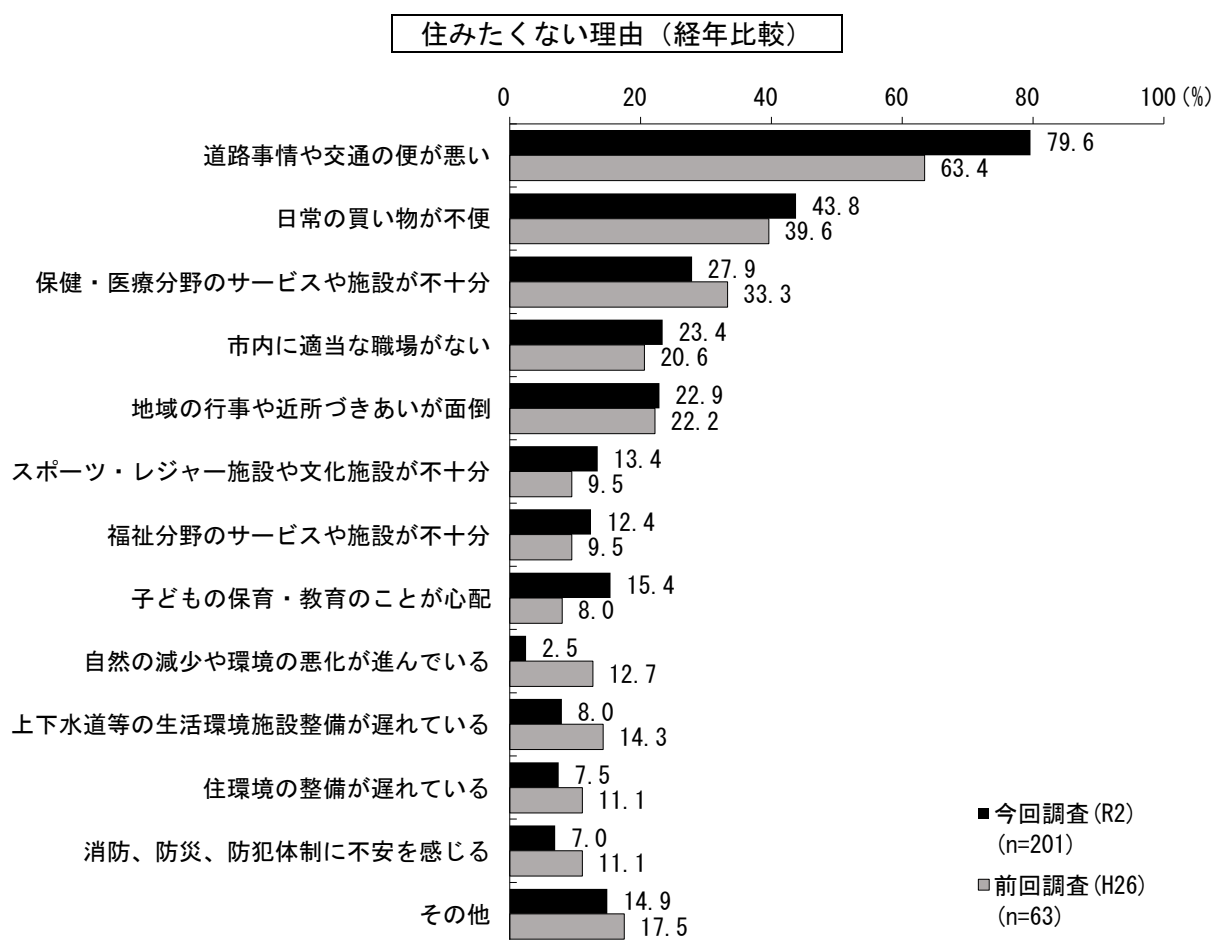
※ “暮らしやすい” は“暮らしやすい”と「どちらかといえば暮らしやすい」の合計、“暮らしにくい”は「どちらかといえば暮らしにくい」と「暮らしにくい」の合計

1-3-5 住みたくない理由

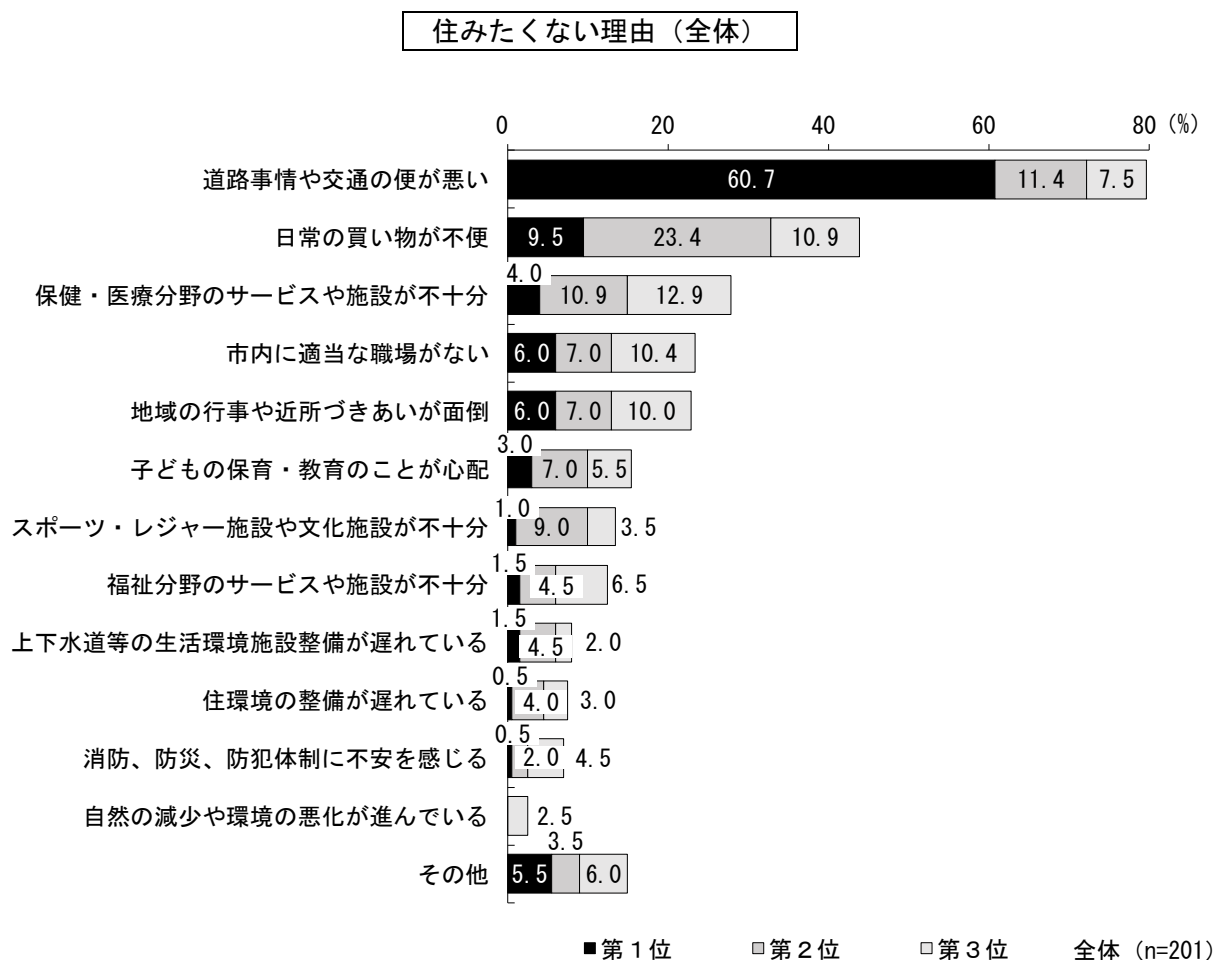
(1-3-4で「どちらかといえば住みたくない」「住みたくない」と回答した方に質問)
 あなたが赤磐市に住みたくない主な理由は何ですか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

全体では、「道路事情や交通の便が悪い」が79.6%と最も高く、「日常の買い物が不便」が43.8%、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」が27.9%と続いています。

経年比較でみると「道路事情や交通の便が悪い」が前回調査(63.4%)と比べて16.2ポイント高くなっています。



第1位にあげられたこととしては、「道路事情や交通の便が悪い」が60.7%と最も高く、「日常の買い物が不便」が9.5%、「市内に適当な職場がない」と「地域の行事や近所づきあいが面倒」がそれぞれ6.0%、「保健・医療分野のサービスや施設が不十分」が4.0%と続いています。



居住地域別でみると、「道路事情や交通の便が悪い」は、山陽東小学校区と桜が丘小学校区で8割、山陽北小学校区で9割を超えています。

性別でみると、「道路事情や交通の便が悪い」と「日常の買い物が不便」ではいずれも女性の方が男性よりも高い割合となっており、特に女性が移動に関して不便を感じていることがうかがえます。

年齢別でみると、すべての年代で「道路事情や交通の便が悪い」が最も高くなっています。

住みたくない理由（属性別）

単位（％）		道路事情や交通の便が悪い	日常の買い物が不便	保健・医療分野のサービスが不十分	市内に適当な職場がない	地域の行事や近所づきあいが面倒	スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分	福祉分野のサービスや施設が不十分	子どもの保育・教育のことが心配	自然の減少や環境の悪化が進んでいる	上下水道等の生活環境施設整備が遅れている
全体 (n=201)		79.6	43.8	27.9	23.4	22.9	13.4	12.4	15.4	2.5	8.0
地域別	山陽小学校区 (n=19)	63.2	31.6	31.6	15.8	36.8	5.3	10.5	15.8	0.0	26.3
	山陽西小学校区 (n=24)	75.0	50.0	8.3	37.5	41.7	12.5	4.2	4.2	0.0	4.2
	山陽東小学校区 (n=13)	84.6	53.8	38.5	7.7	7.7	23.1	7.7	7.7	0.0	7.7
	山陽北小学校区 (n=38)	92.1	39.5	39.5	28.9	7.9	18.4	21.1	13.2	2.6	0.0
	桜が丘小学校区 (n=37)	86.5	45.9	18.9	21.6	5.4	18.9	10.8	13.5	2.7	2.7
	赤坂地域小学校区 (n=21)	76.2	38.1	19.0	23.8	28.6	14.3	9.5	28.6	0.0	19.0
	熊山地域小学校区 (n=24)	79.2	50.0	45.8	16.7	37.5	8.3	12.5	16.7	4.2	8.3
性別	男性 (n=76)	71.1	42.1	23.7	26.3	21.1	14.5	9.2	13.2	2.6	9.2
	女性 (n=122)	84.4	45.1	30.3	22.1	23.8	13.1	13.9	17.2	2.5	6.6
年齢別	29歳以下 (n=15)	86.7	33.3	6.7	53.3	0.0	26.7	6.7	20.0	0.0	6.7
	30歳代 (n=36)	80.6	44.4	25.0	19.4	38.9	25.0	5.6	25.0	0.0	5.6
	40歳代 (n=44)	81.8	34.1	20.5	40.9	25.0	9.1	11.4	27.3	4.5	4.5
	50歳代 (n=38)	89.5	52.6	31.6	18.4	21.1	5.3	15.8	10.5	0.0	5.3
	60歳代 (n=38)	73.7	55.3	42.1	13.2	21.1	13.2	13.2	2.6	0.0	13.2
	70歳以上 (n=29)	69.0	37.9	31.0	3.4	17.2	10.3	20.7	6.9	10.3	13.8

単位（％）		住環境の整備が遅れている	不防、防災、防犯体制に不安を感じる	その他
全体 (n=201)		7.5	7.0	14.9
地域別	山陽小学校区 (n=19)	0.0	26.3	5.3
	山陽西小学校区 (n=24)	8.3	0.0	20.8
	山陽東小学校区 (n=13)	7.7	7.7	23.1
	山陽北小学校区 (n=38)	5.3	2.6	10.5
	桜が丘小学校区 (n=37)	8.1	5.4	18.9
	赤坂地域小学校区 (n=21)	14.3	0.0	19.0
	熊山地域小学校区 (n=24)	0.0	8.3	8.3
性別	男性 (n=76)	11.8	6.6	19.7
	女性 (n=122)	4.9	7.4	11.5
年齢別	29歳以下 (n=15)	0.0	0.0	33.3
	30歳代 (n=36)	5.6	5.6	5.6
	40歳代 (n=44)	6.8	4.5	9.1
	50歳代 (n=38)	7.9	13.2	21.1
	60歳代 (n=38)	10.5	7.9	10.5
	70歳以上 (n=29)	10.3	6.9	24.1

1-4 まちづくり

1-4-1 赤磐市が推進している施策への関心度

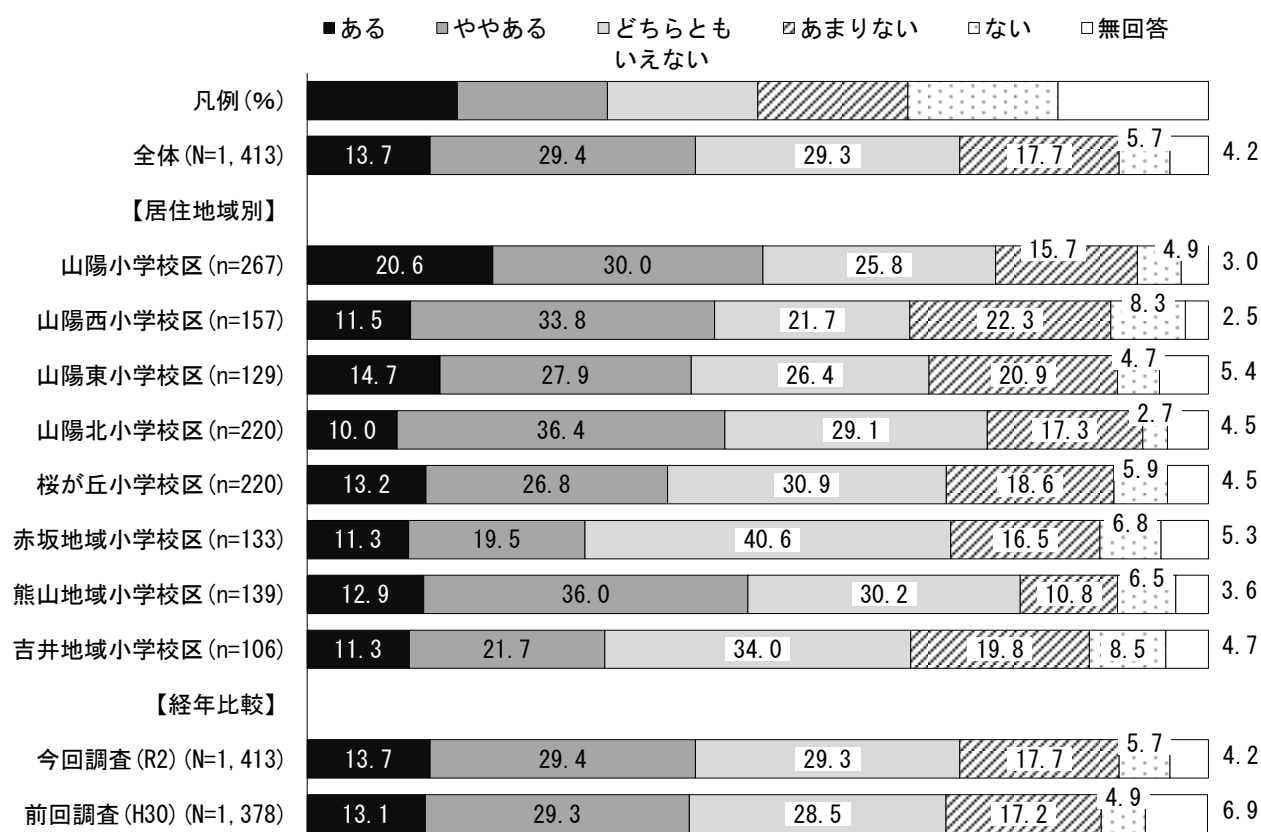
あなたは、赤磐市が推進している施策に興味や関心がありますか。

全体では、「ある」（13.7%）と「ややある」（29.4%）を合わせた“関心がある”が43.1%となっています。一方、「あまりない」（17.7%）と「ない」（5.7%）を合わせた“関心がない”が23.4%となっています。

居住地域別では、山陽小学校区と熊山地域小学校区で“関心がある”が、他の地域と比べて高くなっています。

経年比較では、前回調査と比べて特に違いはみられません。

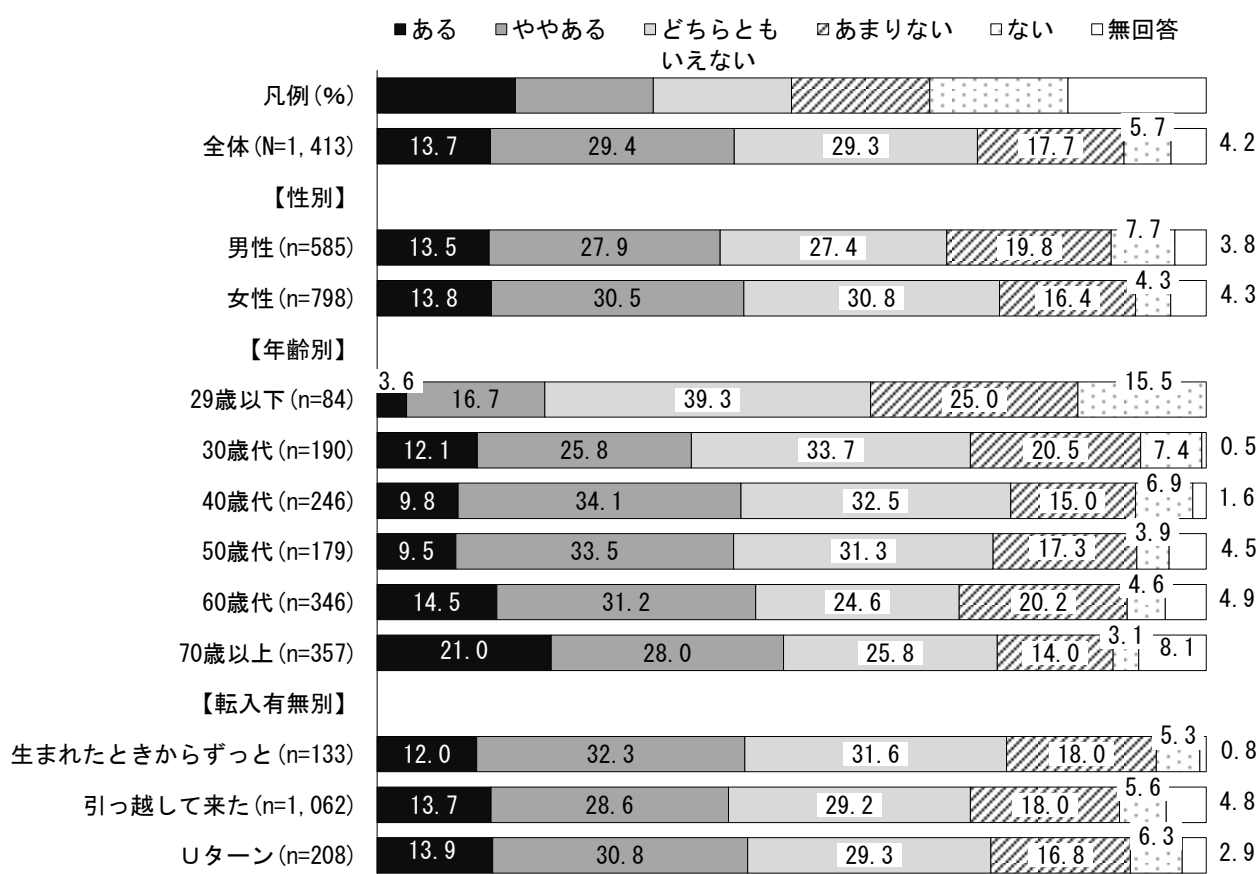
赤磐市が推進している施策への関心度（全体・属性別・経年比較）



性別では、男女による関心度への違いは特にみられません。

年齢別では、年齢が上がるほど“関心がある”の割合が高くなる傾向にあります（一部年代を除く）。

赤磐市が推進している施策への関心度（属性別）

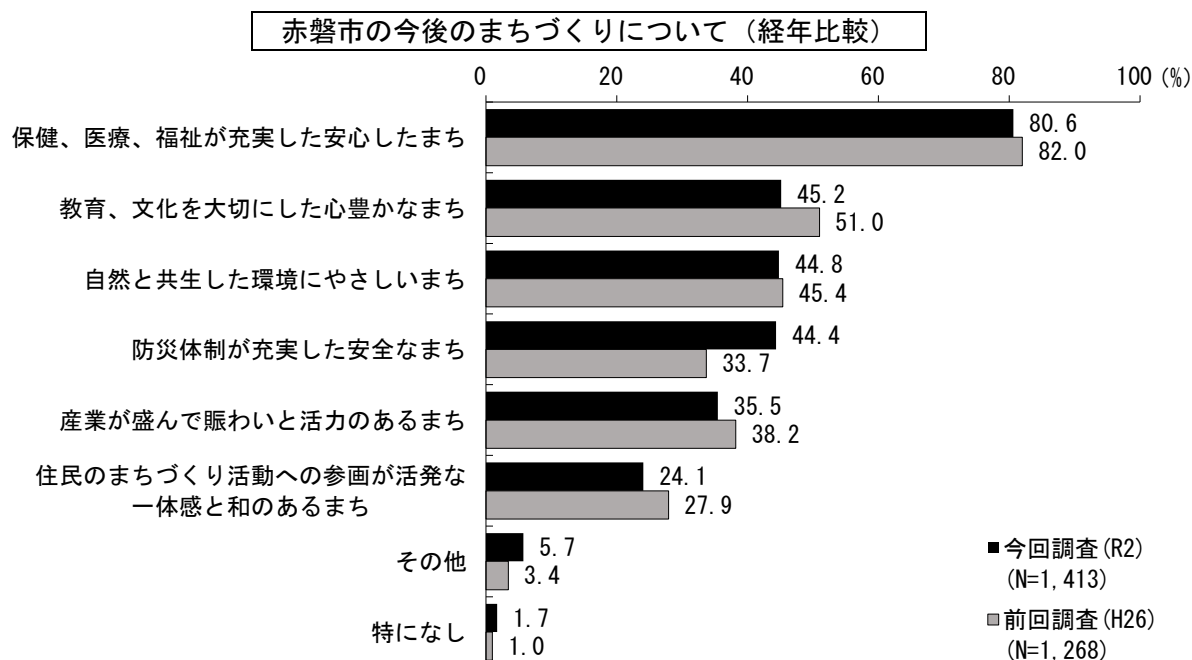


1-4-2 赤磐市の今後のまちづくりについて

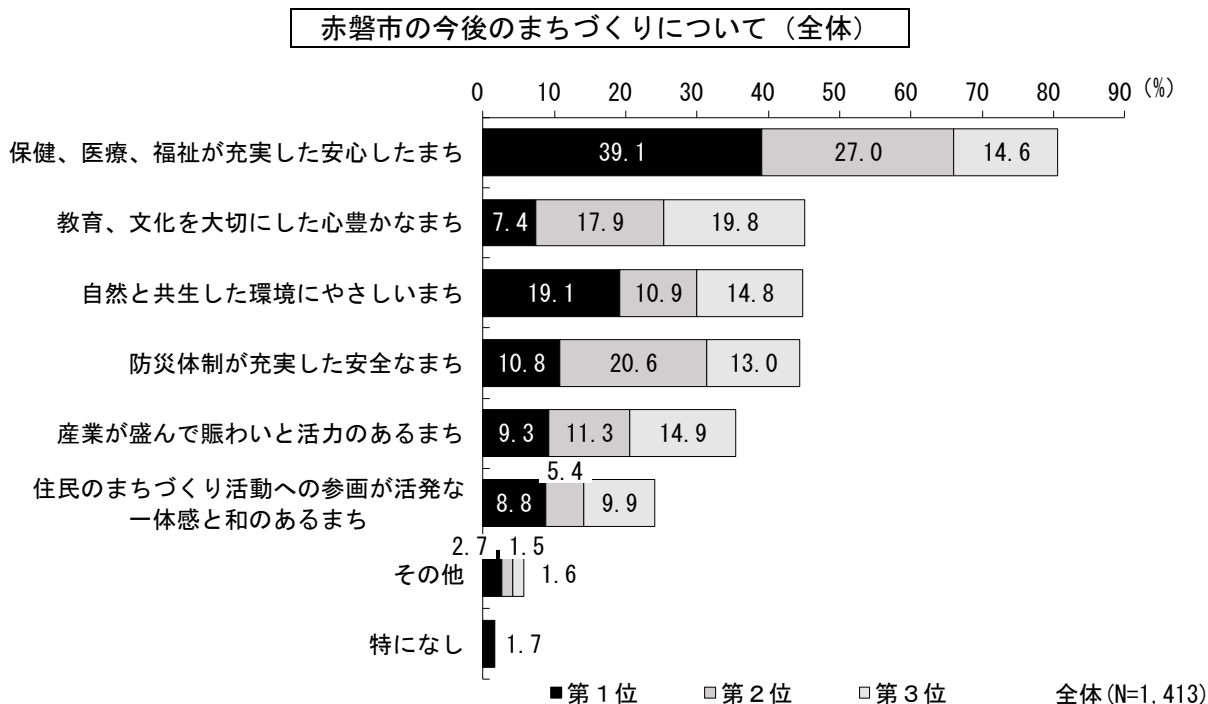
あなたは、これからの赤磐市がどのようなまちになったらいいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

全体では、「保健、医療、福祉が充実した安心したまち」が80.6%と最も高く、「教育、文化を大切に心豊かなまち」が45.2%、「自然と共生した環境にやさしいまち」が44.8%、「防災体制が充実した安全なまち」が44.4%と続いています。

経年比較でみると、上位4位の順位に変動はみられません。



第1位にあげられたこととしては、「保健、医療、福祉が充実した安心したまち」が39.1%と最も高く、「自然と共生した環境にやさしいまち」が19.1%、「防災体制が充実した安全なまち」が10.8%、「産業が盛んで賑わいと活力のあるまち」が9.3%と続いています。



居住地域別では、すべての地区で「保健、医療、福祉が充実した安心したまち」が最も高くなっています。

性別では「保健、医療、福祉が充実した安心したまち」は、男性（77.3%）よりも女性（83.2%）が高くなっています。

年齢別では、すべての年代で「保健、医療、福祉が充実した安心したまち」が最も高くなっています。また、「自然と共生した環境にやさしいまち」は年齢が上がるほど高くなる傾向にあります（一部年代を除く）。

赤磐市の今後のまちづくりについて（属性）

単位（%）		あ る ま ち	参 画 の ま ち	住 民 の ま ち	し 自 然 と 共 生 し た 環 境 に や さ い ま ち	ま 防 災 体 制 が 充 実 し た 安 全 な ま ち	た 保 健 、 医 療 、 福 祉 が 充 実 し た 安 心 し た ま ち	の 産 業 が 盛 ん で 賑 わ い と 活 力 あ る ま ち	豊 教 育 、 文 化 を 大 切 に し た 心 かな ま ち	そ の 他	特 に な し
全体 (N=1,413)		24.1	44.8	44.4	80.6	35.5	45.2	5.7	1.7		
地域別	山陽小学校区 (n=267)	19.1	48.3	49.8	82.4	36.7	44.2	4.1	0.4		
	山陽西小学校区 (n=157)	31.2	49.7	46.5	84.1	29.9	34.4	5.7	1.9		
	山陽東小学校区 (n=129)	22.5	39.5	48.8	83.7	33.3	43.4	3.9	1.6		
	山陽北小学校区 (n=220)	28.6	40.0	38.2	84.1	35.5	53.2	5.9	1.4		
	桜が丘小学校区 (n=220)	26.4	42.7	40.9	75.9	37.3	47.7	8.2	1.4		
	赤坂地域小学校区 (n=133)	25.6	40.6	45.1	73.7	40.6	41.4	6.8	3.8		
	熊山地域小学校区 (n=139)	23.0	54.0	40.3	79.1	29.5	50.4	5.0	2.2		
	吉井地域小学校区 (n=106)	17.0	47.2	46.2	84.0	38.7	44.3	6.6	1.9		
性別	男性 (n=585)	25.8	45.3	44.3	77.3	36.6	42.1	7.4	1.5		
	女性 (n=798)	22.9	44.5	44.5	83.2	35.0	47.5	4.5	1.8		
年齢別	29歳以下 (n=84)	25.0	36.9	52.4	76.2	39.3	45.2	7.1	3.6		
	30歳代 (n=190)	21.6	31.1	37.9	77.4	42.6	70.5	8.9	0.5		
	40歳代 (n=246)	22.0	38.2	38.2	76.0	40.7	54.5	8.1	2.0		
	50歳代 (n=179)	25.7	41.3	49.7	84.4	32.4	39.1	6.1	2.8		
	60歳代 (n=346)	23.4	48.3	47.1	82.7	35.5	35.5	5.8	1.2		
	70歳以上 (n=357)	26.9	56.6	45.1	82.9	29.1	38.1	2.0	1.1		

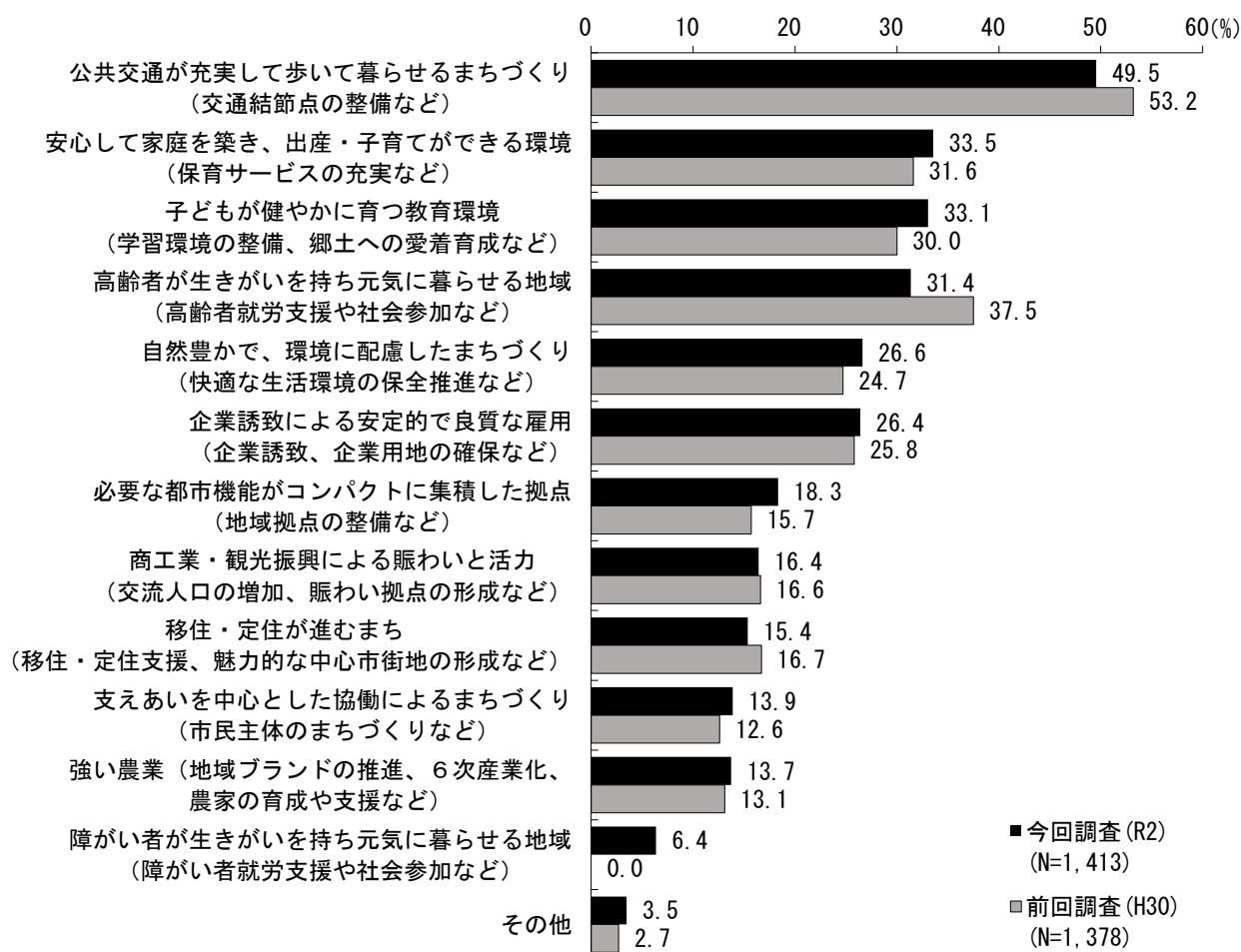
1-4-3 赤磐市がより暮らしやすくなるために必要な事

今後、赤磐市がより暮らしやすいまちになるためには何が必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

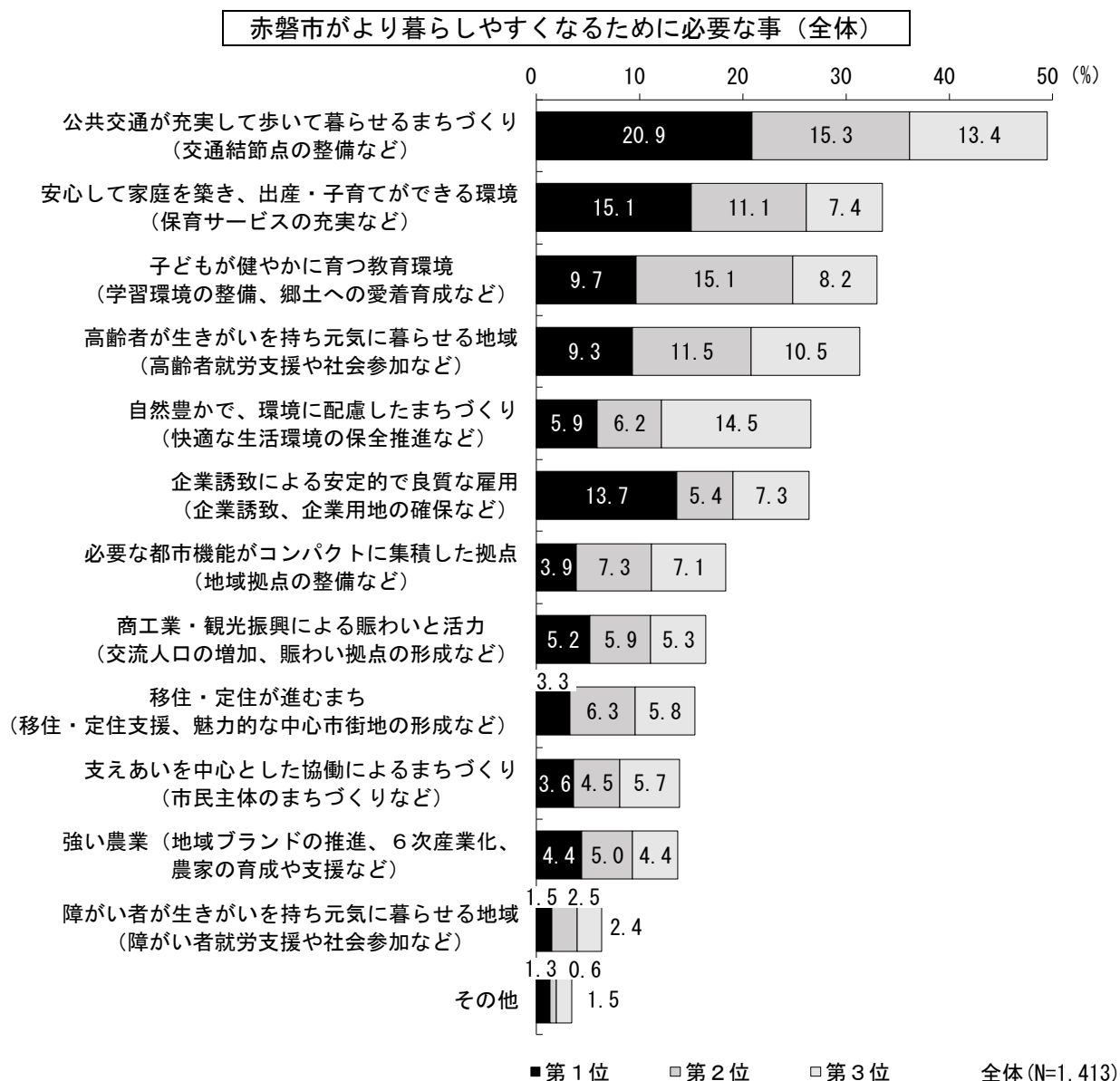
全体では、「公共交通が充実して歩いて暮らせるまちづくり（交通結節点の整備など）」が49.5%と最も高く、「安心して家庭を築き、出産・子育てができる環境（保育サービスの充実など）」が33.5%、「子どもが健やかに育つ教育環境（学習環境の整備、郷土への愛着育成など）」が33.1%、「高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域（高齢者就労支援や社会参加など）」が31.4%と続いています。

経年比較では、「高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域（高齢者就労支援や社会参加など）」が、前回調査と比べて6.1ポイント低くなっています。

赤磐市がより暮らしやすくなるために必要な事（経年比較）



第1位にあげられたこととしては、「公共交通が充実して歩いて暮らせるまちづくり（交通結節点の整備など）」が20.9%と最も高く、「安心して家庭を築き、出産・子育てができる環境（保育サービスの充実など）」が15.1%、「企業誘致による安定的で良質な雇用（企業誘致、企業用地の確保など）」が13.7%と続いています。



居住地域別では、すべての地区で「公共交通が充実して歩いて暮らせるまちづくり（交通結節点の整備など）」が最も高くなっており、特に山陽北小学校区で約6割の方が公共交通の充実が必要だと回答しています。

性別では「公共交通が充実して歩いて暮らせるまちづくり（交通結節点の整備など）」は、女性(52.4%)が男性(45.6%)を6.8ポイント上回っています。

年齢別では、30歳代以下で「安心して家庭を築き、出産・子育てができる環境（保育サービスの充実など）」が約6割と、他の年代と比べて高くなっています。また、「高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域（高齢者就労支援や社会参加など）」と「自然豊かで、環境に配慮したまちづくり（快適な生活環境の保全推進など）」は、年齢が上がるほど割合が高くなる傾向にあります（一部年代を除く）。

赤磐市がより暮らしやすくなるために必要な事（属性別）

単位（％）	企業雇用 による安定的で良質	商業・観光振興による賑わ	強い農業	安心して家庭を築き、出産・	子どもが健やかに育つ教育環	移住・定住が進むまち	支えあいを中心とした協働に よるまちづくり	高齢者が生きがいを持ち元気 に暮らせる地域	障がい者が生きがいを持ち元	公共交通が充実して歩いて暮 らせるまちづくり
全体 (N=1,413)	26.4	16.4	13.7	33.5	33.1	15.4	13.9	31.4	6.4	49.5
地域別										
山陽小学校区 (n=267)	21.0	18.4	19.5	37.8	33.3	12.0	18.7	31.5	7.9	42.3
山陽西小学校区 (n=157)	27.4	17.2	7.6	32.5	27.4	17.2	16.6	41.4	6.4	49.7
山陽東小学校区 (n=129)	24.8	18.6	8.5	32.6	34.9	15.5	12.4	34.9	10.1	54.3
山陽北小学校区 (n=220)	29.1	14.5	8.6	29.1	31.4	14.1	10.9	33.2	6.8	58.6
桜が丘小学校区 (n=220)	29.1	16.4	10.0	34.5	35.5	18.2	11.8	26.8	6.4	51.4
赤坂地域小学校区 (n=133)	26.3	14.3	17.3	36.1	33.8	14.3	12.0	26.3	4.5	50.4
熊山地域小学校区 (n=139)	22.3	16.5	18.0	32.4	31.7	15.8	14.4	31.7	4.3	43.2
吉井地域小学校区 (n=106)	36.8	16.0	19.8	32.1	38.7	19.8	11.3	28.3	2.8	48.1
性別										
男性 (n=585)	28.4	18.8	14.5	32.1	29.4	16.6	12.1	31.5	6.2	45.6
女性 (n=798)	25.1	14.7	13.2	34.7	35.8	14.5	14.7	31.3	6.5	52.4
年齢別										
29歳以下 (n=84)	22.6	25.0	11.9	58.3	39.3	13.1	9.5	9.5	2.4	51.2
30歳代 (n=190)	24.2	21.6	8.4	58.9	52.1	15.3	8.4	13.2	6.3	52.1
40歳代 (n=246)	25.6	21.5	17.5	35.0	43.9	14.2	7.7	17.1	4.5	53.3
50歳代 (n=179)	30.2	12.3	10.6	30.2	27.4	11.7	15.1	36.9	9.5	60.3
60歳代 (n=346)	27.7	14.2	15.9	25.4	28.9	17.1	17.3	38.2	5.5	42.2
70歳以上 (n=357)	26.1	12.3	13.7	23.2	20.7	17.1	17.9	47.1	7.6	47.6

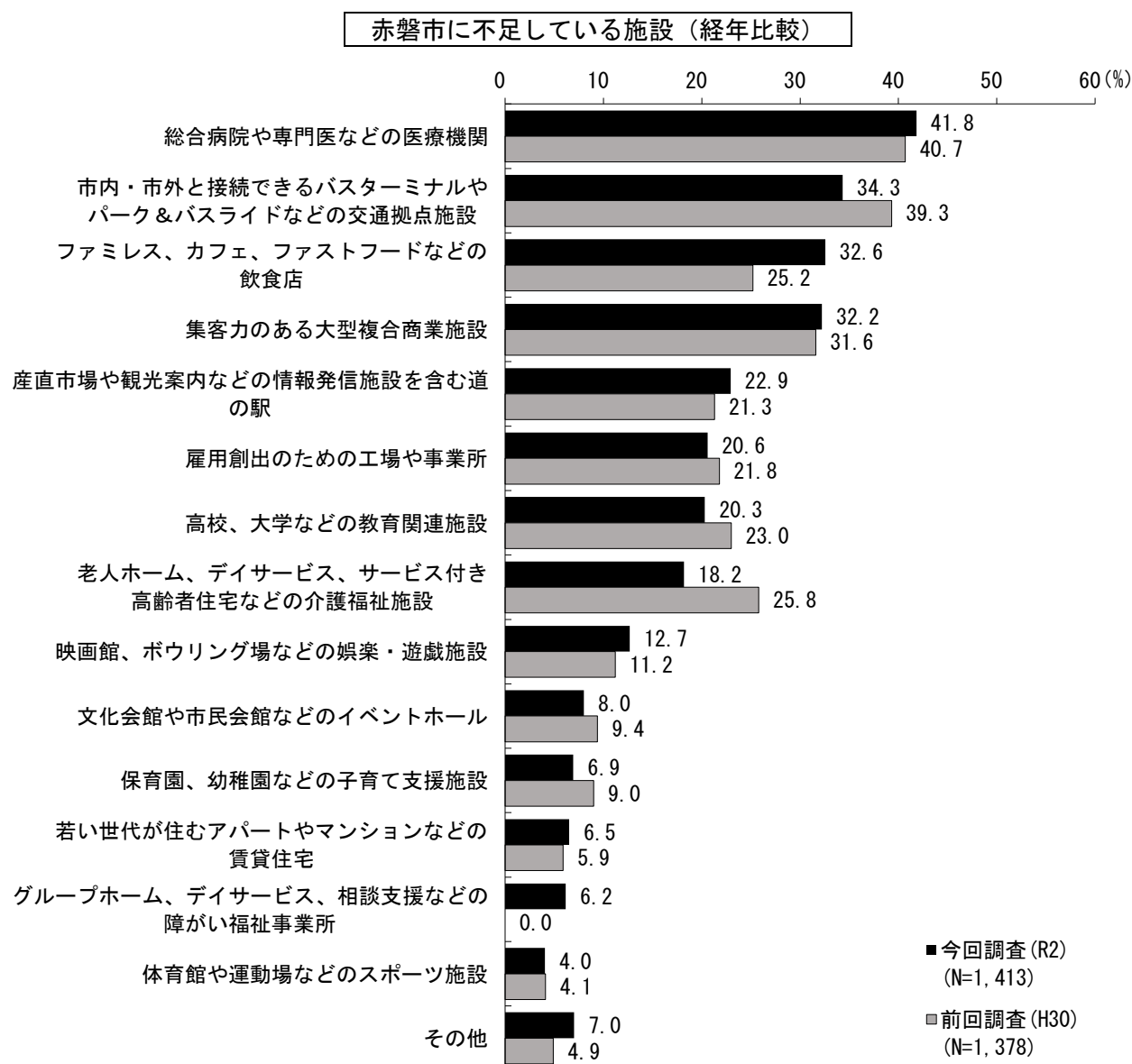
単位（％）	必要十分な都市機能がコンパクト	自然豊かで、環境に配慮したまちづくり	その他	特になし
全体 (N=1,413)	18.3	26.6	3.5	1.3
地域別				
山陽小学校区 (n=267)	13.9	31.1	3.4	1.1
山陽西小学校区 (n=157)	21.7	21.7	3.8	1.3
山陽東小学校区 (n=129)	19.4	24.0	2.3	0.8
山陽北小学校区 (n=220)	25.0	23.6	2.7	1.8
桜が丘小学校区 (n=220)	21.8	25.0	3.2	0.9
赤坂地域小学校区 (n=133)	12.0	29.3	3.8	2.3
熊山地域小学校区 (n=139)	16.5	33.8	5.0	0.7
吉井地域小学校区 (n=106)	14.2	25.5	0.9	0.0
性別				
男性 (n=585)	18.5	29.4	4.3	1.4
女性 (n=798)	18.4	24.9	2.8	1.1
年齢別				
29歳以下 (n=84)	23.8	21.4	1.2	2.4
30歳代 (n=190)	17.9	13.7	5.8	0.0
40歳代 (n=246)	21.5	21.1	6.5	0.4
50歳代 (n=179)	21.8	22.9	2.2	1.7
60歳代 (n=346)	17.9	29.5	3.2	2.0
70歳以上 (n=357)	14.3	37.0	1.7	1.1

1-4-4 赤磐市に不足している施設

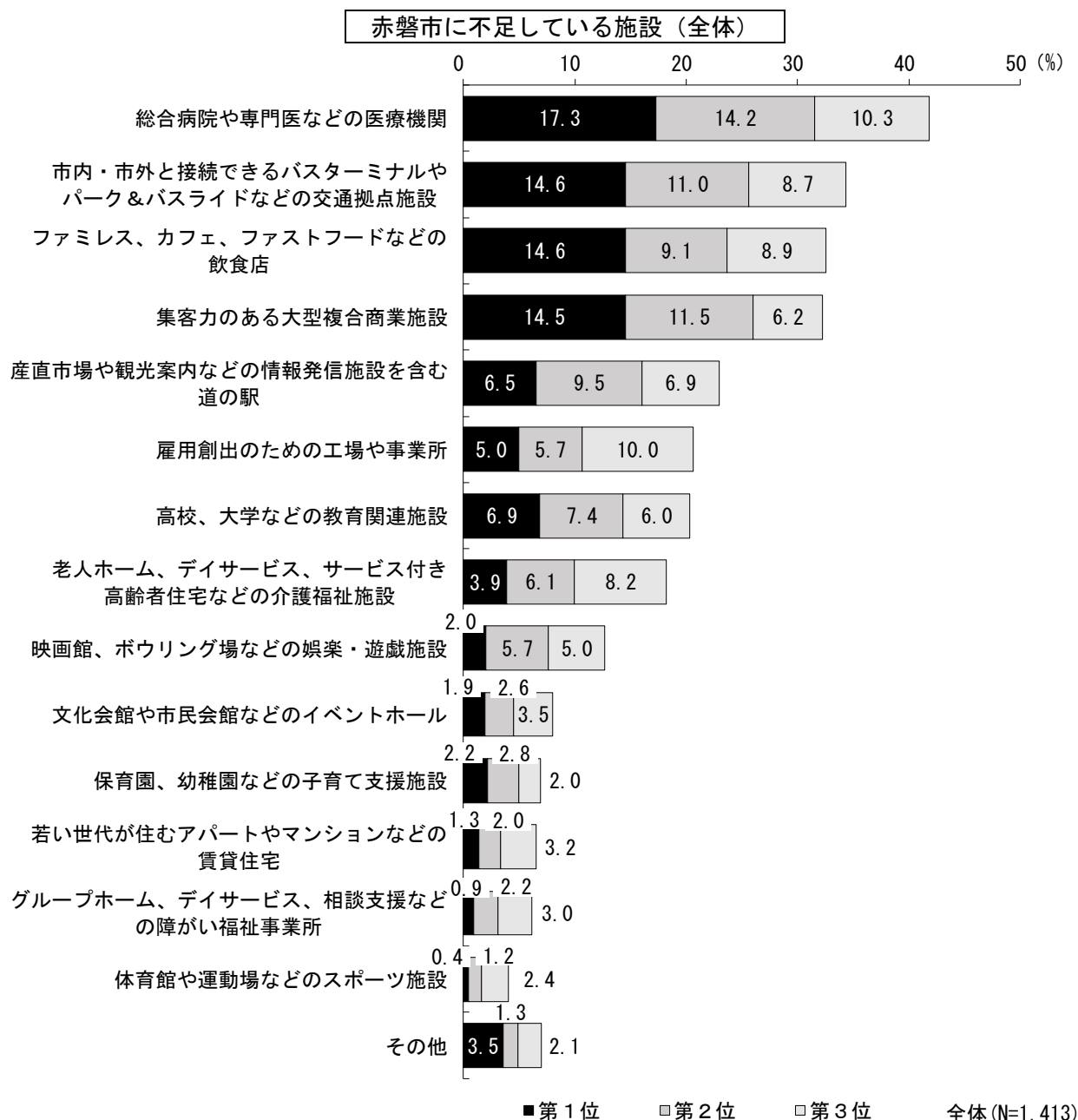
赤磐市に不足している施設、あったらいいと思っている施設はなんですか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

全体では、「総合病院や専門医などの医療機関」が41.8%と最も高く、「市内・市外と接続できるバスターミナルやパーク&バスライドなどの交通拠点施設」が34.3%、「ファミレス、カフェ、ファストフードなどの飲食店」が32.6%と続いています。

経年比較では、前回調査と比べて「ファミレス、カフェ、ファストフードなどの飲食店」が7.4ポイント高く、「市内・市外と接続できるバスターミナルやパーク&バスライドなどの交通拠点施設」が5.0ポイント低くなっています。



第1位にあげられたこととしては、「総合病院や専門医などの医療機関」が17.3%と最も高く、「ファミレス、カフェ、ファストフードなどの飲食店」と「市内・市外と接続できるバスターミナルやパーク&バスライドなどの交通拠点施設」がそれぞれ14.6%と続いています。



居住地域別では、桜が丘小学校区で「ファミレス、カフェ、ファストフードなどの飲食店」が、赤坂地域小学校区で「市内・市外と接続できるバスターミナルやパーク&バスライドなどの交通拠点施設」が、それ以外の地域では「総合病院や専門医などの医療機関」が最も高くなっています。

性別では、女性で「ファミレス、カフェ、ファストフードなどの飲食店」が36.8%と、男性（26.8%）と比べて10.0ポイント高くなっています。

年齢別では、「ファミレス、カフェ、ファストフードなどの飲食店」と「集客力のある大型複合商業施設」は、年齢が下がるほど高く、「産直市場や観光案内などの情報発信施設を含む道の駅」と「総合病院や専門医などの医療機関」は年齢が上がるほど高くなる傾向にあります（一部年代を除く）。年代によって必要とする施設に大きく違いがあることがわかります。

赤磐市に不足している施設（属性別）

単位（％）		ファミレス、カフェ、ファーストフードなどの飲食店	集客力のある大型複合商業施設	市内・市外と接続できるバスなどの交通拠点施設	市・市外と観光案内などの情報発信施設を含む道の駅	保育園、幼稚園などの子育て支援施設	高校、大学などの教育関連施設	映画館、遊園地、ボウリング場などの娯楽施設	総合病院や専門医などの医療機関	若い世代が住むアパートやマンションなどの賃貸住宅
全体 (N=1,413)		32.6	32.2	34.3	22.9	6.9	20.3	12.7	41.8	6.5
地域別	山陽小学校区 (n=267)	27.3	30.3	31.1	27.3	9.4	19.1	15.0	38.2	4.1
	山陽西小学校区 (n=157)	31.8	31.2	29.3	28.0	6.4	15.9	12.7	35.7	12.7
	山陽東小学校区 (n=129)	34.9	28.7	30.2	21.7	10.9	24.8	10.9	45.7	3.9
	山陽北小学校区 (n=220)	36.4	37.3	41.8	18.2	3.2	18.6	16.4	50.5	5.0
	桜が丘小学校区 (n=220)	43.2	40.5	40.5	18.2	7.3	24.1	15.0	33.6	5.0
	赤坂地域小学校区 (n=133)	22.6	25.6	37.6	25.6	8.3	21.8	8.3	31.6	9.8
	熊山地域小学校区 (n=139)	33.8	28.1	28.1	24.5	5.8	16.5	7.9	54.7	5.8
	吉井地域小学校区 (n=106)	26.4	27.4	30.2	20.8	5.7	22.6	8.5	49.1	12.3
性別	男性 (n=585)	26.8	32.5	34.0	22.9	8.4	22.7	12.3	42.1	6.3
	女性 (n=798)	36.8	32.8	34.5	23.1	5.9	18.4	13.2	41.6	6.8
年齢別	29歳以下 (n=84)	61.9	46.4	21.4	15.5	13.1	22.6	39.3	22.6	17.9
	30歳代 (n=190)	51.6	45.8	41.1	15.3	10.5	29.5	24.7	23.7	4.7
	40歳代 (n=246)	44.7	39.0	38.2	17.1	5.7	23.2	13.4	36.2	8.5
	50歳代 (n=179)	26.8	34.1	42.5	16.2	5.0	20.1	9.5	48.0	7.8
	60歳代 (n=346)	25.4	27.5	29.5	28.0	5.2	18.5	6.9	49.1	4.3
	70歳以上 (n=357)	17.6	20.4	31.9	31.4	7.3	15.1	6.4	49.6	4.5

単位（％）		老人ホーム、デイサービス、介護福祉施設	グループホーム、障害者支援施設	文化会館や市民会館などのイベントホール	雇用創出のための工場や事業所	体育館や運動場などのスポーツ施設	その他	特になし
全体 (N=1,413)		18.2	6.2	8.0	20.6	4.0	7.0	5.0
地域別	山陽小学校区 (n=267)	21.3	8.6	9.4	20.6	2.6	10.5	3.7
	山陽西小学校区 (n=157)	19.7	9.6	8.3	22.9	3.2	5.7	6.4
	山陽東小学校区 (n=129)	17.1	7.8	10.1	17.1	7.8	4.7	3.9
	山陽北小学校区 (n=220)	16.4	1.8	7.7	17.3	2.7	8.6	3.6
	桜が丘小学校区 (n=220)	14.1	3.6	7.7	15.9	6.4	4.1	5.0
	赤坂地域小学校区 (n=133)	19.5	3.8	9.8	26.3	4.5	9.0	9.0
	熊山地域小学校区 (n=139)	17.3	9.4	7.2	18.0	2.9	7.2	5.0
	吉井地域小学校区 (n=106)	23.6	6.6	2.8	37.7	2.8	2.8	2.8
性別	男性 (n=585)	17.8	5.6	7.7	23.6	3.8	7.9	6.2
	女性 (n=798)	18.3	6.8	8.4	18.7	4.3	6.0	4.3
年齢別	29歳以下 (n=84)	13.1	2.4	0.0	4.8	6.0	4.8	3.6
	30歳代 (n=190)	3.2	4.2	5.3	13.2	5.8	8.9	2.6
	40歳代 (n=246)	10.2	5.7	6.5	14.6	3.3	11.0	5.3
	50歳代 (n=179)	16.8	7.3	5.0	25.1	3.9	8.4	5.0
	60歳代 (n=346)	22.5	5.8	11.0	27.5	4.3	4.9	4.9
	70歳以上 (n=357)	29.4	8.4	11.2	23.0	3.1	5.3	6.4

1-5 SDGsについて

SDGs とは、2030 年までの国際目標として示された持続可能な開発目標であり、持続可能で多様性のある社会の実現を目指して、貧困、福祉、教育、環境、産業振興など様々な分野で問題の解決に向けた取組が行われています。

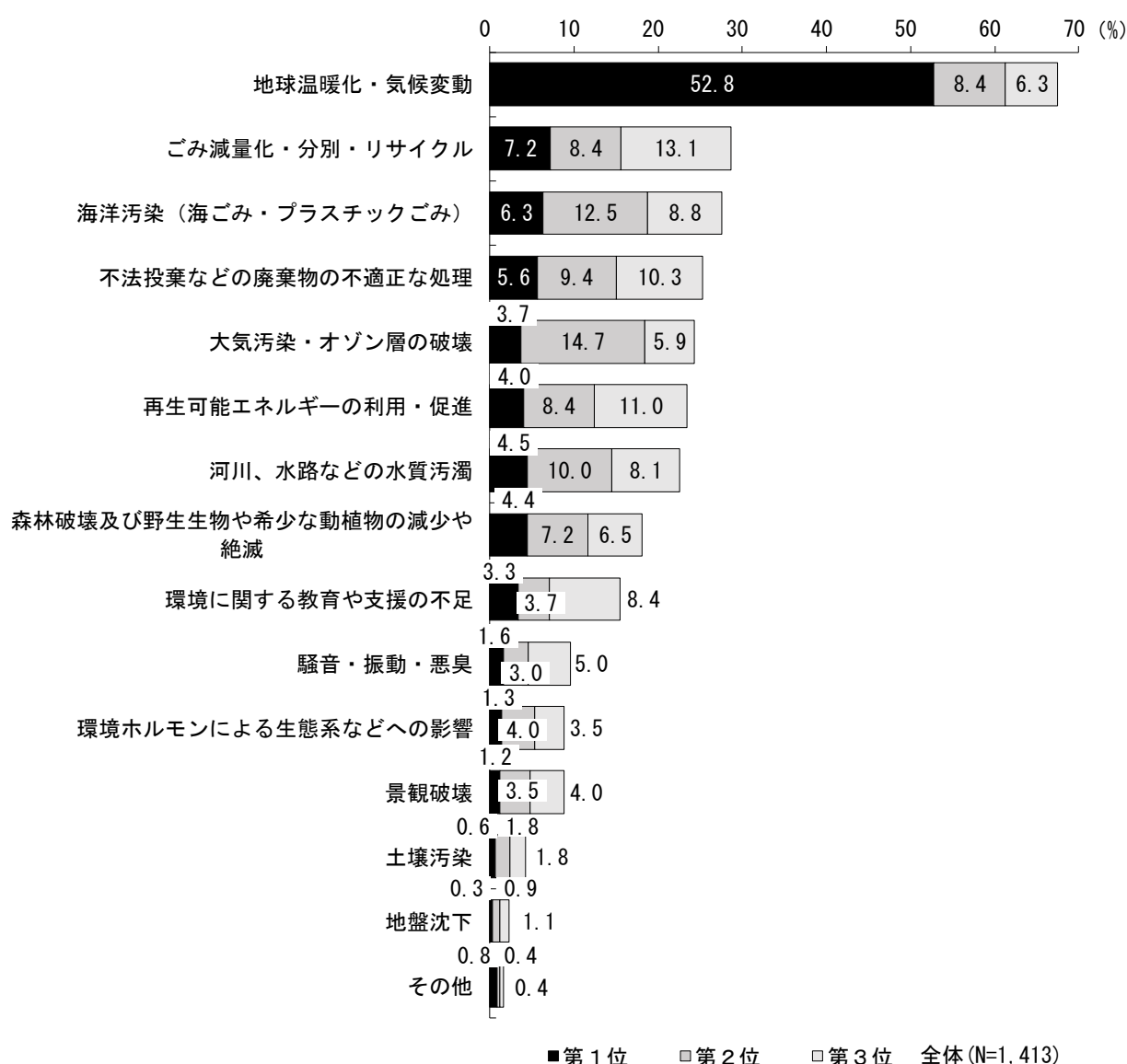
1-5-1 持続可能な社会を目指す中で、関心のある環境問題

持続可能な社会を目指す中で、関心のある環境問題はなんですか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

全体では、「地球温暖化・気候変動」が 67.5%と最も高く、「ごみ減量化・分別・リサイクル」が 28.7%、「海洋汚染（海ごみ・プラスチックごみ）」が 27.5%と続いています。

第1位にあげられたこととしては、「地球温暖化・気候変動」が 52.8%と最も高くなっています。

持続可能な社会を目指す中で、関心のある環境問題（全体）



持続可能な社会を目指す中で、関心のある環境問題（属性別）

単位（％）		地球温暖化・気候変動	大気汚染・オゾン層の破壊	海洋汚染（海ごみ・プラスチックごみ）	河川、水路などの水質汚濁	土壌汚染	地盤沈下	環境ホルモンによる生態系などへの影響	森林破壊及び野生生物や希少な動植物の減少や絶滅	不法投棄などの廃棄物の不適正な処理	騒音・振動・悪臭
全体 (N=1,413)		67.5	24.3	27.5	22.6	4.2	2.3	8.8	18.1	25.3	9.6
地域別	山陽小学校区 (n=267)	65.2	24.7	26.6	27.3	4.9	4.5	7.1	20.2	22.1	9.7
	山陽西小学校区 (n=157)	68.2	24.8	33.8	15.3	3.8	3.8	7.6	15.9	24.8	7.0
	山陽東小学校区 (n=129)	72.9	24.8	27.1	16.3	3.1	3.9	14.0	16.3	19.4	12.4
	山陽北小学校区 (n=220)	69.1	28.6	25.9	18.2	2.3	0.5	9.1	17.3	30.0	8.6
	桜が丘小学校区 (n=220)	69.1	25.9	33.2	19.1	5.0	0.9	10.5	18.2	20.9	11.4
	赤坂地域小学校区 (n=133)	63.2	19.5	21.8	27.8	6.0	2.3	9.0	19.5	27.1	9.0
	熊山地域小学校区 (n=139)	73.4	19.4	24.5	26.6	2.2	1.4	10.1	19.4	30.2	7.9
	吉井地域小学校区 (n=106)	60.4	25.5	21.7	36.8	8.5	0.9	5.7	18.9	31.1	7.5
性別	男性 (n=585)	63.1	22.4	28.9	27.7	4.8	2.1	6.3	17.3	32.1	10.1
	女性 (n=798)	70.2	25.4	26.2	19.3	3.9	2.4	10.7	18.8	20.8	9.4
年齢別	29歳以下 (n=84)	65.5	21.4	25.0	25.0	1.2	3.6	7.1	34.5	19.0	15.5
	30歳代 (n=190)	62.6	25.3	28.4	21.1	2.1	5.3	11.6	12.1	22.1	16.3
	40歳代 (n=246)	66.3	30.1	26.8	21.5	4.1	2.8	11.0	21.5	18.7	12.2
	50歳代 (n=179)	69.8	24.6	25.1	16.8	6.1	1.1	12.3	14.0	27.9	8.4
	60歳代 (n=346)	70.8	24.0	28.6	24.3	3.2	0.6	7.8	17.6	24.6	6.9
	70歳以上 (n=357)	67.5	19.9	28.9	24.6	5.9	1.7	5.3	17.9	32.5	5.9

単位（％）		景観破壊	促進再生可能エネルギーの利用・	ルゴミ減量化・分別・リサイクル	足環境に関する教育や支援の不	その他
全体 (N=1,413)		8.8	23.4	28.7	15.4	1.6
地域別	山陽小学校区 (n=267)	10.1	22.8	32.6	15.7	1.5
	山陽西小学校区 (n=157)	8.3	22.3	29.9	17.8	1.9
	山陽東小学校区 (n=129)	10.1	24.8	25.6	16.3	1.6
	山陽北小学校区 (n=220)	8.2	29.1	25.0	19.1	1.4
	桜が丘小学校区 (n=220)	8.6	20.9	32.3	13.6	0.0
	赤坂地域小学校区 (n=133)	9.8	20.3	23.3	10.5	3.8
	熊山地域小学校区 (n=139)	4.3	27.3	25.9	12.2	3.6
	吉井地域小学校区 (n=106)	11.3	16.0	31.1	13.2	0.9
性別	男性 (n=585)	9.7	23.4	23.1	15.2	2.4
	女性 (n=798)	7.9	23.4	33.2	15.5	1.1
年齢別	29歳以下 (n=84)	8.3	19.0	33.3	16.7	1.2
	30歳代 (n=190)	5.3	26.8	31.1	17.9	0.5
	40歳代 (n=246)	7.3	23.2	23.6	15.4	1.2
	50歳代 (n=179)	8.4	20.7	34.1	16.8	3.4
	60歳代 (n=346)	10.7	26.6	27.5	15.3	2.0
	70歳以上 (n=357)	10.4	21.6	28.6	13.7	1.4

2 赤磐市の取組について

赤磐市の取組や地域の現状に対する満足度と、今後、赤磐市が重点的・優先的に取り組んでいく必要があるかについてお聞きします。下記の項目ごとに、「現在の満足度」及び「今後の重要度」について、「5（思う）」～「1（思わない）」及び「5（重要）」～「1（重要でない）」のうち、それぞれあなたの考えに最も近いものを1つ選んで数字に○をしてください。

2-1 赤磐市の取組に対する現在の満足度と重要度

2-1-1 満足度

満足度は、各項目を「思う」＝5点、「やや思う」＝4点、「どちらでもない」＝3点、「あまり思わない」＝2点、「思わない」＝1点として、点数化しています。この点数を合計し、無回答を除いた全体数で割ることによって平均点を算出しています。

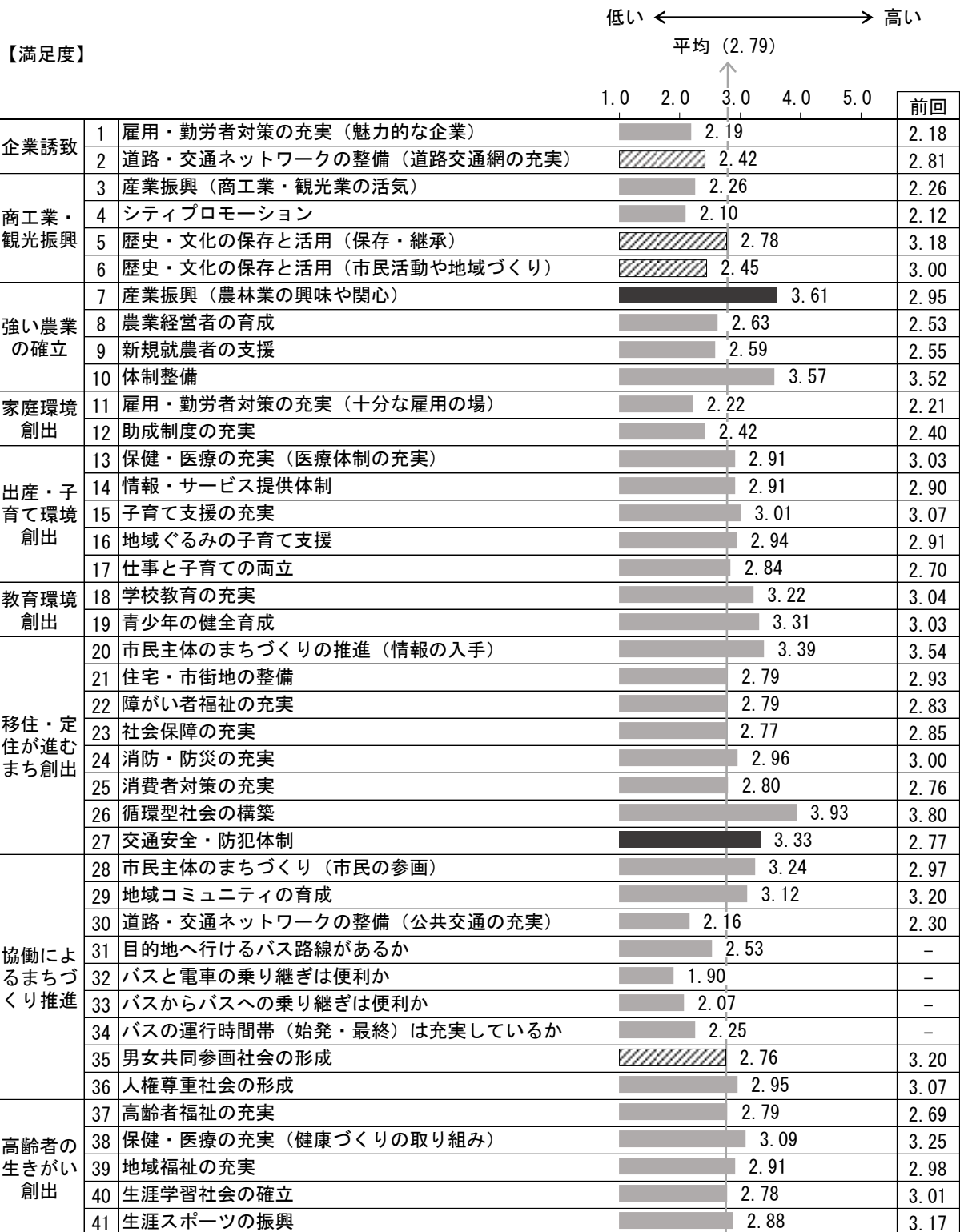
満足度の平均点を全項目でみると、「26. 循環型社会の構築」が3.93点と最も高く、「7. 産業振興（農林業の興味や関心）」が3.61点、「10. 体制整備」が3.57点、「20. 市民主体のまちづくりの推進（情報の入手）」が3.39点と続いています。

一方、満足度の低い項目は、「32. バスと電車の乗り継ぎは便利か」が1.90点、「33. バスからバスへの乗り継ぎは便利か」が2.07点、「4. シティプロモーション」が2.10点、「30. 道路・交通ネットワークの整備（公共交通の充実）」が2.16点となっています。特に交通に関して大きな課題をあると考えられます。

経年比較でみると、前回調査と比べて0.3ポイント以上高い項目は、「7. 産業振興（農林業の興味や関心）」、「27. 交通安全・防犯体制」となっています。

一方、前回調査と比べて0.3ポイント以上低い項目は、「2. 道路・交通ネットワークの整備（道路交通網の充実）」、「5. 歴史・文化の保存と活用（保存・継承）」、「6. 歴史・文化の保存と活用（市民活動や地域づくり）」、「35. 男女共同参画社会の形成」となっています。

赤磐市の取組に対する現在の満足度（全体）



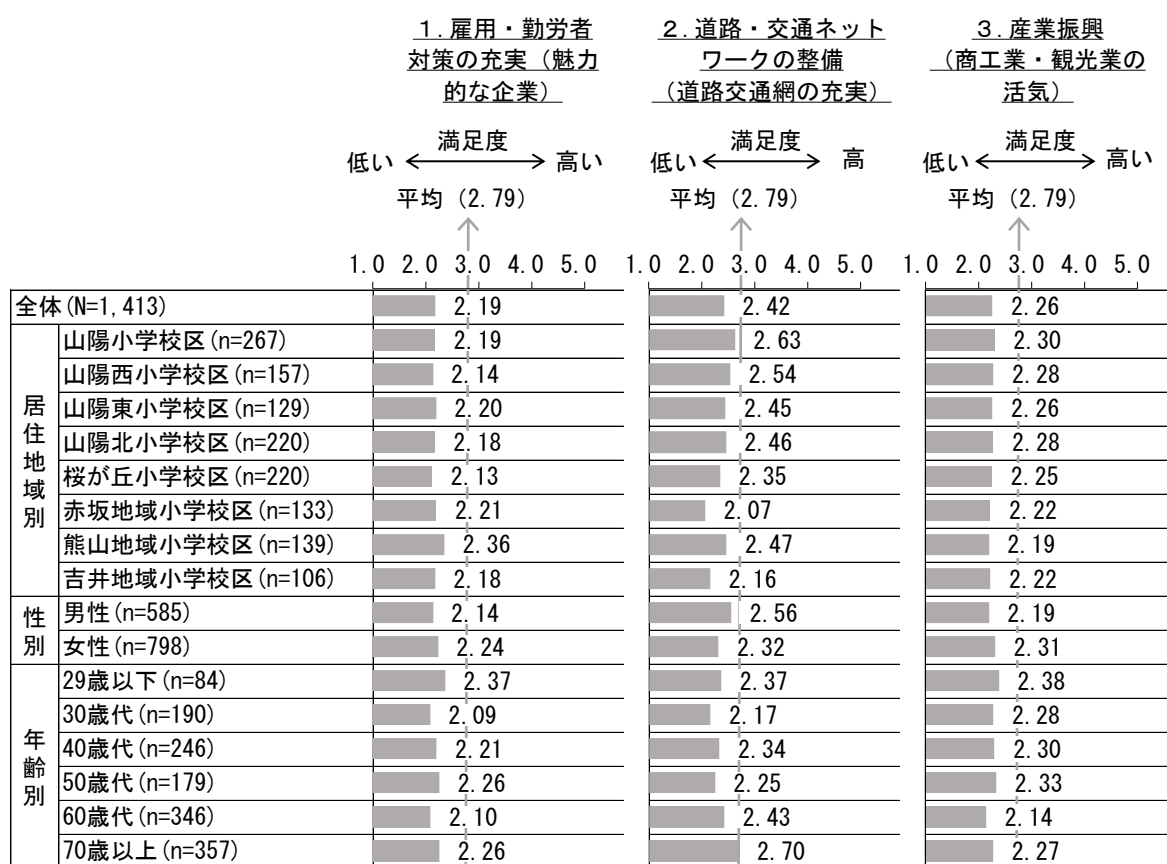
※ は、前回調査と比べて0.3ポイント以上高い項目、
 は、前回調査と比べて0.3ポイント以上低い項目を示す

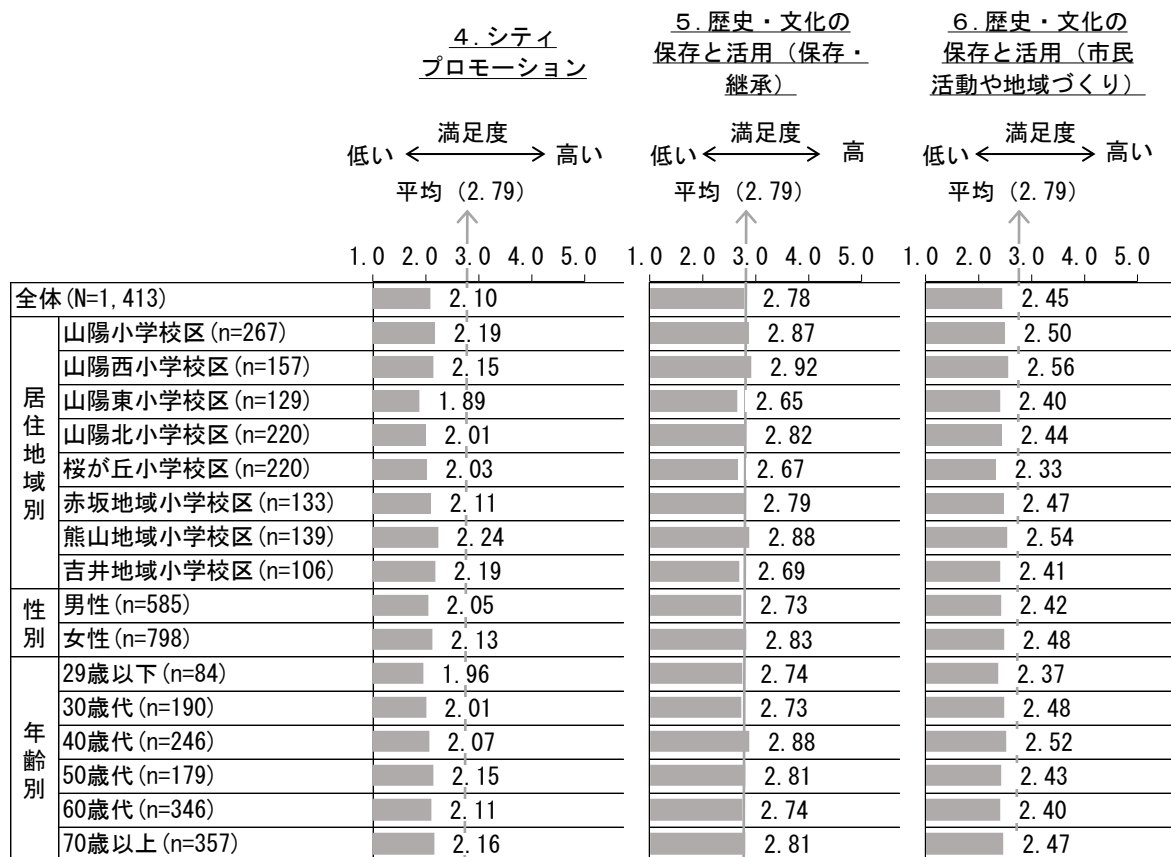
居住地域別では、熊山地域小学校区で「13. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」が2.43点と、他の地域と比べて低くなっています。また、赤坂地域小学校区と吉井地域小学校区においては、「2. 道路・交通ネットワークの整備（道路交通網の充実）」「21. 住宅・市街地の整備」「30. 道路・交通ネットワークの整備（公共交通の充実）」「31. 目的地へ行けるバス路線があるか」「32. バスと電車の乗り継ぎは便利か」「33. バスからバスへの乗り継ぎは便利か」「34. バスの運行時間帯は充実しているか」といった交通に関する項目が、すべて他の地域と比べて低くなっています。

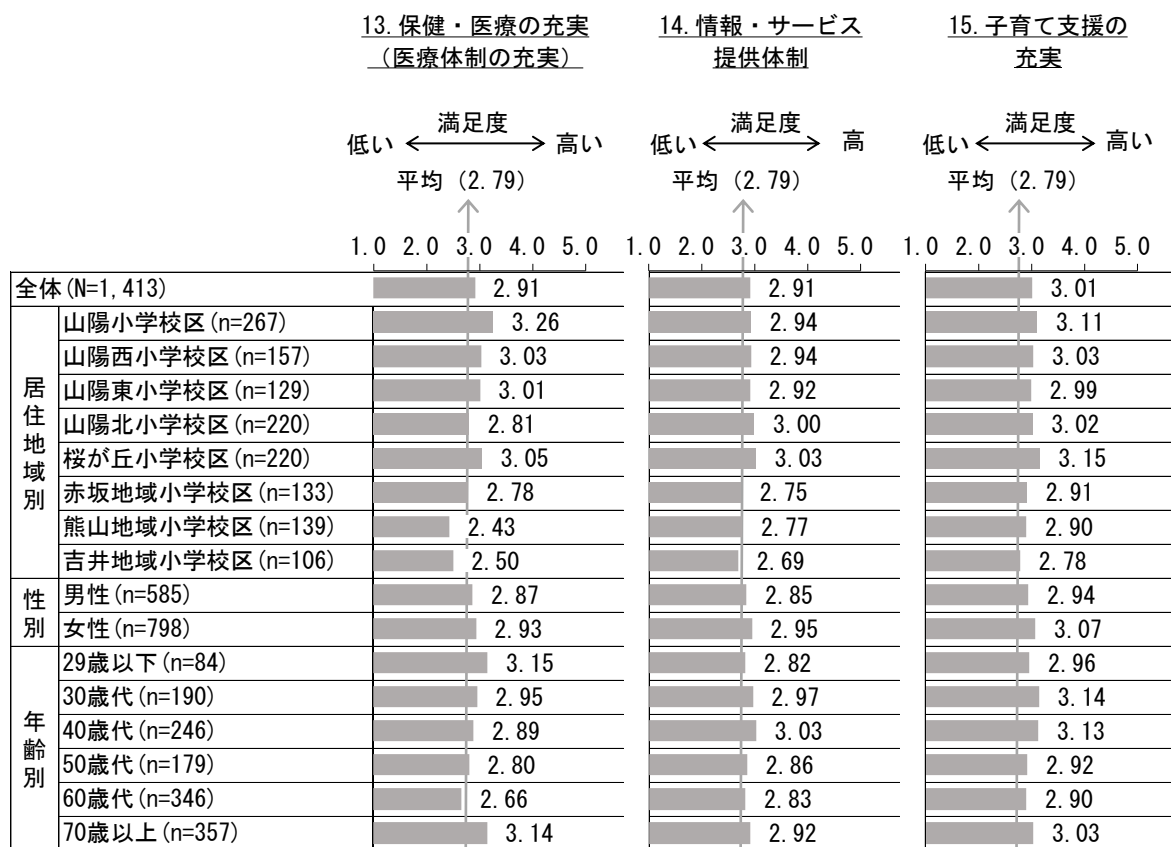
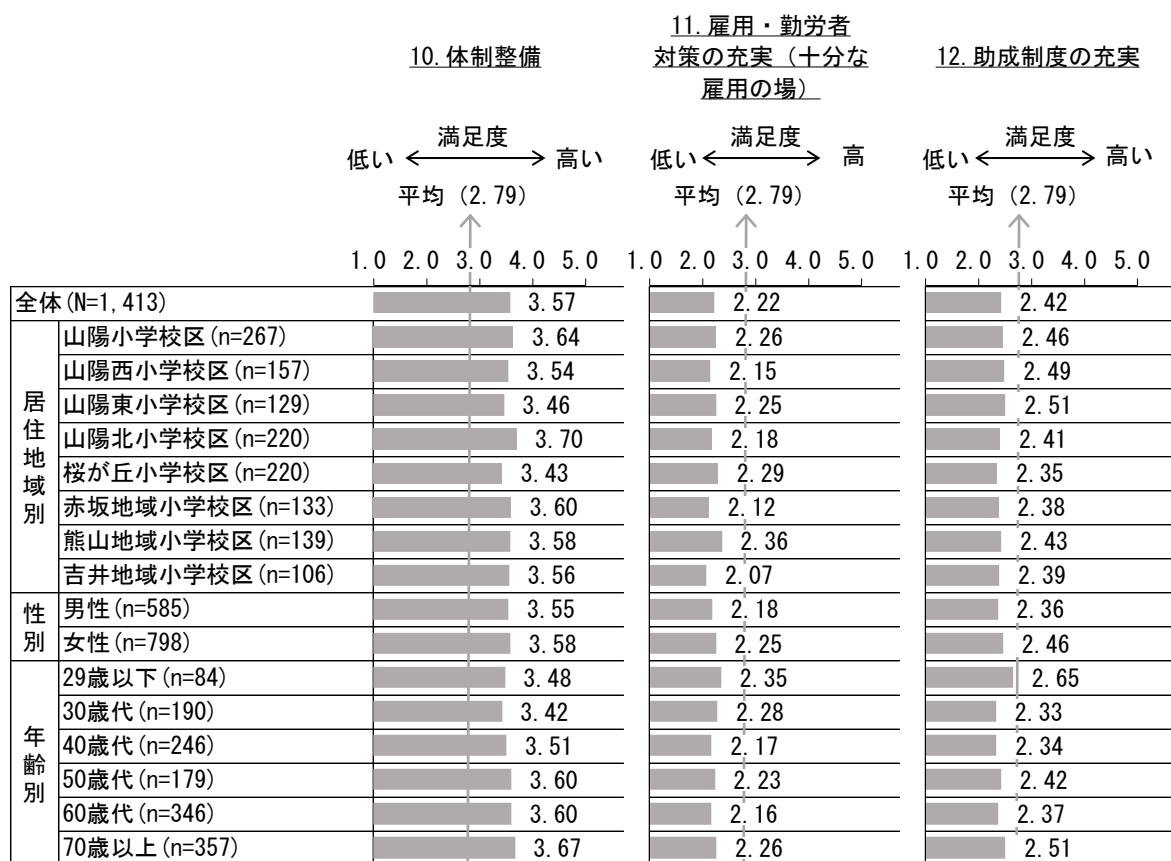
性別では、男女で0.3ポイント以上差がついている項目はなく、特徴的な違いはみられません。

年齢別でみると、「13. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」は、60歳代までは年齢が上がるほど満足度が低くなる傾向にある一方、70歳以上（3.14点）では、全体と比べて高くなっています。また、「31. 目的地へ行けるバス路線があるか」「32. バスと電車の乗り継ぎは便利か」「33. バスからバスへの乗り継ぎは便利か」「34. バスの運行時間帯は充実しているか」といったバスに関する項目では、40～50歳代で他の年代と比べて低くなっています。

赤磐市の取組に対する現在の満足度（項目別）







16. 地域ぐるみの
子育て支援

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

全体 (N=1,413)	2.94
居住地域別	
山陽小学校区 (n=267)	2.88
山陽西小学校区 (n=157)	2.93
山陽東小学校区 (n=129)	2.96
山陽北小学校区 (n=220)	2.97
桜が丘小学校区 (n=220)	3.17
赤坂地域小学校区 (n=133)	2.82
熊山地域小学校区 (n=139)	2.98
吉井地域小学校区 (n=106)	2.74
性別	
男性 (n=585)	2.90
女性 (n=798)	2.97
年齢別	
29歳以下 (n=84)	3.18
30歳代 (n=190)	2.98
40歳代 (n=246)	3.06
50歳代 (n=179)	2.94
60歳代 (n=346)	2.77
70歳以上 (n=357)	2.97

17. 仕事と子育ての
両立

満足度
低い ← → 高
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

2.84
2.86
2.95
2.85
2.85
2.94
2.63
2.83
2.66
2.76
2.91
2.94
2.80
2.86
2.93
2.71
2.92

18. 学校教育の充実

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

3.22
3.38
3.16
3.28
3.20
3.21
3.09
3.29
3.04
3.17
3.25
3.33
3.16
3.14
3.20
3.15
3.38

19. 青少年の健全育成

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

全体 (N=1,413)	3.31
居住地域別	
山陽小学校区 (n=267)	3.38
山陽西小学校区 (n=157)	3.22
山陽東小学校区 (n=129)	3.29
山陽北小学校区 (n=220)	3.36
桜が丘小学校区 (n=220)	3.39
赤坂地域小学校区 (n=133)	3.15
熊山地域小学校区 (n=139)	3.39
吉井地域小学校区 (n=106)	3.18
性別	
男性 (n=585)	3.23
女性 (n=798)	3.37
年齢別	
29歳以下 (n=84)	3.33
30歳代 (n=190)	3.30
40歳代 (n=246)	3.29
50歳代 (n=179)	3.26
60歳代 (n=346)	3.26
70歳以上 (n=357)	3.41

20. 市民主体の
まちづくりの推進
(情報の入手)

満足度
低い ← → 高
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

3.39
3.44
3.38
3.33
3.38
3.46
3.34
3.44
3.35
3.30
3.45
3.38
3.35
3.32
3.45
3.35
3.50

21. 住宅・市街地の
整備

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

2.79
2.95
2.81
2.94
2.92
2.91
2.47
2.65
2.38
2.74
2.84
2.99
2.72
2.76
2.73
2.73
2.92

22. 障がい者福祉の
充実

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

全体 (N=1,413)	2.79
居住地域別	
山陽小学校区 (n=267)	2.84
山陽西小学校区 (n=157)	2.85
山陽東小学校区 (n=129)	2.77
山陽北小学校区 (n=220)	2.75
桜が丘小学校区 (n=220)	2.82
赤坂地域小学校区 (n=133)	2.71
熊山地域小学校区 (n=139)	2.85
吉井地域小学校区 (n=106)	2.80
性別	
男性 (n=585)	2.78
女性 (n=798)	2.80
年齢別	
29歳以下 (n=84)	2.84
30歳代 (n=190)	2.77
40歳代 (n=246)	2.75
50歳代 (n=179)	2.65
60歳代 (n=346)	2.78
70歳以上 (n=357)	2.91

23. 社会保障の
充実

満足度
低い ← → 高
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

2.77
2.80
2.89
2.79
2.77
2.78
2.70
2.84
2.58
2.74
2.80
2.78
2.70
2.76
2.70
2.77
2.86

24. 消防・防災の
充実

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

2.96
2.98
3.03
3.00
3.10
3.00
2.83
2.83
2.78
2.98
2.94
2.95
2.85
2.91
2.91
2.94
3.09

25. 消費者対策の
充実

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

全体 (N=1,413)	2.80
居住地域別	
山陽小学校区 (n=267)	2.89
山陽西小学校区 (n=157)	2.87
山陽東小学校区 (n=129)	2.74
山陽北小学校区 (n=220)	2.78
桜が丘小学校区 (n=220)	2.76
赤坂地域小学校区 (n=133)	2.81
熊山地域小学校区 (n=139)	2.76
吉井地域小学校区 (n=106)	2.77
性別	
男性 (n=585)	2.76
女性 (n=798)	2.83
年齢別	
29歳以下 (n=84)	2.84
30歳代 (n=190)	2.76
40歳代 (n=246)	2.77
50歳代 (n=179)	2.72
60歳代 (n=346)	2.74
70歳以上 (n=357)	2.93

26. 循環型社会の
構築

満足度
低い ← → 高
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

3.93
3.98
3.99
4.02
3.95
3.89
3.88
3.92
3.81
3.88
3.96
3.61
3.66
3.90
3.86
3.95
4.20

27. 交通安全・
防犯体制

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

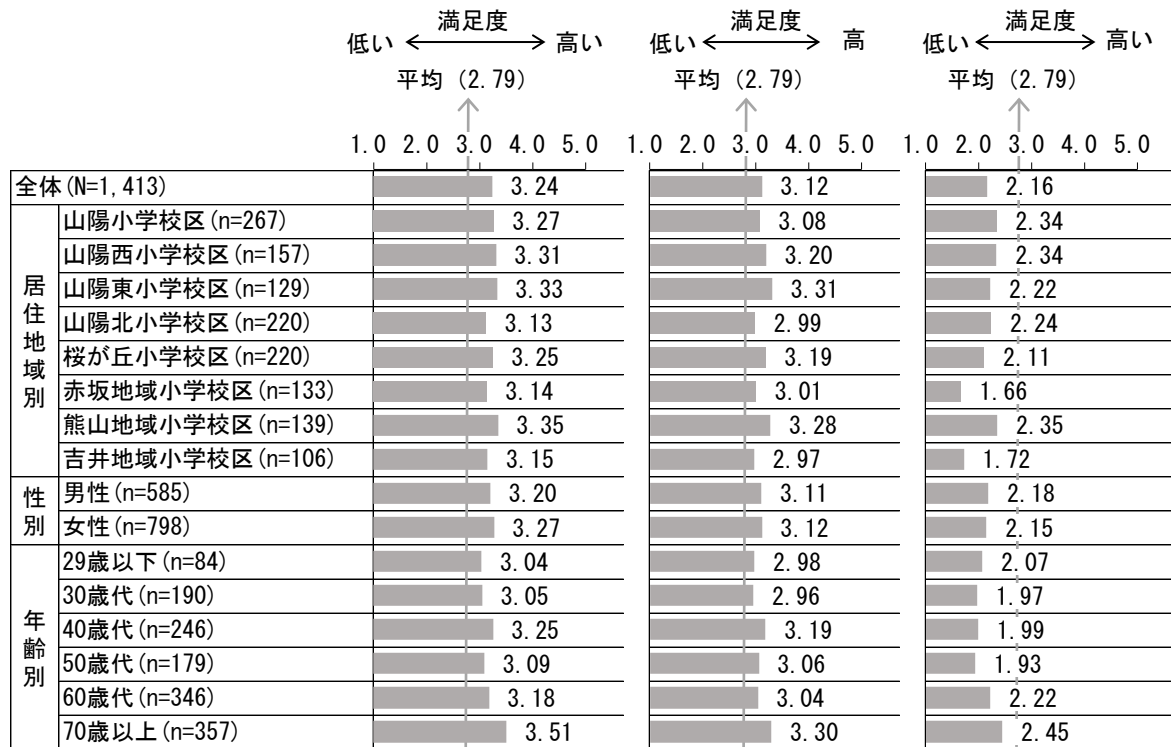
1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

3.33
3.30
3.29
3.17
3.37
3.25
3.42
3.41
3.52
3.32
3.33
3.42
3.18
3.16
3.18
3.37
3.54

28. 市民主体の
まちづくり
(市民の参画)

29. 地域コミュニ
ティの育成

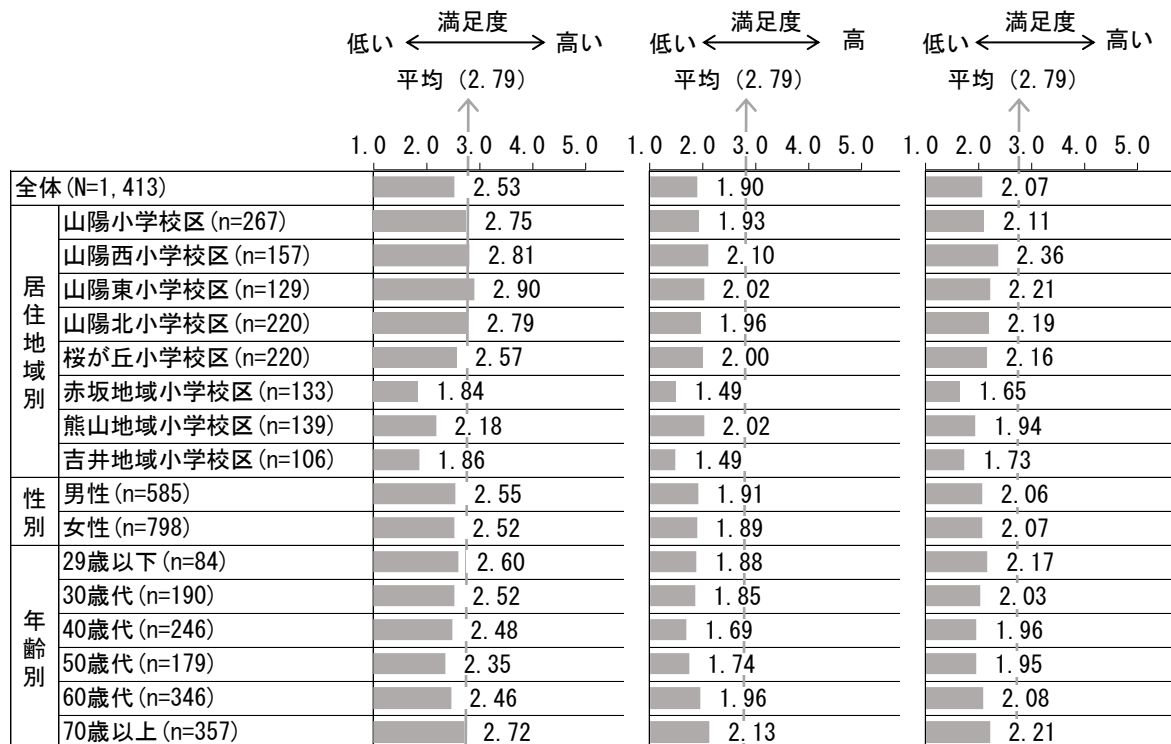
30. 道路・交通
ネットワークの整備
(公共交通の充実)



31. 目的地へ行ける
バス路線があるか

32. バスと電車の
乗り継ぎは便利か

33. バスからバスへ
の乗り継ぎは便利か



34. バスの運行時間帯
(始発・最終)は充実
しているか

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

全体 (N=1,413)	2.25
居住地域別	
山陽小学校区 (n=267)	2.36
山陽西小学校区 (n=157)	2.53
山陽東小学校区 (n=129)	2.43
山陽北小学校区 (n=220)	2.51
桜が丘小学校区 (n=220)	2.34
赤坂地域小学校区 (n=133)	1.54
熊山地域小学校区 (n=139)	2.20
吉井地域小学校区 (n=106)	1.66
性別	
男性 (n=585)	2.27
女性 (n=798)	2.24
年齢別	
29歳以下 (n=84)	2.04
30歳代 (n=190)	2.16
40歳代 (n=246)	2.15
50歳代 (n=179)	2.03
60歳代 (n=346)	2.28
70歳以上 (n=357)	2.52

35. 男女共同参画
社会の形成

満足度
低い ← → 高
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

2.76
2.81
2.77
2.72
2.79
2.82
2.67
2.80
2.53
2.77
2.76
2.88
2.86
2.74
2.75
2.61
2.83

36. 人権尊重社会の
形成

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

2.95
3.02
3.04
2.89
2.97
3.02
2.85
3.04
2.67
2.91
2.98
3.08
2.94
2.93
2.87
2.89
3.06

37. 高齢者福祉の充実

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

全体 (N=1,413)	2.79
居住地域別	
山陽小学校区 (n=267)	3.03
山陽西小学校区 (n=157)	2.84
山陽東小学校区 (n=129)	2.77
山陽北小学校区 (n=220)	2.71
桜が丘小学校区 (n=220)	2.75
赤坂地域小学校区 (n=133)	2.72
熊山地域小学校区 (n=139)	2.77
吉井地域小学校区 (n=106)	2.54
性別	
男性 (n=585)	2.80
女性 (n=798)	2.78
年齢別	
29歳以下 (n=84)	2.94
30歳代 (n=190)	2.62
40歳代 (n=246)	2.72
50歳代 (n=179)	2.66
60歳代 (n=346)	2.72
70歳以上 (n=357)	3.02

38. 保健・医療の
充実 (健康づくりの
取り組み)

満足度
低い ← → 高
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

3.09
3.16
3.17
3.02
3.06
3.13
3.11
3.10
2.94
3.00
3.15
3.06
3.07
3.07
3.00
2.99
3.27

39. 地域福祉の充実

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

2.91
2.98
3.00
2.88
2.83
2.88
2.90
3.07
2.80
2.84
2.96
2.99
2.84
2.96
2.89
2.80
3.00

40. 生涯学習社会の
確立

38. 生涯スポーツの
振興

満足度
低い ← → 高い
平均 (2.79)

満足度
低い ← → 高
平均 (2.79)

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

1.0 2.0 3.0 4.0 5.0

全体 (N=1,413)		2.78	2.88
居住地 地域別	山陽小学校区 (n=267)	2.95	2.97
	山陽西小学校区 (n=157)	2.96	3.12
	山陽東小学校区 (n=129)	2.84	2.96
	山陽北小学校区 (n=220)	2.77	3.00
	桜が丘小学校区 (n=220)	2.84	2.92
	赤坂地域小学校区 (n=133)	2.55	2.63
	熊山地域小学校区 (n=139)	2.68	2.70
	吉井地域小学校区 (n=106)	2.53	2.63
性別	男性 (n=585)	2.71	2.86
	女性 (n=798)	2.83	2.89
年齢別	29歳以下 (n=84)	2.76	2.90
	30歳代 (n=190)	2.70	2.82
	40歳代 (n=246)	2.77	2.96
	50歳代 (n=179)	2.78	2.83
	60歳代 (n=346)	2.70	2.74
	70歳以上 (n=357)	2.93	3.02

2-1-2 重要度

重要度は、各項目を「重要」＝5点、「やや重要」＝4点、「わからない」＝3点、「あまり重要ではない」＝2点、「重要ではない」＝1点として、点数化しています。この点数を合計し、無回答を除いた全体的数で割ることによって平均点を算出しています。

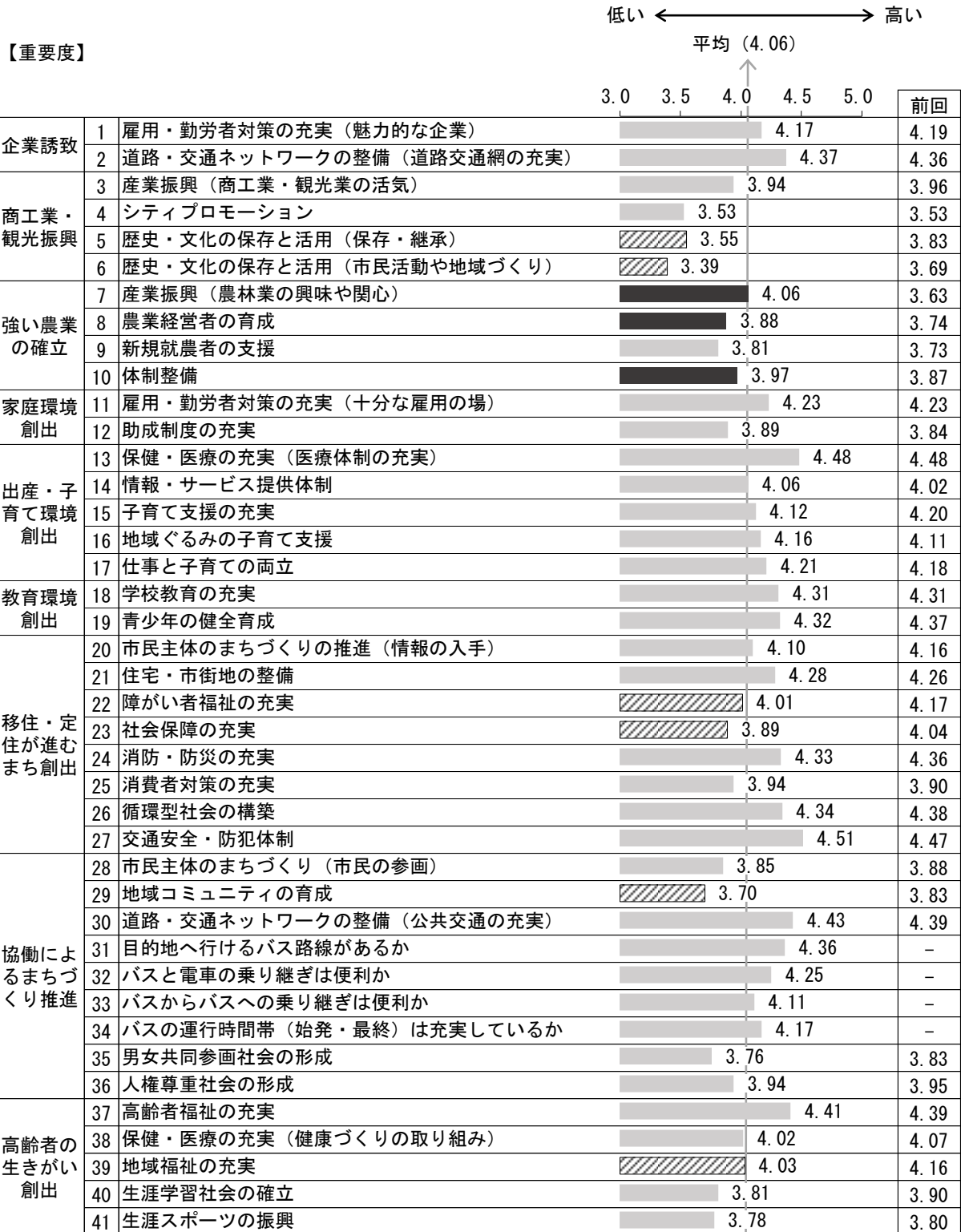
重要度の平均点を全項目でみると、「27. 交通安全・防犯体制」が4.51点と最も高く、「13. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」が4.48点、「30. 道路・交通ネットワークの整備（公共交通の充実）」が4.43点、「37. 高齢者福祉の充実」が4.41点と続いています。

一方、満足度の低い項目は、「6. 歴史・文化の保存と活用（市民活動や地域づくり）」が3.39点、「4. シティプロモーション」が3.53点、「5. 歴史・文化の保存と活用（保存・継承）」が3.55点となっています。

経年比較では、前回調査と比べて0.1ポイント以上高い項目は、「7. 産業振興（農林業の興味や関心）」、「8. 農業経営者の育成」、「10. 体制整備」となっています。

一方、前回調査と比べて0.1ポイント以上低い項目は、「5. 歴史・文化の保存と活用（保存・継承）」、「6. 歴史・文化の保存と活用（市民活動や地域づくり）」、「22. 障がい者福祉の充実」、「23. 社会保障の充実」、「29. 地域コミュニティの育成」、「39. 地域福祉の充実」となっています。

赤磐市の取組に対する現在の重要度（全体）



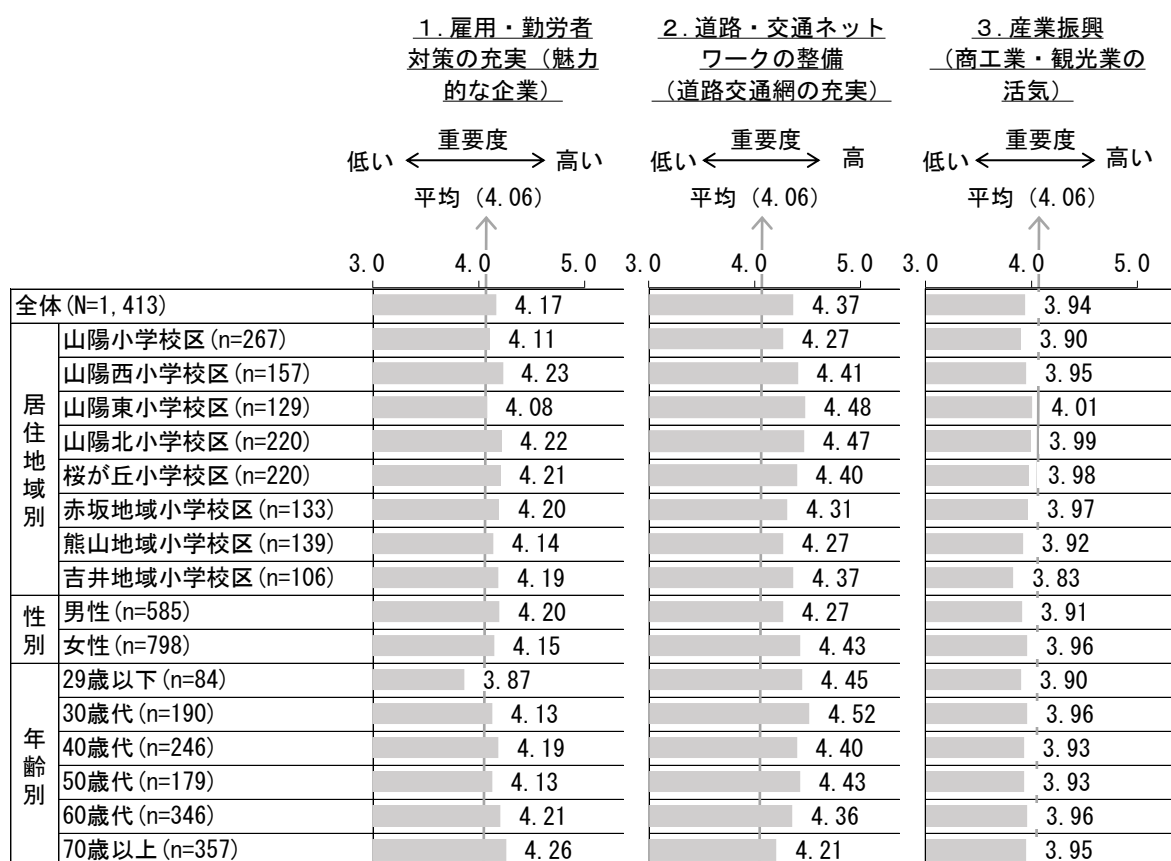
※ は、前回調査と比べて0.1ポイント以上高い項目、
 は、前回調査と比べて0.1ポイント以上低い項目を示す

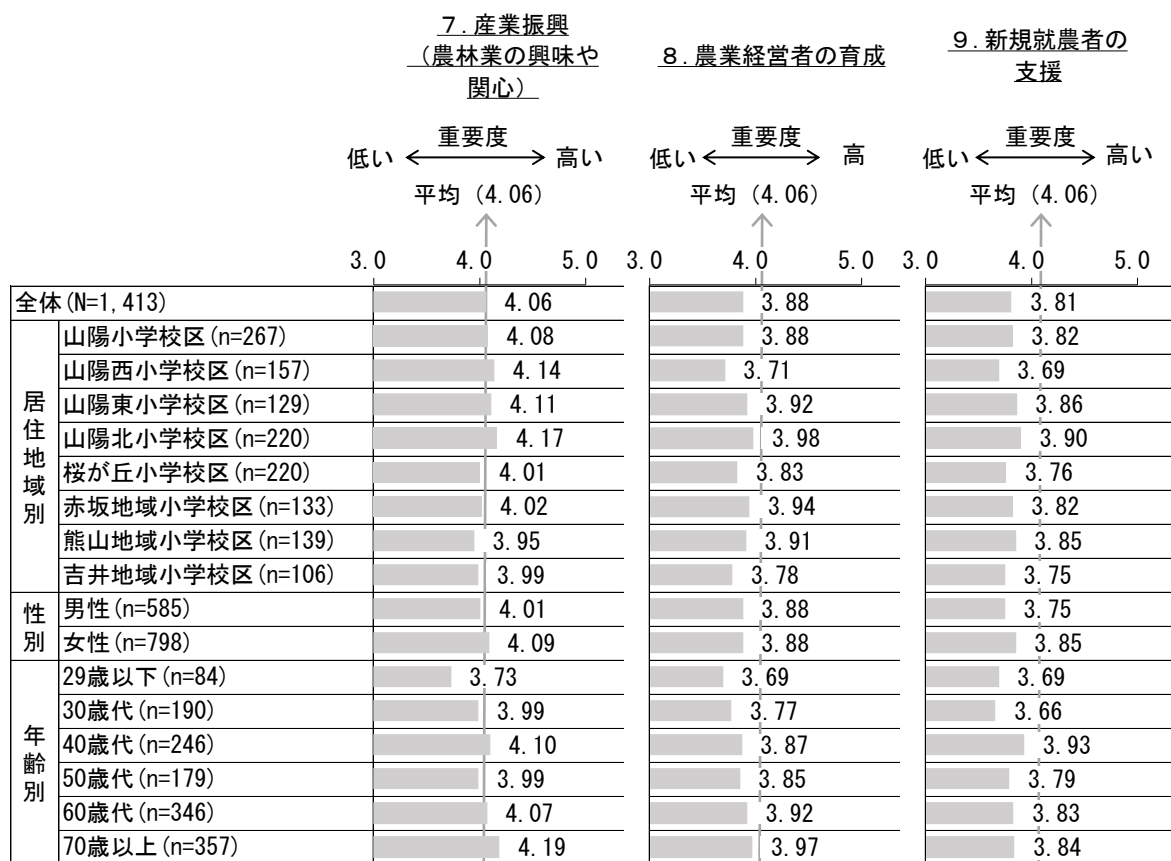
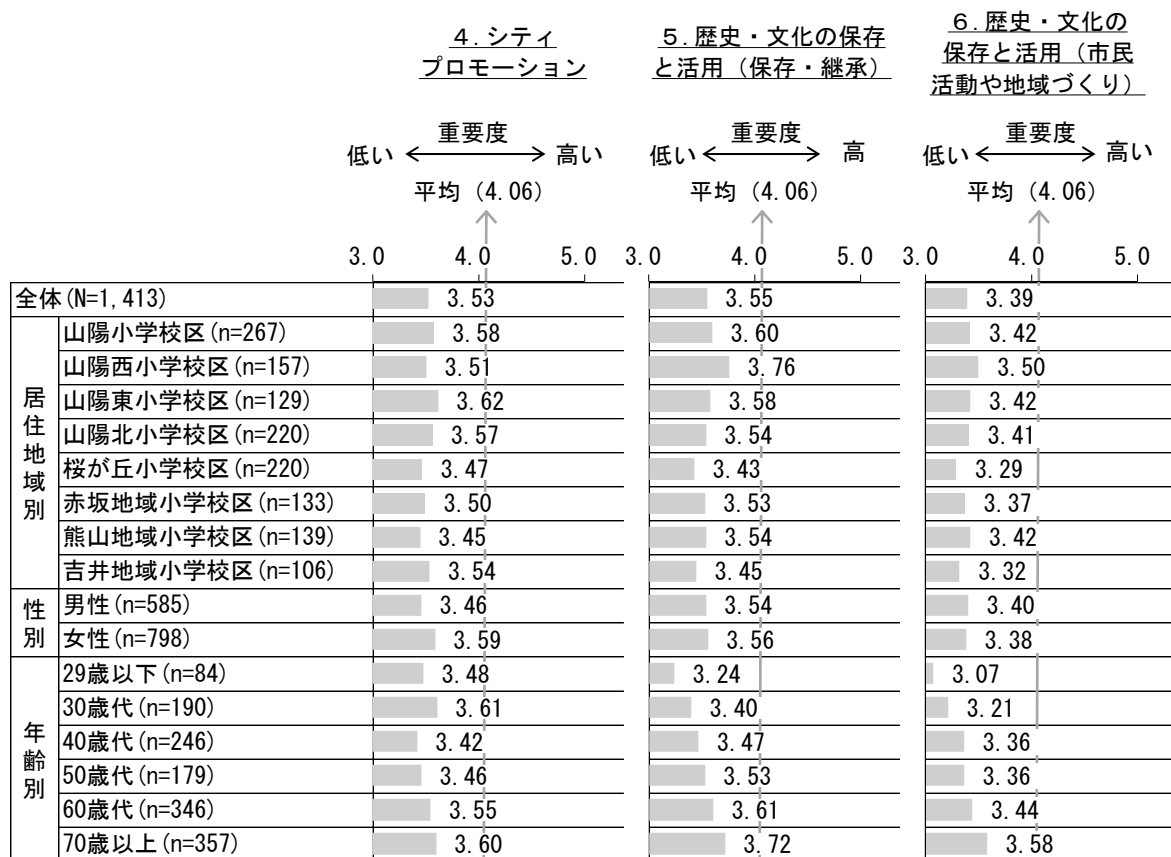
居住地域別では、山陽西小学校区で「5. 歴史・文化の保存と活用（保存・継承）」、吉井地域小学校区で「36. 人権尊重社会の形成」、山陽北小学校区で「37. 高齢者福祉の充実」が他の地域と比べて高くなっています。また、「31. 目的地へ行けるバス路線があるか」「32. バスと電車の乗り継ぎは便利か」「33. バスからバスへの乗り継ぎは便利か」「34. バスの運行時間帯は充実しているか」といったバスに関する項目では、山陽北小学校区が最も高くなっています。

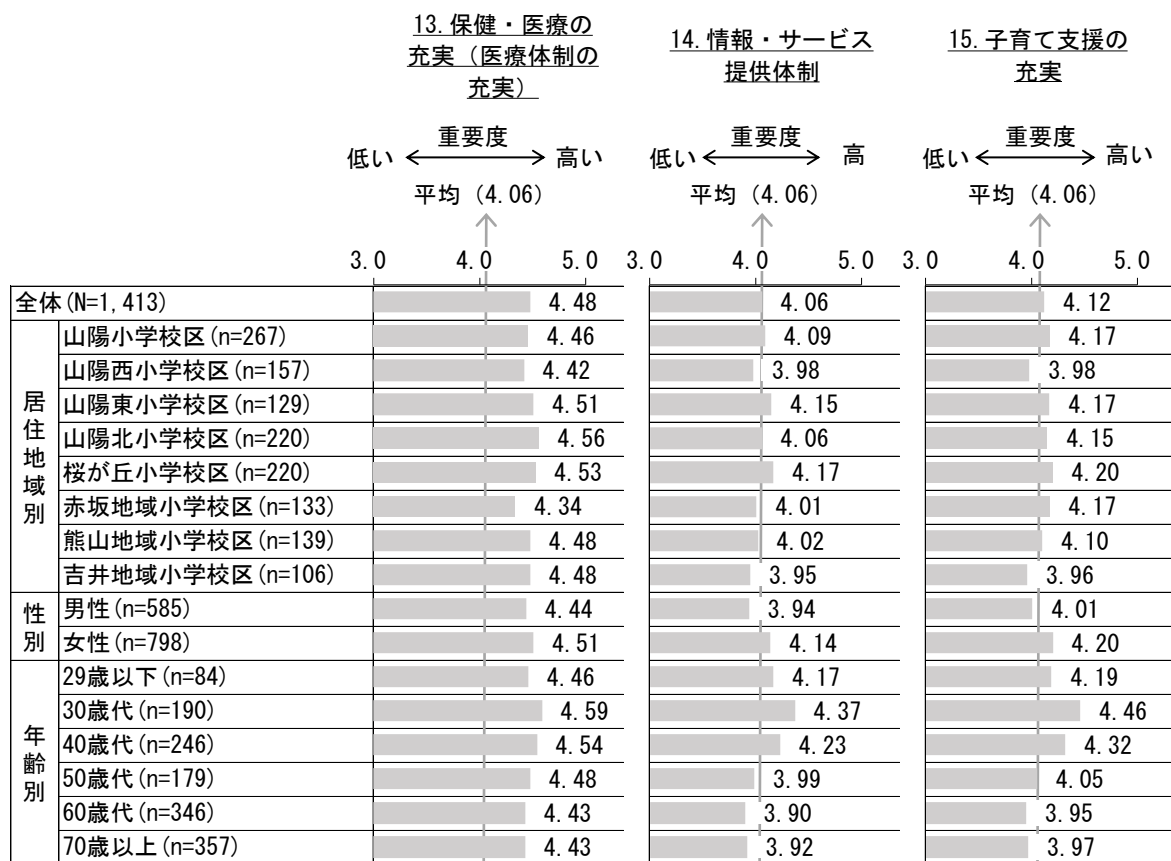
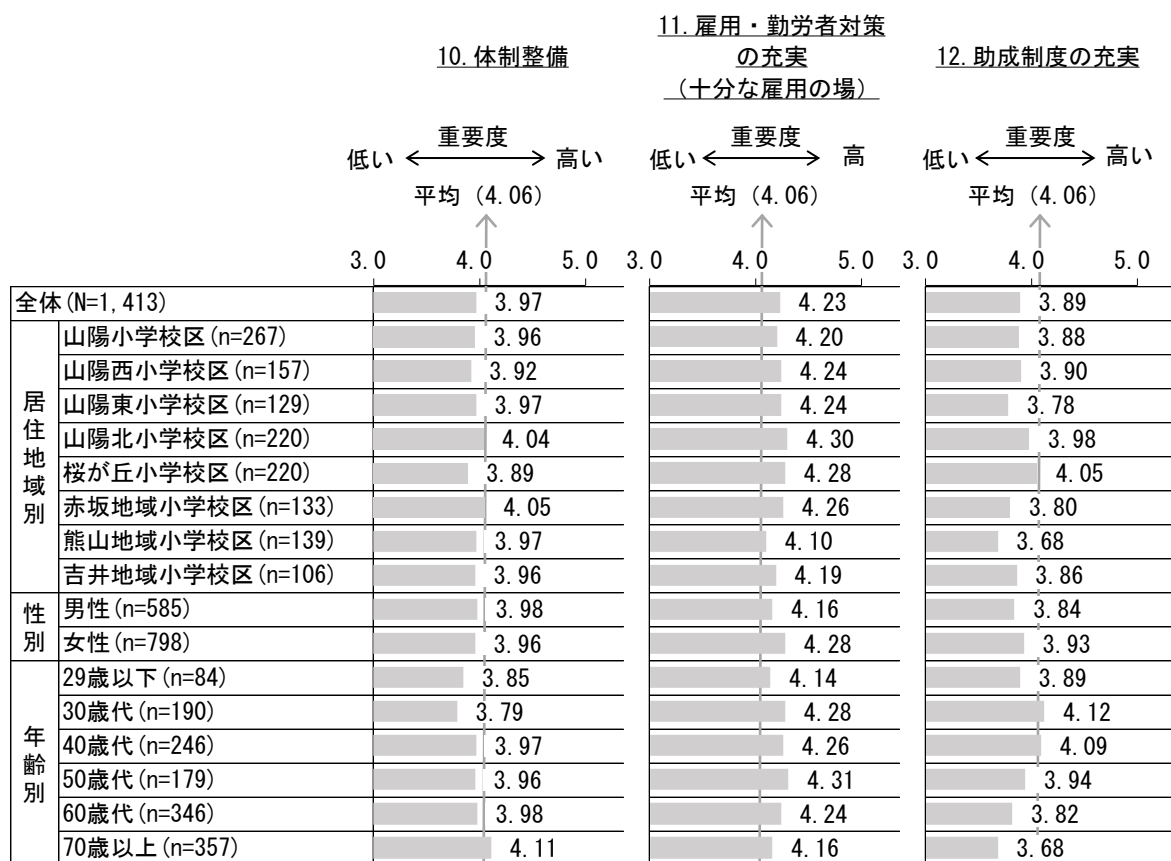
性別では、バスに関する項目すべてにおいて、女性が男性を上回っています。女性の方が公共交通を必要としていることがうかがえます。

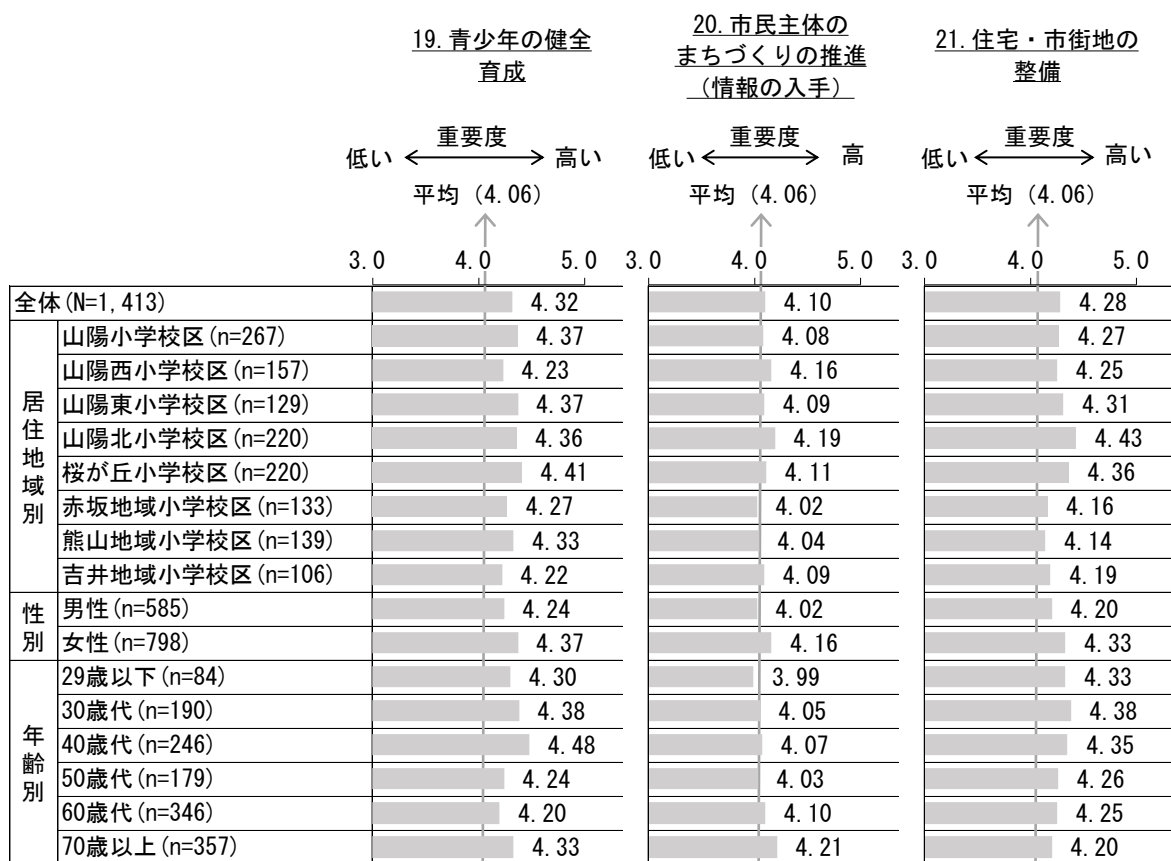
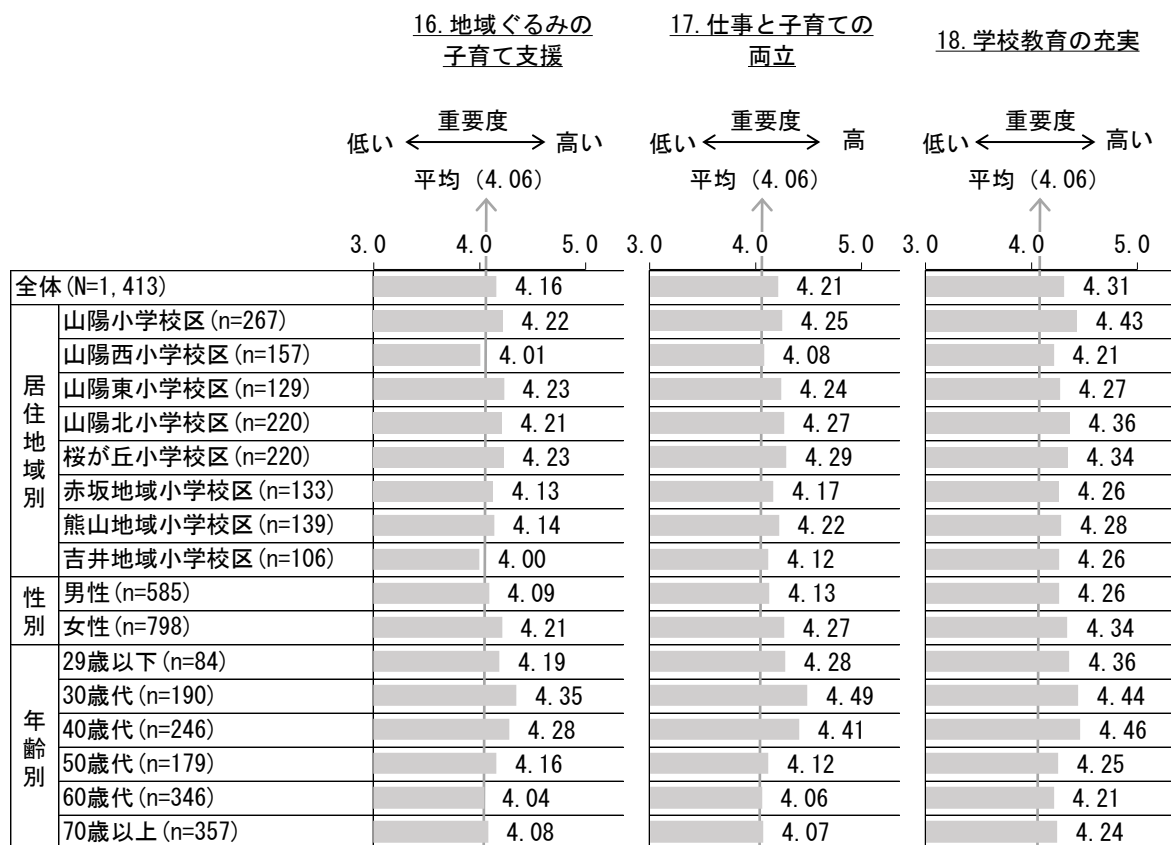
年齢別でみると、30～40 歳代では「15. 子育て支援の充実」「16. 地域ぐるみの子育て支援」「17. 仕事と子育ての両立」「18. 学校教育の充実」といった子育てに関する項目が高くなっています。また、年齢が上がるほど「5. 歴史・文化の保存と活用（保存・継承）」「6. 歴史・文化の保存と活用（市民活動や地域づくり）」の割合が高くなる傾向にあります。

赤磐市の取組に対する現在の重要度（項目別）





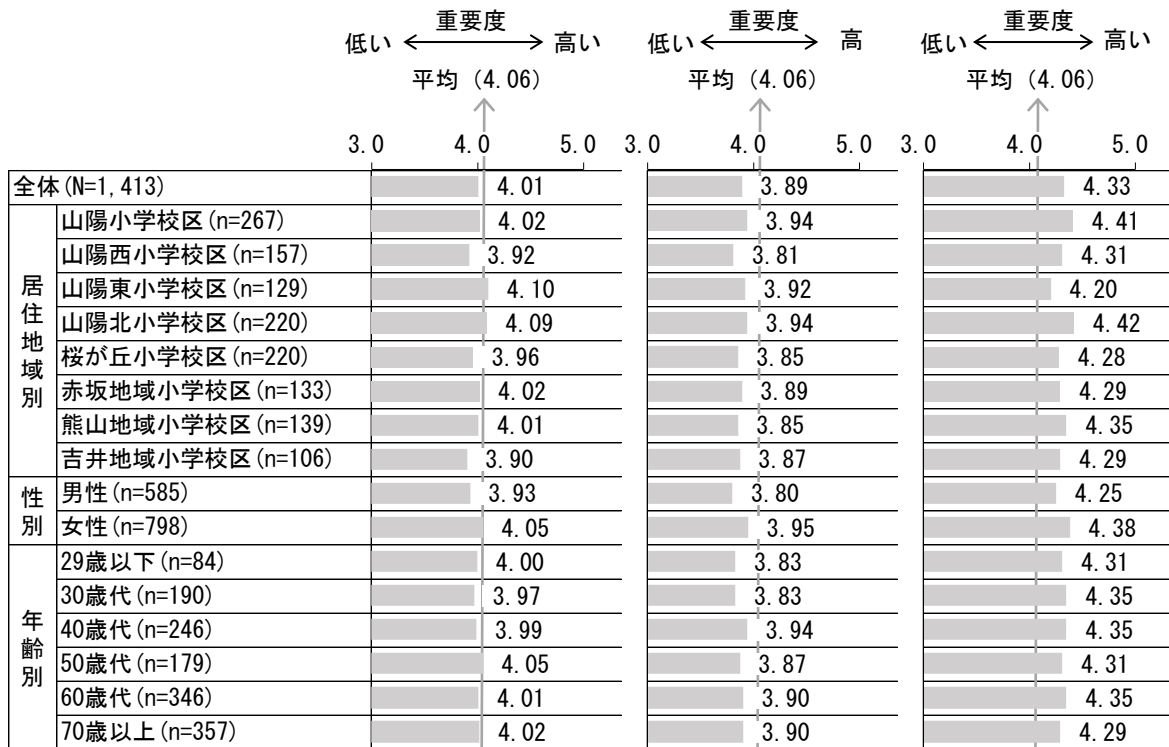




22. 障がい者福祉
の充実

23. 社会保障の充実

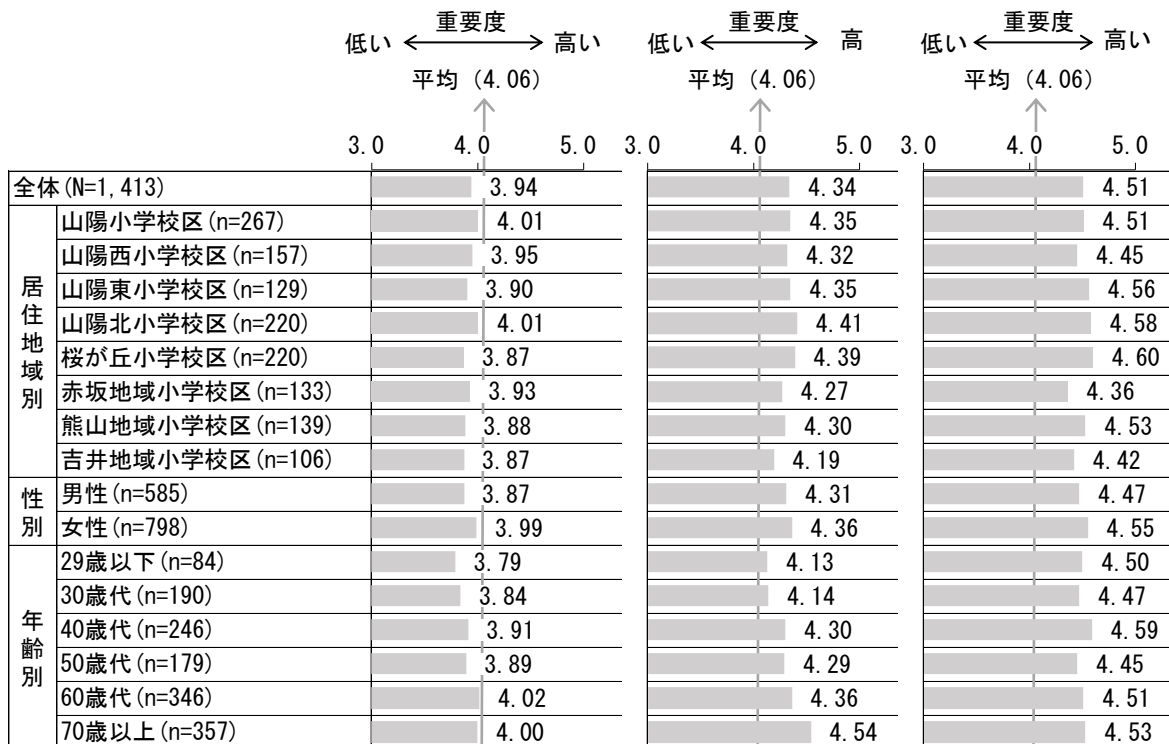
24. 消防・防災
の充実



25. 消費者対策の
充実

26. 循環型社会の構築

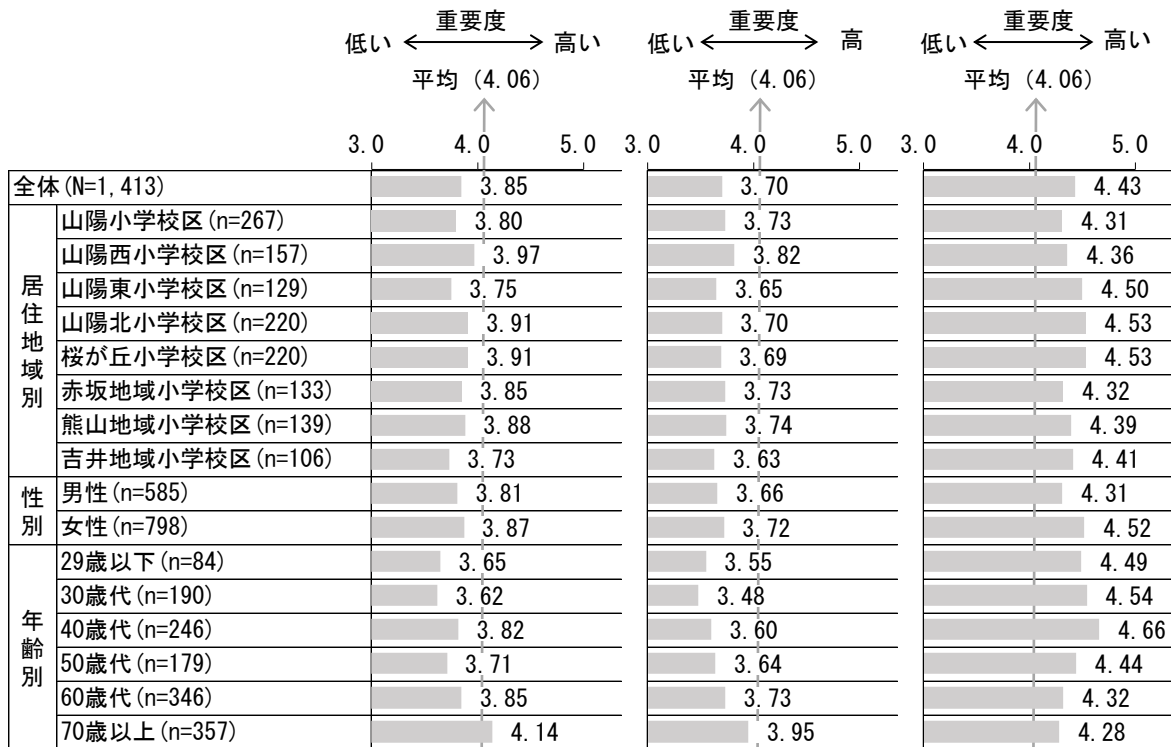
27. 交通安全・
防犯体制



28. 市民主体の
まちづくり
(市民の参画)

29. 地域コミュニティ
の育成

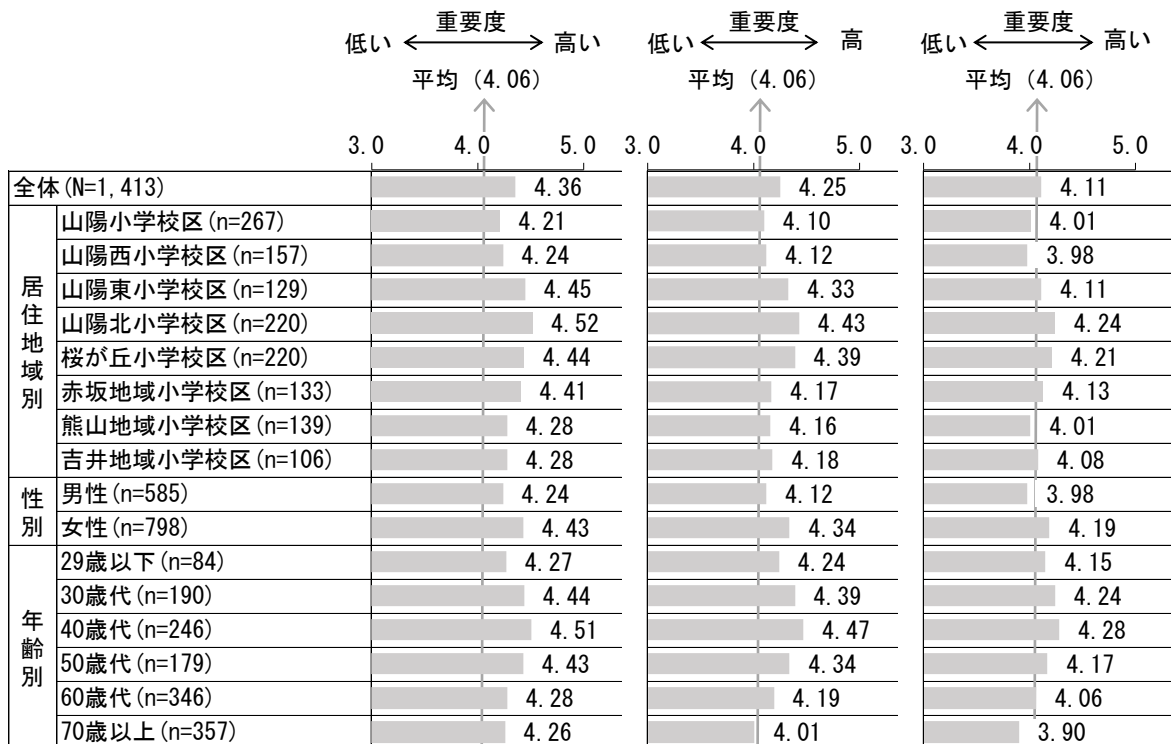
30. 道路・交通
ネットワークの整備
(公共交通の充実)



31. 目的地へ行ける
バス路線があるか

32. バスと電車の
乗り継ぎは便利か

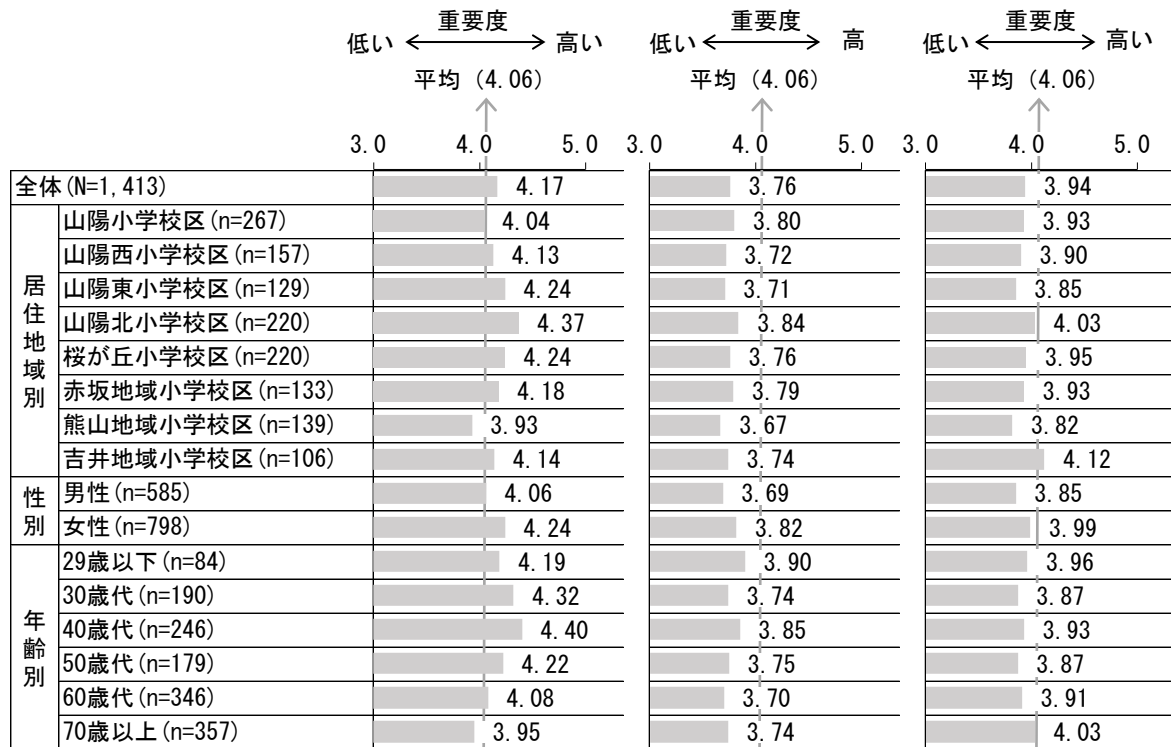
33. バスからバスへ
の乗り継ぎは便利か



34. バスの運行時間
帯（始発・最終）
は充実しているか

35. 男女共同参画社会
の形成

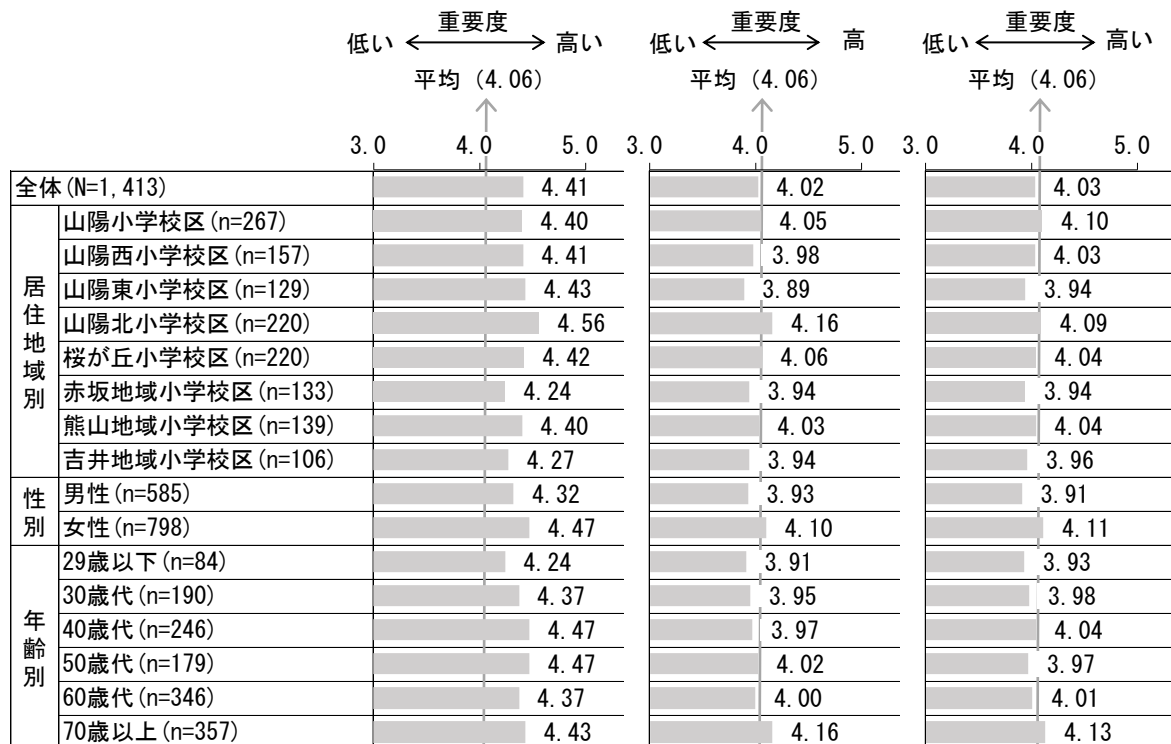
36. 人権尊重社会
の形成



37. 高齢者福祉の
充実

38. 保健・医療の充実
(健康づくりの
取り組み)

39. 地域福祉の充実



40. 生涯学習社会の
確立

41. 生涯スポーツの
振興

重要度
低い ← → 高い
平均 (4.06)

重要度
低い ← → 高
平均 (4.06)

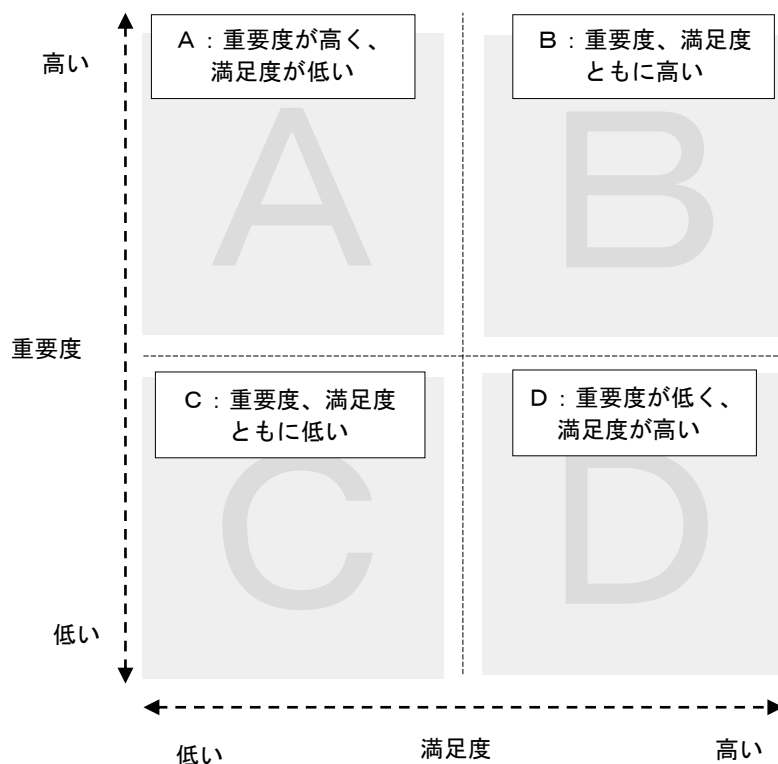
3.0 4.0 5.0 3.0 4.0 5.0

全体 (N=1,413)		3.81	3.78
居住地 地域別	山陽小学校区 (n=267)	3.83	3.78
	山陽西小学校区 (n=157)	3.87	3.88
	山陽東小学校区 (n=129)	3.66	3.66
	山陽北小学校区 (n=220)	3.91	3.95
	桜が丘小学校区 (n=220)	3.86	3.82
	赤坂地域小学校区 (n=133)	3.68	3.67
	熊山地域小学校区 (n=139)	3.79	3.74
	吉井地域小学校区 (n=106)	3.73	3.62
性別	男性 (n=585)	3.70	3.70
	女性 (n=798)	3.89	3.83
年齢別	29歳以下 (n=84)	3.78	3.84
	30歳代 (n=190)	3.85	3.83
	40歳代 (n=246)	3.86	3.80
	50歳代 (n=179)	3.73	3.64
	60歳代 (n=346)	3.77	3.74
	70歳以上 (n=357)	3.86	3.83

2-1-3 満足度と重要度の相関

横軸を満足度、縦軸を重要度とした相関を確認します。

満足度と重要度の各々の平均を示す点から左上（A）、右上（B）、右下（C）、左下（D）の4つの領域は、以下のような傾向を示しています。



A. 重要度が高く、満足度が低い（重点化・見直し領域）

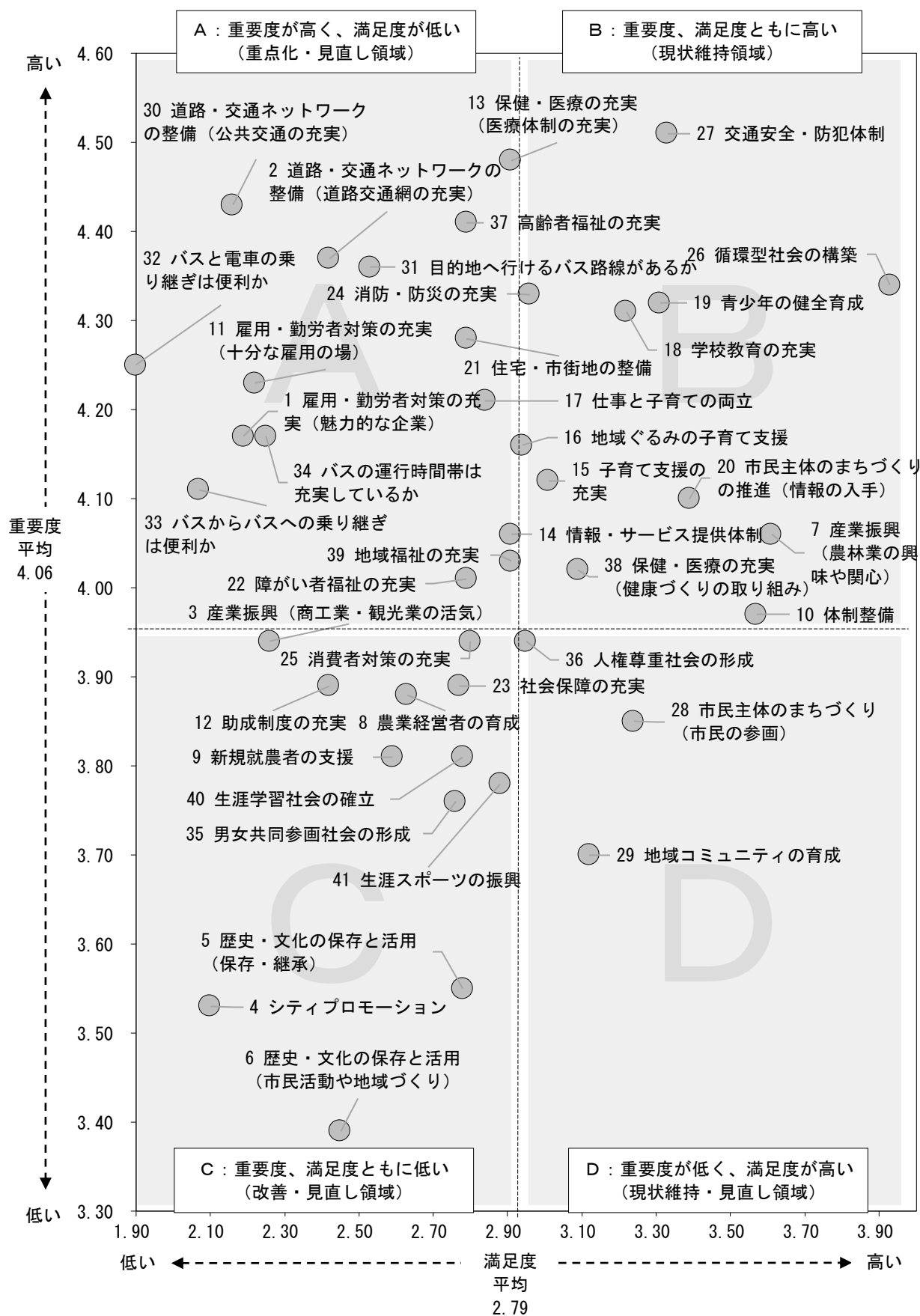
Aの領域は、重要度が高く満足度が低いため、優先的に見直しが必要な領域といえます。Aの領域に該当する主な項目は、「1. 雇用・勤労者対策の充実（魅力的な企業）」「2. 道路・交通ネットワークの整備（道路交通網の充実）」「11. 雇用・勤労者対策の充実（十分な雇用の場）」「30. 道路・交通ネットワークの整備（公共交通の充実）」「31. 目的地へ行けるバス路線があるか」「32. バスと電車の乗り継ぎは便利か」「33. バスからバスへの乗り継ぎは便利か」「34. バスの運行時間帯は充実しているか」「37. 高齢者福祉の充実」となっています。これらのうち6項目は、交通に関する内容となっています。

経年比較でみると、前回調査でAの領域に該当した項目は、今回調査でもすべてAの領域に該当しています（一部アンケート票から除外された項目あり）。

B. 重要度、満足度ともに高い（現状維持領域）

Bの領域は、重要度と満足度がともに高いため、現状維持が求められる領域といえます。Bの領域に該当する主な項目は、「7. 産業振興（農林業の興味や関心）」「18. 学校教育の充実」「19. 青少年の健全育成」「20. 市民主体のまちづくりの推進（情報の入手）」「26. 循環型社会の構築」「27. 交通安全・防犯体制」となっています。このうち「26. 循環型社会の構築」は、全41項目中、最も満足度が高くなっており、市民から高い評価を得ていることがわかります。

経年比較でみると、「13. 保健・医療の充実（医療体制の充実）」は、前回調査でBの領域に該当していましたが、今回調査では満足度が低下したため、Aの領域に該当しています。



取組項目		満足度	重要度
1	雇用・勤労者対策の充実（魅力的な企業）	2.19	4.17
2	道路・交通ネットワークの整備（道路交通網の充実）	2.42	4.37
3	産業振興（商工業・観光業の活気）	2.26	3.94
4	シティプロモーション	2.10	3.53
5	歴史・文化の保存と活用（保存・継承）	2.78	3.55
6	歴史・文化の保存と活用（市民活動や地域づくり）	2.45	3.39
7	産業振興（農林業の興味や関心）	3.61	4.06
8	農業経営者の育成	2.63	3.88
9	新規就農者の支援	2.59	3.81
10	体制整備	3.57	3.97
11	雇用・勤労者対策の充実（十分な雇用の場）	2.22	4.23
12	助成制度の充実	2.42	3.89
13	保健・医療の充実（医療体制の充実）	2.91	4.48
14	情報・サービス提供体制	2.91	4.06
15	子育て支援の充実	3.01	4.12
16	地域ぐるみの子育て支援	2.94	4.16
17	仕事と子育ての両立	2.84	4.21
18	学校教育の充実	3.22	4.31
19	青少年の健全育成	3.31	4.32
20	市民主体のまちづくりの推進（情報の入手）	3.39	4.10
21	住宅・市街地の整備	2.79	4.28
22	障がい者福祉の充実	2.79	4.01
23	社会保障の充実	2.77	3.89
24	消防・防災の充実	2.96	4.33
25	消費者対策の充実	2.80	3.94
26	循環型社会の構築	3.93	4.34
27	交通安全・防犯体制	3.33	4.51
28	市民主体のまちづくり（市民の参画）	3.24	3.85
29	地域コミュニティの育成	3.12	3.70
30	道路・交通ネットワークの整備（公共交通の充実）	2.16	4.43
31	目的地へ行けるバス路線があるか	2.53	4.36
32	バスと電車の乗り継ぎは便利か	1.90	4.25
33	バスからバスへの乗り継ぎは便利か	2.07	4.11
34	バスの運行時間帯は充実しているか	2.25	4.17
35	男女共同参画社会の形成	2.76	3.76
36	人権尊重社会の形成	2.95	3.94
37	高齢者福祉の充実	2.79	4.41
38	保健・医療の充実（健康づくりの取り組み）	3.09	4.02
39	地域福祉の充実	2.91	4.03
40	生涯学習社会の確立	2.78	3.81
41	生涯スポーツの振興	2.88	3.78
	平均	2.79	4.06

III 資料

アンケート調査票

アンケート調査票

第2次赤磐市総合計画及び赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組に関する市民アンケート調査

～赤磐市の未来のために皆さまのご意見をお聞かせください～

アンケート調査へのご協力をお願い

市民の皆さまには、日頃から市政に対してご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取り組みにご協力いただきありがとうございます。

赤磐市では、人口減少・少子高齢社会の到来においても、赤磐市がさらに発展していくための指針として、平成27年度に「第2次赤磐市総合計画」及び「赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

この計画及び戦略の策定から5年が経過し、取組について、市民の皆さまからご意見をいただくため、アンケート調査を実施します。

このアンケート調査は、市内にお住まいの18歳以上の方の中から、3,000人を無作為に選ばせていただき、お願いしております。ご回答いただいた内容は、統計的に処理し、プライバシーの保護はもとより、他の目的に利用することは一切ございませんので、ご安心ください。

お忙しいところ大変恐縮ですが、本調査の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

SDGs（持続可能な開発目標）
の
主な目標



令和2年5月
赤磐市長 友實 武則

<調査票の記入について>

1. アンケート調査票は、封筒のあて名のご本人様自らがご回答ください。
(ご本人様が記入できない場合は、ご本人様と相談の上、ご家族の方が記入してください。)
2. 回答にあたっては、設問で特に注意書きのない場合は、該当する選択肢を1つ選んで、番号に○印をつけてください。ただし、「その他」を選択する場合は（カッコ）内に内容を具体的にご記入ください。
設問に注意書きがある場合は、その指示に従って回答してください。
3. ご記入いただいた調査票は、令和2年6月24日（水）までに同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、投函してください。
4. このアンケートについてご質問がありましたら、下記までお問い合わせください。

赤磐市役所総合政策部 政策推進課 TEL：086-955-1220(直通)
FAX：086-955-1261 メール：sousei@city.akaiwa.lg.jp



あなた自身のことについておたずねします。



問1 あなたの性別を教えてください。

1.男性

2.女性

問2 あなたの年齢を教えてください。

1.18～19 歳

2.20～24 歳

3.25～29 歳

4.30～34 歳

5.35～39 歳

6.40～44 歳

7.45～49 歳

8.50～54 歳

9.55～59 歳

10.60～64 歳

11.65～69 歳

12.70～74 歳

13.75～79 歳

14.80 歳以上

問3 あなたがお住まいの地域を教えてください。

赤磐市()

※字名または〇〇丁目まで記入してください。

例:赤磐市下市、赤磐市桜が丘東〇丁目

問4 あなたの職業を教えてください。

1.会社(団体)役員

2.会社(団体)職員

3.公務員・教職員

4.パート・アルバイト

5.派遣社員

6.自営業等

7.農林業

8.学生

9.専業主婦・主夫

10.無職

11.その他()

問5 あなたが就業・就学している地域を教えてください。

1.赤磐市(旧山陽町)

2.赤磐市(旧赤坂町)

3.赤磐市(旧熊山町)

4.赤磐市(旧吉井町)

5.岡山市

6.その他の地域()

7.就業・就学していない

問6 あなたのお住まいを教えてください。

1.一戸建持家

2.一戸建借家

3.賃貸マンション・アパート

4.公営住宅

5.社宅・寮

6.その他()

問7 あなたのご家族の構成を教えてください。

1.単身世帯

2.一世代世帯(夫婦のみ)

3.二世代世帯(親と子)

4.三世代世帯(親と子と孫)

5.その他()

問8 あなたは現在の住所に住んで合計何年になりますか。

1.3 年未満

2.3 年以上 5 年未満

3.5 年以上 10 年未満

アンケート調査票

4.10年以上20年未満 5.20年以上30年未満 6.30年以上

問9 あなたは、生まれたときからずっと現在の住所に住んでいますか。

- 1.生まれたときからずっと住んでいる
- 2.途中で引っ越して来た →問 10-1・10-2・10-3 へ
- 3.市内や市外に一度出ていたが、現在の住所に戻ってきた(Uターン)

問 10-1 問9で「2.途中で引っ越して来た」を選択された方にお聞きます。あなたが移り住んだきっかけは何ですか。

- 1.就職・就学のため 2.自身の転勤・転職のため 3.家族の転勤・転職のため
- 4.住宅を住み替えたため 5.結婚のため 6.親や子どもと同居・近居するため
- 7.その他()

問 10-2 問9で「2.途中で引っ越して来た」を選択された方にお聞きます。選ぶ際に考慮したことは何ですか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1位	2位	3位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			

- 1.会社・学校が近くにあったため 2.手頃な価格・賃料の住宅があったため
- 3.通学・通勤の公共交通の便がよかったため
- 4.通学・通勤の道路網が便利であったため 5.買い物などが便利のため
- 6.高齢者・障がい者への福祉が充実していたため
- 7.子育て環境が充実していたため 8.教育環境がよかったため
- 9.山林や農地、自然が多く環境がよかったため
- 10.下水道や公園などの都市基盤が整っていたため
- 11.自然災害が少ないため 12.その他()
- 13.特になし

問 10-3 問9で「2.途中で引っ越して来た」を選択された方にお聞きます。選ぶ際に赤磐市の取組で参考になったり、魅力的に感じた取組はありましたか。
具体的な取組名もわかれば記入してください。

1. 子育て支援の取組 取組名()
2. 教育の取組 取組名()
3. 福祉の取組 取組名()
4. その他()
5. 特に市の取組は参考にしていない

問 11 あなたは、自治会(区・町内会)に加入していますか。

- 1.加入している 2.加入していない 3.わからない

アンケート調査票

問 12 問 11で「1.加入している」を選択された方にお聞きます。自治会の活動に年何回参加していますか。

1.7回以上 2.4～6回 3.3～1回 4. 参加していない

赤磐市のまちに対する思いについておたずねします。



【広報】

問 13 赤磐市の情報を主にどこから得ていますか。

1.市の広報紙・パンフレット 2.市のホームページ 3.新聞
4.テレビ・ラジオ 5.人づて 6.その他()

問 14 どんなルートで情報の提供があれば、もっと赤磐市の情報が得られると思いますか。

1.市の広報紙・パンフレットを充実させる 2.市のホームページを充実させる
3.SNSを活用する 4.テレビ・ラジオで放送する 5.新聞へ掲載する
6.市役所での掲示を増やす 7.公民館での掲示を増やす
8.民間施設への掲示を行う 9.園・学校を通じた連絡を増やす
10.介護施設等を通じた連絡を増やす 11.広報車をもっと活用する
12. 防災無線など各戸へ連絡する 13.その他()

問 15 令和2年3月1日から赤磐市でもFM79.0MHz レディオモモが聴けるようになったことをご存じますか。

1.知っている → 何で知りましたか() 2.知らない

問 16 家にFM放送を聴くことができるラジオがありますか。

1.ある 2.ない

問 17 ラジオを聴く習慣がありますか。

1.ある → 頻度(毎日 ・ 週1回 ・ 月に1回)
→ いつも聴く番組()
2.ない

【愛着】

問 18 あなたは、赤磐市に愛着を感じますか。

1.愛着を感じる→問 19-1 2.やや愛着を感じる→問 19-1 3.どちらともいえない
4.あまり愛着を感じない→問 19-2 5.愛着を感じない→問 19-2

問 19-1 問 18で「1.愛着を感じる」及び「2.やや愛着を感じる」を選択された方にお聞きます。どのようなところに愛着を感じますか。具体的にご記入ください。

()

問 19-2 問 18で「4.あまり愛着を感じない」及び「5.愛着を感じない」を選択された方にお聞きます。どのようなところに愛着を感じませんか。具体的にご記入ください。

()

アンケート調査票

【暮らしやすさ】

問 20 あなたは、赤磐市は暮らしやすいまちだと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1.暮らしやすい→問 21-1 | 2.どちらかといえば暮らしやすい→問 21-1 |
| 3.どちらともいえない | 4.どちらかといえば暮らしにくい→問 21-2 |
| 5.暮らしにくい→問 21-2 | |

問 21-1 問 20 で「1.暮らしやすい」及び「2.どちらかといえば暮らしやすい」を選択された方にお聞きます。どのようなところが暮らしやすいと感じますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- | | | | | | |
|----------|------|---------|------|------|------|
| 1.自然 | 2.交通 | 3.医療・福祉 | 4.産業 | 5.娯楽 | 6.教育 |
| 7.その他() | | | | | |

問 21-2 問 20 で「4.どちらかといえば暮らしにくい」及び「5.暮らしにくい」を選択された方にお聞きます。どのようなところが暮らしにくいと感じますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- | | | | | | |
|----------|------|---------|------|------|------|
| 1.自然 | 2.交通 | 3.医療・福祉 | 4.産業 | 5.娯楽 | 6.教育 |
| 7.その他() | | | | | |

問 22 あなたは、これからも赤磐市に住み続けたいと思いますか。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| 1.住み続けたい | 2.どちらかといえば住み続けたい |
| 3.どちらかといえば住みたくない→問 23 へ | 4.住みたくない→問 23 へ |

問 23 問 22 で「3.どちらかといえば住みたくない」及び「4.住みたくない」を選択された方にお聞きます。あなたが赤磐市に住みたくない主な理由は何ですか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1位	2位	3位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			
1.道路事情や交通の便が悪い 2.日常の買い物が不便 3.保健・医療分野のサービスや施設が不十分 4.市内に適当な職場がない 5.地域の行事や近所づきあいが面倒 6.スポーツ・レジャー施設や文化施設が不十分 7.福祉分野のサービスや施設が不十分 8.子どもの保育・教育のことが心配 9.自然の減少や環境の悪化が進んでいる 10.上下水道等の生活環境施設整備が遅れている 11.住環境の整備が遅れている 12.消防、防災、防犯体制に不安を感じる 13.その他()			

アンケート調査票

【まちづくり】

問 24 あなたは、赤磐市が推進している施策に興味や関心がありますか。

1.ある 2.ややある 3.どちらともいえない 4.あまりない 5.ない

問 25 あなたは、これからの赤磐市がどのようなまちになったらいいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1位	2位	3位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			
1.住民のまちづくり活動への参画が活発な一体感と和のあるまち 2.自然と共生した環境にやさしいまち 3.防災体制が充実した安全なまち 4.保健、医療、福祉が充実した安心したまち 5.産業が盛んで賑わいと活力のあるまち 6.教育、文化を大切にしたい心豊かなまち 7.その他() 8.特になし			

問 26 今後、赤磐市がより暮らしやすいまちになるためには何が必要だと思いますか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1位	2位	3位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			
1. 企業誘致による安定的で良質な雇用(企業誘致、企業用地の確保など) 2.商工業・観光振興による賑わいと活力(交流人口の増加、賑わい拠点の形成など) 3.強い農業(地域ブランドの推進、6次産業化、農家の育成や支援など) 4.安心して家庭を築き、出産・子育てができる環境(保育サービスの充実など) 5.子どもが健やかに育つ教育環境(学習環境の整備、郷土への愛着育成など) 6.移住・定住が進むまち(移住・定住支援、魅力的な中心市街地の形成など) 7. 支えあいを中心とした協働によるまちづくり(市民主体のまちづくりなど) 8. 高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域(高齢者就労支援や社会参加など) 9.障がい者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域(障がい者就労支援や社会参加など) 10. 公共交通が充実して歩いて暮らせるまちづくり(交通結節点の整備など) 11. 必要な都市機能がコンパクトに集積した拠点(地域拠点の整備など) 12. 自然豊かで、環境に配慮したまちづくり(快適な生活環境の保全推進など) 13.その他() 14.特になし			



アンケート調査票

問 27 赤磐市に不足している施設、あったらいいと思っている施設はなんですか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1位	2位	3位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			
1. ファミレス、カフェ、ファストフードなどの飲食店 2. 集客力のある大型複合商業施設 3. 市内・市外と接続できるバスターミナルやパーク&バスライドなどの交通拠点施設 4. 産直市場や観光案内などの情報発信施設を含む道の駅 5. 保育園、幼稚園などの子育て支援施設 6. 高校、大学などの教育関連施設 7. 映画館、ボウリング場などの娯楽・遊戯施設 8. 総合病院や専門医などの医療機関 9. 若い世代が住むアパートやマンションなどの賃貸住宅 10. 老人ホーム、デイサービス、サービス付き高齢者住宅などの介護福祉施設 11. グループホーム、デイサービス、相談支援などの障がい福祉事業所 12. 文化会館や市民会館などのイベントホール 13. 雇用創出のための工場や事業所 14. 体育館や運動場などのスポーツ施設 15. その他() 16. 特になし			

【SDGsについて】

SDGsとは、2030年までの国際目標として示された持続可能な開発目標であり、持続可能で多様性のある社会の実現を目指して、貧困、福祉、教育、環境、産業振興など様々な分野で問題の解決に向けた取組が行われています。

問 28 持続可能な社会を目指す中で、関心のある環境問題はなんですか。あなたの考えに最も近いものを3つ選び、順位をつけて記入してください。

順位	1位	2位	3位
右の回答欄に、選択肢の番号を記入してください。			
1. 地球温暖化・気候変動 2. 大気汚染・オゾン層の破壊 3. 海洋汚染(海ごみ・プラスチックごみ) 4. 河川、水路などの水質汚濁 5. 土壌汚染 6. 地盤沈下 7. 環境ホルモンによる生態系などへの影響 8. 森林破壊及び野生生物や希少な動植物の減少や絶滅 9. 不法投棄などの廃棄物の不適正な処理 10. 騒音・振動・悪臭 11. 景観破壊 12. 再生可能エネルギーの利用・促進 13. ごみ減量化・分別・リサイクル 14. 環境に関する教育や支援の不足 15. その他()			

赤磐市の取組についておたずねします。

問 29 赤磐市の取組や地域の現状に対する満足度と、今後、赤磐市が重点的・優先的に取り組んでいく必要があるかについてお聞きします。下記の項目ごとに、「現在の満足度」及び「今後の重要度」について、「5(思う)」～「1(思わない)」及び「5(重要)」～「1(重要でない)」のうち、それぞれあなたの考えに最も近いものを1つ選んで数字に○をしてください。

項目	現在の満足度					今後の重要度				
	思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	重要	やや重要	わからない	あまり重要ではない	重要ではない
重点戦略 Ⅰ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る										
戦略プログラム Ⅰ 企業誘致による安定的で良質な雇用創出プログラム について										
1 (雇用・勤労者対策の充実) 赤磐市には魅力的な企業が充実していますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
2 (道路・交通ネットワークの整備) 道路交通網は充実していますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
重点戦略 Ⅰ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る										
戦略プログラム Ⅱ 商工業・観光振興による賑わいと活力創出プログラム について										
3 (産業振興) 赤磐市の商工業・観光業は活気がありますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
4 (シティプロモーション) 赤磐市についてテレビ・雑誌等で良く見聞きますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
5 (歴史・文化の保存と活用) 史跡や伝統文化の保存・継承がされていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
6 歴史・文化を活用した市民活動や地域づくりが活発ですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
重点戦略 Ⅰ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る										
戦略プログラム Ⅲ 強い農業の確立プログラム について										
7 (産業振興) 赤磐市の農林業や農産物について興味や関心がありますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
項目	現在の満足度					今後の重要度				

アンケート調査票

		思 つ	や や 思 つ	ど ち ら で も な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い		重 要	や や 重 要	わ か ら な い	あ ま り 重 要 で は な い	重 要 で は な い
重点戦略Ⅰ 経済・産業に活力があり、ひとが集まるまちを創る												
戦略プログラム 3 強い農業の確立プログラム について												
8	(農業経営者の育成) 経営感覚を持った農業者を育成する環境が整っていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
9	(新規就農者の支援) 赤磐市で新しく農業を始めようとする人に対する支援は充実していますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
10	(体制整備) 新たな農業支援体制が必要だと思いますか。(人材・農地・賃金等)	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
重点戦略Ⅱ 安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る												
戦略プログラム 1 安心して家庭を築ける環境創出プログラム について												
11	(雇用・勤労者対策の充実) 赤磐市には雇用の場が十分ありますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
12	(助成制度の充実) 居住に関しての助成制度は充実していますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
重点戦略Ⅱ 安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る												
戦略プログラム 2 安心して出産・子育てができる環境創出プログラム について												
13	(保健・医療の充実) 医療体制が充実していますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
14	(情報・サービス提供体制) 子育てに関する情報は十分得られていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
15	(子育て支援の充実) 子育て支援体制は充実していますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
16	(地域ぐるみの子育て支援) 地域ぐるみで子どもを守り育てる環境は充実していますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
項目		現在の満足度						今後の重要度				

アンケート調査票

		思 つ	や や 思 つ	ど ち ら で も な い	あ ま り 思 わ な い	思 わ な い		重 要	や や 重 要	わ か ら な い	あ ま り 重 要 で は な い	重 要 で は な い
17	(仕事と子育ての両立) 仕事と子育ての両立ができる環境は整っていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
重点戦略 II 安心して子育てができ、次代を担うひとが育つまちを創る 戦略プログラム3 子どもが健やかに育つ教育環境創出プログラム												
18	(学校教育の充実) 子どもたちは、充実した教育を受けられていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
19	(青少年の健全育成) 子どもたちが健全に成長できる環境ですか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
重点戦略 III 多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る 戦略プログラム 1 移住・定住が進むまち創出プログラム について												
20	(市民主体のまちづくりの推進) 広報紙やホームページなどにより、赤磐市の情報は入手しやすいですか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
21	(住宅・市街地の整備) 住みやすく、利便性が良い良好な市街地形成がなされていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
22	(障がい者福祉の充実) 障がいのある人に十分なサービスが提供されていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
23	(社会保障の充実) 自立を支援し、自立を促進させる取り組みは十分なされていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
24	(消防・防災の充実) 災害の発生に備えた体制が十分に築かれていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1
25	(消費者対策の充実) 消費者保護のため、適正な情報提供等が十分なされていますか。	5	4	3	2	1		5	4	3	2	1

アンケート調査票

項目		現在の満足度					今後の重要度				
		思う	やや思う	どちらでもない	あまり思わない	思わない	重要	やや重要	わからない	あまり重要ではない	重要ではない
26	(循環型社会の構築) ごみの分別収集など、循環型社会に向けた取り組みが充実していますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
27	(交通安全・防犯体制) 交通事故や犯罪の少ない安全・安心なまちですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
重点戦略 Ⅲ 多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る											
戦略プログラム 2 支えあいを中心とした協働によるまちづくり推進プログラムについて											
28	(市民主体のまちづくりの推進) 市民活動や地域活動(地域の清掃活動など)により、市民がまちづくりに参画できていますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
29	(地域コミュニティの育成) 地域のコミュニティ活動は活発ですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
30	(道路・交通ネットワークの整備～34) 公共交通(バス・電車等)は充実していますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
31	目的地へ行けるバス路線がありますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
32	バスと電車の乗り継ぎは便利ですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
33	バスからバスへの乗り継ぎは便利ですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
34	バスの運行時間帯(始発・最終)は充実していますか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
35	(男女共同参画社会の形成) 性別に関係なく、個性や能力が発揮できるまちですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1
36	(人権尊重社会の形成) 人権を尊重するまちですか。	5	4	3	2	1	5	4	3	2	1

項目	現在の満足度	今後の重要度
----	--------	--------

アンケート調査票

	もう う	やや 思う	どちら でもない	あまり 思わな い	思わな い		重要	やや 重要	わか らない	あまり 重要で はない	重要 ではない
重点戦略 III 多彩な人材の活躍により、地域が活性化しているまちを創る											
戦略プログラム 3 高齢者が生きがいを持ち元気に暮らせる地域創出プログラムについて											
37	(高齢者福祉の充実) 高齢になっても安心して暮らせる、福祉が 充実したまちですか。						5	4	3	2	1
38	(保健・医療の充実) 健康教室など、健康づくりのための取り組 みが充実していますか。						5	4	3	2	1
39	(地域福祉の充実) 地域での支えあいや助け合い等の地域福 祉が浸透していますか。						5	4	3	2	1
40	(生涯学習社会の確立) 生涯にわたり学習できる機会に恵まれて いますか。						5	4	3	2	1
41	(生涯スポーツの振興) スポーツを楽しむ機会に恵まれています か。						5	4	3	2	1

今後のまちづくりについて、ご意見・ご提案などがあればご自由にお書きください。

以上でアンケートは終わりです。ご協力ありがとうございました。記入漏れがないか、もう一度ご確認ください。同封の返信用封筒にこのアンケート調査票を入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

令和２年度
第２次赤磐市総合計画及び
赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略の取組に関する
市民アンケート調査報告書

発行日／令和２年１１月
発行／赤磐市
編集／赤磐市役所総合政策部政策推進課
岡山県赤磐市下市３４４

* 禁無断転載・複製
©赤磐市
